夕刊 滿洲日報 十一月廿八日

露支關係の惡化に對し列國は當分成行觀望

米獨共に極めて冷淡　何れかゞ屈服せねば和平困難

【北平特電二十八日發】勞農軍の進擊に關し當地外交團は戰況の進展を重大視してゐるが、露支間の外交々涉は中央或は奉天單獨何れにしても其端緒をつかむことは殆んど不可能とされ、兩國間を調停する者が出るやうな模樣も更に無い、アメリカ政府は不戰條約を提唱せる關係上兩國に對し何等かの處置を執るやうになるかも知れぬといふ報道があるが當地米公使館は極めて冷淡な態度を取つてゐるやうである、獨公使館の態度も亦甚だ冷淡であると仄聞する、列强の本國政府は相當緊張して成行を注視してゐるやうだが露支兩國間の關係の實際狀況を最もよく知悉してゐる當地外交團は兩國の軍事上の發展とそれが齎すべき事實即ち何れか一方が屈服して妥協點を見出すに至るまで放任するより外あるまいといふ意見に一致してゐるやうである、然し國境居留民の生命財產利益の保護に對し細心の注意を怠らぬことは勿論である、愈々戰爭がハルビン附近まで延長し列國自身の利益に直接重大なる影響を及ぼすに立至る時は列國協調して何等かの具體的處置を採るに至るべきことは充分豫期されてゐる、また王正廷氏のカラハン氏に對する抗議若しくは交涉開始の提議の如きは殆んど何等の興味も持たれてゐないが外交部が廿五日不戰條約調印國に對し勞農側の不當を訴へた聲明の如きも恐らく何等の反響は望めないだらうと觀測されてゐる、將來支那は或は列强に對し勞農軍の進出阻止乃至は調停斡旋のため泣きつくかも知れぬと想像されるが列國が自ら調停に一肌脫がうといふやうなことは現在の空氣では期待されさうもない、從つて當地外交團は現在露支間の局面に對しては極めて冷淡なる態度を示してゐる

露の主張全部を容認し米獨に調停依賴に決定

【南京二十七日發電】蔣介石、王正廷、張學良氏代表秦華の三氏は二十七日午後前日引續き對露重要會議を開いた結果、今更妥協を申込んでも解決は依然困難なること明瞭であるから東支鐵道に關するロシアの主張全部を容認するを條件としてドイツとアメリカに調停を依賴するに決し、駐米伍、駐獨蔣作賓兩公使に對し重要訓電を發した

紛爭の審判を依賴

東北各代表列國に通電

【ハルビン特電二十七日發】東北敎育、農業、商工聯合、東北民衆代表は廿六日英米佛獨伊各國に對し
ロシアは國境に兵を進め既に大擧して支那領地を侵した、之は不戰條約を破壞するものなれば列國は之に對し公平なる審判を與へ、國際調査團の組織を希望する旨を通電した

勞農軍事行動を一時中止す

自衞目的達成せるを理由に

【ハルビン特電二十八日發】勞農は勞農軍の海拉爾攻擊に如何に支那國防軍が弱いものであるかを暴露し軍事行動は一時中止し早くも和平機運が促進されて來た、支那側は飽くまで其面目を保つためにケロッグ氏の不戰條約を楯に勞農の不法行爲を條約國の輿論に愬へ特にアメリカをして審判官たらしめんと希望してゐる、然し不戰條約を蹂躪したものは支那自體で紛爭は東鐵のクーデターにより起つたもので勞農軍の侵入は正當なる自衞策に出たのであるから別に問題とはならず、不戰條約國は問題にしないだらうと觀られてゐる

海拉爾以西を緩衝地帶に

和平解決を交涉せん

【ハルビン特電二十八日發】海拉爾に迫つた勞農軍は同地占領を止め後退し札蘭諾爾、滿洲里の勞農軍もロシアの目的たる國境支那軍を一掃したので地方の秩序はゲ・ペ・ウに任せ撤退する筈であるが支那軍が再び國境に兵を進めるならば同じことを繰返すだらうが戰意を失つた支那兵は海拉爾以西には進まざるべく滿洲里、海拉爾間は露支緩衝地帶として對峙し、露支正式交涉に入る傾向である

工事中の國會新議事堂

東京永田町の高臺に帝都を見下ろした大偉觀。國會新議事堂は東洋一を誇るだけに遺憾なく近代的の設備を取入れて建築中であるが之の完成は昭和七年の豫定之に續いて附合つた警視廳も新築中で完成の曉は東京市の面目を一新するだらう

信書檢閱開始

【ハルビン特電二十八日發】支那官憲は時局のため廿七日から信書の檢閱を開始した

黑河避難邦人哈市到着

【ハルビン特電二十八日發】黑河の邦人男子一名女子十二名に子供二名は廿六日五日間を要して齊々…

支那軍の進擊絕望

避難者の實見談

【ハルビン特電二十七日發】札免公司の八木氏外邦人七家族二十餘名は廿六日午後二時イルクテ驛からハルビンに避難して來たが、八木氏は勞農軍海拉爾襲擊當時の狀況につき語る
海拉爾には露支兩軍とも一兵も居らぬらしい、海拉爾の警察署長も同行したが、署員は全部布哈圖に引揚げ海拉爾以東にロシア人は一人も居らぬと、途中支那の某軍人は蔣介石氏が下野し國內は平和になつたから露支交涉も近くケリがつかうと語つてゐた程で興安嶺より以西に進む意思はない、沿線到る處掠奪が行はれ混亂し避難の露支人は列車の屋根、連結臺にブラ下つて避難する樣な悲慘であつた、支那兵は全く戰意無いが今の處興安嶺のトンネルは嚴重に警備されてをり飛行機では破壞されないから露支交涉が順調に進行せぬ時は現狀を永續するかも知れぬ、大部分の避難者は着のみ着のまゝである

ポグラ邦人引揚中止

【ハルビン特電二十八日發】東部線ポグラの邦人は露支戰局が左程まで進展せざるより一時引揚げを見合はす旨通知があつた

哈爾に命カラ〴〵避難して來た、一臺の自動車賃に七百四十元を支拂つたと

領事團會議

情報持寄決定

【ハルビン特電二十七日發】廿五日の領事團會議は別に纏まつたものなく今後形勢の變化により情報を持寄ることに決した

布海間電話

廿七日復舊す

【ハルビン特電二十八日發】布哈圖、海拉爾間の電話は二十七日から復舊した

王道を基調とし日支親善を圖れ

中谷關東廳警務局長赴任後の感想を語る

中谷關東廳警務局長は上京後所管の豫算及人事問題等で多忙を極めて居るが同局長の赴任後の所感を叩けば左の如く語る

×

赴任後まだ間がないので滿洲のとは素人であるが管內沿線等も一通り巡視したし色々の見聞から多少は分つて來たやうな氣もする、滋賀縣大の關東州の地域は誠に狹いが旅順の天地に跼蹐して州內のことのみを見て居るのが任務ではあるまい、此の狹い關東州の背後には滿蒙といふ大陸がある、此大陸を控へ支那を望んでの仕事があらねばならぬので長官にも色々の考へもあらうが自分にし其の職責丈相當慨嘆に考慮せねばならぬ事柄があらうと思ふ、吉林、黑龍江省等アノ廣い地域には未開地はまだ〳〵澤山ある、其廣大なる大陸の開發が日支共榮上行はれると日本の人口過剩などいふ問題は何でもないことゝ思ふが要は滿洲に於ける日支關係が最も大事である、

×

日支親善の聲も久しいものだが實際に於ては矛盾も衝突も多い、之を眞に兩國民同士が打解けて共榮の途を講ずることになれば滿蒙の開發、さうして其經濟的利益は互に受けることが出來るので此點支那人を重視し利益を分ち相携へて事を共にする方法でなくてはならぬと思ふ、然らば眞の日支親善はどうして圖るかといへば、之れはどうも從來の態度を一變して行かなければなるまいと思ふ

×

從來も滿洲に於ては其經濟的發達に伴ふ利益を支那人が多分に享受して居ることは滿鐵の經營に見ても明かであるがそれを一步進んで一般的に國民同士の接近融和を基調とし日本人と事を共にすれば福利を增進し得るといふことにならねばならぬ、やらずぶつたくりの利權的占有を志ざすやうなことでは滿洲の仕事は何時迄經つても駄目である

×

又政府にしてもよく永い眼で王道を步んで秩序ある開發方針所謂滿蒙政策を進めることが肝要で臨機的の方策は害あつて益なきことゝ之を前內閣の田中外交に見て明かである、それに比すると甚だ優柔に見えるが幣原外交は徐ろ萬々、世界の公道を步いて正義と人道とを基調とした外交方針がどの位好結果を齎したかは識者を俟たずして知るであらう、

×

成程一時的火花を散らすやうな政策は快は即ち快だがそれが永續をせぬ却て反動が來る滿洲のみならず支那各地の排日が明かに證據立てゝ居る詰り一時的に多分の利益を擧げやうとして失敗を招く一割二割の利益を短期に擧げるよりは二分でも三分でも永續する恒久的計畫の下に互に利益を增進する方針を執ることが必要で臨機應變の際物的政策は禁物である、永久に融和する恒久的計劃の下に提携することは利廻りが少くても其處に鞏固な根柢が築かれるので之で初めて共榮の實が擧がることにならう

×

所謂對支外交や滿蒙政策等については自分の如きが決して兎角の議論を挾む譯ではないがどうも支那人との融和、接近が堅實でない其間に支那人はどし〳〵得意の經濟的伸張を反對に行つて來て沿線附屬地でも或は大連の眞中でも支那人の經濟的進出が邦人を壓して居る、邦人は如實に萎縮する狀態にあるこれは在滿邦人の過去の狀態が已むを得ず然らしめた事情もあらうが今日は最早他力信者では駄目である、右の如く永い眼で利益は薄くとも永續する考へを持つことに依り且つ此考へで兩國人の融和提携に依りて邦人亦發展の餘地が十分にあるべき筈である

×

それについては吾々も隨分氣をつけねばならぬことで區々たる規矩繩墨に捉はれて實際を忘れてはならぬ支那人は附屬地以外一步も出づべからずと頑張る日本人は支那人に對して細かい理屈を並べ立てるといふ風では何時迄經つても駄目であるから自分等の職責上からも十分氣をつけて行きたいと思ふ既に時勢は急回轉して居る舊式な領土的觀念に捉はれたり日清日露兩戰役當時の征服者のやうな考へを持つて臨んでは愚の骨頂である。

あすの定例閣議で文相更迭を決定

政局紛糾の危險を成べく避け後任の補充に止めん

【東京廿八日發電】小橋文相の辭意は極めて固く理由は大臣として檢事局の取調べを受ける苦痛よりも寧ろ綱紀肅正內閣の一員として文教の府に在る者が疑獄に關聯し疑惑に包まれては職責を全うし得ないと云ふにあり首相亦事已むを得ずとし關西より二十九日歸京、定例閣議を三十日に繰下の豫定を變更し二十八日京都の民政黨近畿大會を終へ同夜發二十九日朝歸京して急ぎ一切を解決する模樣である、文相は首相歸京次第正式に辭表を提出し首相は閣議を招集承認を求めた上直に宮中に參內天皇陛下に執奏御裁可を仰ぐ筈、右閣議に於ては
一、一蓮托生問題
一、小橋文相を閣員として奏請したる濱口首相の輔弼の責任問題
についても協議されるが、多數の意向は萬難を排して今後の政局を擔當すべしと云ふに一致してゐるから結局文相の辭職を承認して後任問題につき意見交換後之を首相に一任することゝなら う、而して後任問題に絡み內閣一部改造說もあるが閣僚の多數及び與黨方面では問題を可及的小範圍に限り紛糾の危險を避けるため單に文相の後任を補充するに止めよとの意見が多い、後任候補者の銓衡は種々噂に上つてゐるが、濱口首相としては既に關西に於て想を練つてゐるものゝ如く小橋文相の辭職決行直後即ち二十九日中又は三十日軍縮全權一行見送りの前後何れかの內に後任問題を解決して事態紛糾の餘地を殘さぬことにする模樣である

文相の後任田中氏最も有力

本黨系より拔擢を穩當とし

【東京二十八日發電】小橋文相に對し民政黨では引留運動も相當あるやうであるが辭意固く濱口首相が二十九日歸京するを待ち辭表提出の模樣なので與黨方面では後任を議してゐるが黨內一般の意嚮は氏が本黨系であり又氏の犧牲的精神を尊重して本黨系より拔擢するを穩當とし目下田中隆三氏を推さんとする空氣が强い、尙政界一部には渡邊法相の更迭說あるも思はぬ破綻を招かぬとも限らぬので文相補充のみに止むるらしい【寫眞は田中氏】

危險思想防止の文獻を出版

文部省協議會の意見

【東京廿八日發電】文部省の思想文獻に關する協議會は二十七日午後二時から省內會議室に開會、紀平學習院敎授、千方、宇野氏以下の諸大敎授其他文部省より關屋社會敎育局長、粟屋局長より思想問題の解決に就ては之に關する文獻なく困つて居る此點につき腹藏なき意見を承り度しと挨拶の後協議に入り更に十二月四日再開具體案作成に決したが主なる意見左の如し
一、思想善導に關する文獻はマルクス主義批判に直接影響なきも間接に影響があるから是非出版すべき事
一、日本書記、古事記其他歷代の御詔勅及び廣く支那、西洋等の思想善導に關する書籍を成るべく平易にして出版すること
一、小學校の先生も此等の書籍に依つてマルクスの批判や思想善導の出來るやうにすること

梧州攻擊中止

英國の抗議で

【廣東二十七日發電】廣東飛行隊は中央より應援の飛行機を加へて約二十臺となり每日西江、北江方面へ偵察飛行をなしてゐるが飛行機の梧州攻擊はイギリス側の抗議で中止された、香港で傳へられた梧州が昨日爆擊されたとの風說は誤傳であると

廣東軍艦寢返說

【廣東二十七日發】一說に依ると西江に在る廣東軍艦の一部は反蔣軍に寢返つたと云はれてゐると

議會解散難

疑獄は朝野兩黨とも不利

貴族院方面の觀測

【東京二十八日發電】疑獄事件取調べ進展し朝野兩黨とも國民の信頼を失へるを指摘して貴族院の一部では又復議會解散回避說が有力となるものと觀測するものが出て來た、即ち疑獄事件は總選擧に對する政友會の大打擊であるが民政黨も綱紀肅正を標榜してゐた關係から之亦大打擊を受けるは明である、而も多年の懸案たる金解禁は既に解決されたが其後の國家財界の重要時期に政局の不安を招來させるは遺憾であるから政付は出來る限り議會切拔け策を講ずべきであると云ふにあり朝野兩黨とも軍資金の缺乏を痛感しつゝ睨み合ひのまゝ議會を推移するものと觀してゐる

滿鐵社員の健康

二千名診斷の結果は良好

中楯防疫係主任談

滿鐵社員の定期健康診斷は去る二十日から二十七日（祭日、日曜を除く）まで六日間本社會議室に於て施行されたが中楯衞生課防疫係主任は語る
受診者總數は部長以下傭員囑託まで二千名であつたが內不參者は百六十名餘で受診者の健康狀態については目下統計の作製中であるが一般に例年より至極良好であつたやうである、而して定期健康診斷の開始以來社員の健康狀態が漸次向上してゐることは事實で結核性などの早期發見には特に力を入れることゝなつてゐる、百六十名餘の不參者は病氣缺勤者、出張不在者等事情止むを得ざるものであつて此等は來月更に日取を定めて診斷する

中谷警務局長

內務省訪問用務

【東京特電二十八日發】關東廳豫算問題で上京中の中谷警務局長は昨日內務省を訪問警保局長と會談したが右は警務局に內地より新人物を輸入する交涉のためと觀られてゐる

人事

▲加藤友治氏（前福昌華工株式會社取締役）今回同社辭任につき二十八日各方面歷訪挨拶を爲した氏は近く獨力にて新事業開設の筈
▲門田新松氏（實業家）廿八日入港はるびん丸にて來連
▲白川友一氏（同）同上
▲原田光次郎氏（同）同上
▲今津十郎氏（大連商業銀行專務）同上
▲山岡信夫氏（滿鐵電氣課長）萬國工業會議協力會議出席中のところ同上歸連
▲今井榮樹氏（南滿電氣取締役）同上
▲森山德次郎氏（島津製作所員）同上
▲中村文治氏（自由公論社長）同上
▲河越重定氏（步兵大尉）同上
▲村上純一氏（大連醫院內科醫長）桃源臺八十六番地に移轉

大觀小觀

疑獄また疑獄、つひに文相の更生とまでなる。
◇
併し、疑獄は要するに疑獄、濱口內閣の政策には、何らの變易なしと見るべく、內閣に對する國民の信任は、まだ去らぬやうだ。
◇
從つて、政變を云々するは、少しく早計に失する、か。
◇
西部戰線に異狀あり、支那兵、盛んに潰走。
◇
行かけの駄賃に、手當り次第の掠奪、これが治外法權を何とかいふ國の、正規の國防軍といふのだから驚く。
◇
勞農機よりも、却つて支那の潰走兵、自國の良民を走らす。
◇
支那の良民は自業自得として、在留外人の迷惑、この上なし。

天氣豫報

（廿九日）北西の風曇り驟雨模樣後晴れ

日出　六、五〇　日沒　四、三三
滿潮前　八、四〇　後　九、二〇
干潮前　二、三五　後　二、三五

暴風警報
風强かるべし、一時三十分南滿洲附近一帶を警戒す

緊縮時代の珍現象 景氣のよい縁結びの神

數は減つたが謝禮金は増えた だが結納品は……？

婚禮月の十、十一月といへば毎年出雲の神樣は大多忙を極めてユックリお休みの時がないといつた調子だが、緊縮風の吹きまくるけふこのごろ、おそれながらと神樣の景氣を大連神社々務所について聞いて見る

▽……△

今年は十月に入つてから今日まで卅六組の神前結婚式があげられたが、去年のこのシーズンに比べれば五組許り減じてゐるます、しかし謝禮の方は五、六十圓の増加ですよ、これなんかは緊縮時代としては全く珍な現象ですね、つまり神樣には緊縮なんてことはないといふんでせうネと、節約の風はドコを吹くかといつた勢ひである、これは一生に一度の重大な儀式だけに一等五十圓、二等三十五圓、三等二十圓といふお金も惜まず投げ出す結果に外ならない

▽……△

神前結婚は割合簡單に濟むためでもあらうが、逐年増加の傾向を辿り大正十二年の百二十組に對して今年は既にその倍の二百三十組に達してゐるといふのだ、コンな具合で縁結びの神樣には流石の緊縮風も手を出しかねてゐるが、婚禮の衣裳調度品類を取扱ふ店にはヒシ〳〵とその手がのびて、最近は、結納品の如き、或る店では毎日五、六組の註文はかゝさないが、昨年にくらべて良い品は出ず大概十圓前後のお安いところで間にあはされる有樣だと語つてゐる

盡忠報國 榮譽の善行者

京都華族會館で表彰される 滿蒙毛織の 矢作房吉氏

【奉天特電二十七日發】來月一日京都華族會館に於て全國善行者百六十八名を選拔し表彰する中に奉天から只一人その榮譽を受ける人がある、それは滿蒙毛織會社事務員として永年勤務してゐる矢作房吉氏である

氏は千葉縣東葛飾郡船橋町の出身で奉天の在郷軍人會のために專心努力すること十四年、その間旗手として班長として引續き盡し表彰されること數回、昭和二年

奉天に 始めて青年訓練所が設立されて敎官となり、今日まで毎朝の如く會社より一里餘も隔たる道を寒暑、風雨も厭はず通勤し、訓練所生徒に對しては服の修繕材料を與へ又は自ら修繕してやる等到らざるなく生徒も慈父の如くいつくしんでゐる、今回氏が盡忠報國の精神に篤い人として名譽ある表彰を受けるやうになつたのも蓋し偶然ではないといはれる

孝宮樣 皇太后陛下に初の御對顏

【東京二十八日發電】孝宮和子内親王樣には二十八日午後零時五十分賢所御參拜後の御禮御挨拶のため自動車にて初の青山東御所御訪問あらせられた、皇太后陛下には新宮樣の見事な御發育に殊の外御滿悦あらせられた、孝宮樣には午後二時半宮城に御歸還あらせられた

外國人船員會館落成 來月二日開館式

大連繁榮策の一助とすべく外國人船員の慰安に資する爲め滿鐵の多大なる援助の下に海務協會裏に工費五萬圓を投じて去る七月より工事に着手してゐた外國人船員會館は、愈々竣工し内部の裝飾もすつかり整つたので、海務協會では來る十二月二日午後五時より灑洒たる新會館に於て開館披露の宴を張ることゝなつたが當日のプログラムは左の通りである

五時—五時半招待者館内外觀覽 五時半開館式開始、六時開宴音樂、七時半活動寫眞

九谷燒展覽會

日本陶器界に於て有數の地歩を占めてゐる九谷燒は近年科學の進歩に伴ひ燒成に異常なる改善が行はれ完全なる美術工藝品たる名聲を博するに至つたが、今回新谷燒紹介のため十二月二日より六日まで五日間三越三階に於て九谷愛陶會主催の下に「今の九谷展覽會」を開催し一般の品評を乞ふこととなつた

一管の尺八に身を托して

悠々流浪の虚無僧谷狂竹氏 けさ飄然として來連

明暗流の虚無僧として尺八を握れば天下第一人者として知られて居る狂竹谷武雄氏は今回正定府に在る開祖普化禪師昇天の靈地に詣でゝ「阿字觀」を獻曲するの道すがら朝鮮を經て浪々北滿に遊び、飄然として今廿八日十二時半着列車で大連驛頭に現はれた、名利と繁雜の外に悠々一管の尺八に托して流浪する谷氏の人間性は幾多の挿話を生んでゐる、この度流浪あてなき氏を滿鐵社會課が迎へ不日滿和會館に於て大連市民に見えると、尚東亞青年居士會では六時彌生女學校作法室に谷氏を迎へて妙音に接すると（寫眞は谷狂竹氏）

誰何した刑事を刺す

基隆の出來事

【臺北二十七日發電】二十七日午後七時半ごろ基隆署刑事部藤田刑事が公設市場附近を巡邏中二十二三の擧動不審の内地人を誰何したところ件の内地人は隠し持つた短刀で刑事の左腹部を刺し大腸露出して昏倒した隙にいづくともなく逃走した、基隆署では藤田刑事を基隆病院に入院せしめ應急手當を加へると共に非常線を張つて犯人嚴探中であるがまだ縛に就かない犯人は扶桑丸で來基せるものらしく手口より見て重職犯人と見られてゐる

列車事故

ふたり轢る

廿六日午後零時七分ごろ周水子驛下り第一、三本線中間に於て機關士河合博賞(三)と車掌千葉直介(三)の乘込む第三二四貨物列車は下り第四一列車の進入通過せるに氣を取られボカンとして線路近くに立つてゐた大連淡路町二四同驛鐵務驛手福屋重義(三)を衝き飛ばし頭部その他に向ふ三週間を要する擦過傷を負はした

◇

二十五日午前十一時三十分ごろ周水子泡崖屯小野田セメント會社構内三番線上に於て機關士足利篤(二)および車掌多々良甫信(二)の乘込んだ第三二四貨物列車は二十一輛の貨車を順次連結せんとし徐行し來る貨車を連結中、小野田セメント會社使用人尚奉館(二)は線路外に出んとした際過つて倒れ、右大腿部を骨折し左足に打撲傷を負ふた

滿鐵消費組合中央分與所 いよ〳〵けふから店びらき

大連港經由の視察者 實に二萬を突破

素晴しいこの各月別のレコード

東洋第一港をもつて任ずる大連港も年毎に觀察者の數を増して行き歐米各國港灣關係者は勿論、内地朝鮮、支那各地よりの視察者數は既に十月末をもつて大連港の記錄を破つて二萬人を突破してゐる、卽ちこれを

月割に すれば、一月は流石に少く十七名、二月が百二名、三月が五百五十二名、四月に入つて千六百七十五名、更に五月となり旅行期節に入るや一躍七千五百二十四名に達した、この數は學生旅行團の増加を示すもので、六月が千九百九十七名、七月が千四百八十九名、八月が千五百廿二名、九月に入つて二千百四十名と殖え

十月に は三千三百七十七名でこれまでの計が二萬三百九十五名、昨年中の累計が一萬六千二百八十名であるから本年は素晴らしい増加振りである

元某閣僚の身邊に及ぶか

山手急行の疑獄事件

【東京二十八日發電】山の手急行は目下疑獄の渦中に卷込まれてゐるが右會社の株式五萬株が權利株として行方不明となつてをり、そのうち二千株は佐竹勅選の手に、更に二千株は元閣僚の手に收まつて居るとも傳へられ同會社の疑獄に發展せば或は右元某閣僚の身邊にも危險が及ぶやも知れない、而して同急行は東京の循環線であり非常に有望なる線で將來は政府に買ひ上げらるゝ可能性あり、佐竹勅選が鐵道次官の際に認可したものである

我らのテナー 藤原義江氏來る

五日午後六時半から 協和會館で渡米告別獨唱會

會員券二圓（本紙讀者一圓五十錢）學生七十錢

主催 滿洲日報社

安住法院長殺し事件で 貔子窩へ再檢證

けふ長島判官ら出發

安住大連地方法院長を殺した貔子窩馬賊孫雲錄は地方法院の公判廷で檢察官より死刑の求刑を受け證據不充分の廉で無罪の判決を受けたので檢察官控訴となつたが、更に實地の再檢證を行ふ事となり長島陪席判官、高井檢察官、芝書記、大崎通譯の一行は二十八日午後二時半大連驛發、城子疃行き列車で出發した、一行は約五日間該地に滯在、右孫雲錄の幇助被疑者張永河會々長于永河ほか五名に就き檢證および取調べを行ふ豫定になつてゐるが、安住法院長の前例もあり、萬一を慮り頗る緊張してゐた

馬車うま狂奔

子供電車を傷く

大連沙河口白雲山馬車收容所二區二號の馭者富新(三)は廿七日午後一時ごろ二名の來客を乘せ電氣遊園下より小崗子方面に向ふ途中、行き違つたオートバイの爆音に馬が狂奔して折から同方面に向け進行して來た運轉手郭文福(三)の四號系電車に梶棒を衝突せしめて窓ガラスを破壞し、更に並木敷地にある電柱に二度打つけて同所に居合せた尾上町五一番地理髪業萬福全三女玉英(二)に負傷せしめて漸く停車した、小崗子署では馭者富新を呼出し目下取調中

不埒な利通丸

當地鹿玉軒扱利通丸は廿八早朝入港したがいくら待つても水先案内が來ないのでノコ〳〵入港旗も揭げず防波堤内に入つたが、港則を知らぬとは不埒だと許り逆戻りを命ぜられた

今曉奥町のボヤ

二十八日午前一時三十五分ごろ大連奥町三六苦力王中有(四七)かたより出火、約半坪を燒失したのみ大事に至らず消し止めたが、損害は約五圓、原因は王ゝ妻が便所へ行つ際燐寸の燃え殘りからである

電車の追突

廿八日午前八時四十分ごろ小崗子行一號系電車運轉手李順(三)が市内惠比須町停留所において停車中、後方より進行して來た沙河口行四號系李春林(三)の運轉する電車が勾配のためブレーキきかず停車中の一號電車後部に追突しヘッドライト救助器等を破損せるが乘客には何等被害なかつた

沙河口市場賣出

沙河口公設市場では來月一日より現金賣出を實施することになり、廿六日より今月一ぱい在來商品の一割値引大賣出を爲してゐるが、毎日平常賣上の約三倍に當る三千餘圓の賣行があり盛況を呈してゐる

奉天醫大氷滑部の歐洲遠征を送る

附＝滿洲スケート界の將來 (2)

岡部平太

スケーティングの將來

スケーティングには凡そ三つの進路が開けて居る。スピードスケーティング、アイスホッケー、フイガースケーティング其他にも氷上遊戲があるが日本には殆ど紹介されて居ない。

○…**その** 中スポーツとして最も大衆的なものはフイガースケーティングである。フイガースケーティングと云つても巧妙な氷上ダンスだけでなく、自由にリンクを滑走する程度の低いものを含めて云ふ。人もし一度カナダに冬を過したならば如何に彼等が雪と氷を樂しみつゝあるかに驚くであらう。モントリオール一市に大小約二十個所のスケートリンクがあるが夜といふ夜何れも滿員の盛況で一週二度の樂隊出演の夜など殆どリンク一ぱい老幼男女で動きのとれない程の人出である。

○…**不幸** にして滿洲のリンクは設備が何れも不完全なためとこの外氣を驅舒して遊ぶフイガーを樂しむ趣味が未だ一般に普及して居ないためと、も一つはダンスに對して極めて曲解されて居る現狀にあるため今日では殆ど行き詰りの狀態に陷つて終つて居る。たゞ奉天に於て、久保田、山口兩博士の熱心なる實際研究により將來の希望はつながれては居る。幸ひ山口博士が藝術研究のため、本年渡歐された序に、フイガースケーティングを研究されることになつて居るので博士の歸朝後著るしく進歩すべきは論を俟たない處であり、その中には今日の第二代人がやがてフイガーを愛好する年齡にも到達するであらう。その時こそカナダ、スイスにも劣らないスケートの時代が出現する時である。

スピードスケーティング

滿洲のスケートは先づスピードスケーティングから始まつたと云つても過言ではない。この全滿到る處に見らるゝ極めて粗雜なリンクと烈風に吹き捲くられる極寒の中に行はれるスポーツとして、先づ滿洲にスピードスケートの競走といふことが行はれたことは自然であつて、丁度、北歐のフインランド、ノルーエーのスケートが殆どスピード競技に集中されて居るのに甚だ相似て居る。

○…**内地** から來るスケーターが一樣に驚歎を發するこの滿洲の異樣なスピードの發達振りは全く自然に影響されてのことであつて子供達が兩親に向つて先づねだるものはスピード用の競走スケートである。ねだられた親達は（スケートの事を知らない）値段の點から買つて與へるものは鐵製のフイガー用のスケートである。然しその子供が直ぐにそれに飽きて次に競走用のスケートを欲しなかつたら寧ろ不思議である。

○…**スピ** ードスケートに對しての研究は數字的科學的に行はれ得るが爲滿洲のスケーティングの輸入が非常に遲かつたにもかゝはらず着々として進歩した。遂に三四年前のシーズンから日本スケート界の大場であつた諏訪湖を凌駕し昨シーズンは鴨綠江に全日本の選手を集めて選手權大會を開催する迄になつた。そうして今やスピードスケーチングに就ては滿洲は日本の最高水準に達して居る。

○…**だが** 然し滿洲のスピードスケーチングも今や完全に行き詰つて了つた。非常な好奇心と勢を以て進んで來た滿洲記錄（全日本記錄）がもうこの四五年パッタリと底止して殆ど動かなくなつた。それも歐洲及カナダと比較して合理的な差異であるならまだしも。一周五百米に對して七、八十米の差と云ふ點での底止である。それは明らかに科學的不合理である。この科學的不合理には研究上何處かに非常に大きな未知の缺陷が潜んで居る事は明瞭であるが誰も之に的確に答へ得る者はない。この不合理に就いて吾々はシーズン毎に出來るだけの研究の手段は盡したつもりであつた。

○…**然し** 疑雲は益々疑雲を生ずるばかりに過ぎなかつた。これが研究のため、猪熊兼吉君の渡歐となつた、君は昨年の一シーズンフインランド、スイス、ベルリン等に於てその問題を研究し來るべき本シーズンこそが解決に更に一歩を進めてくれることになつてゐる之によつて何が現在迄の研究の不足であつたか徹底的に解決の道が拓けようとして居る。（寫眞はスピードスケーチング練習中の筆者と飯村敏子孃）

愈よ『大日活』今夜から開館

けふ再檢査にパスして

去る二十三日開館式を擧げた大日活は其の後種々の事情の下に一般開館をする事が出來なかつたが不備の點を總て改めて本日大連警察の再檢査を受け無事此れを通過し午後長館主が旅順に到つて開館の許可を得、本日夜間より開館する事になつた

夫の不具を悲觀 モヒ自殺未遂

大連沙河口管内西山屯春柳屯侯家溝無職宮端亭は長春において電氣修理夫として勤務中、誤つて感電し右脚部に重傷を負ひ歸連し同壽病院にて加療中であるが、二十七日同人妻宮千代(三)は夫の不具の姿を見て悲觀し歸宅後午後一時ごろ多量のモルヒネを嚥下して自殺を圖り家人に發見され再び病院に收容された

吳山丸船長に嚴戒

國際汽船所有後藤商會扱吳山丸は出港手續なくして大連港を出帆復州に向つたが、右は港則違反で海務局としては看過し來す廿八日入港と共に船長中塚仲一氏を呼出し嚴戒を與えた

積極的經濟政策を滿洲に實施せられ度し
全滿商工會議所聯合會から首相始め要路に懇請

既報、滿洲商議聯合會ではさきに滿洲に於ける商工業發達のため特に積極的助長策を採ることを政府要路に希望する旨決議し、之が起草方をハルビン商議に一任したが、今回同商議では左の如き陳情書を成案二十五日附を以つて濱口首相を始め大藏、商工、外務、拓務、遞信の各大臣宛に發送し、同時に關東長官、滿鐵總裁宛に提出し考慮方を要望するところあつた

(前略)今や滿洲經濟界に於ける現狀を窺ふに其の國際競爭市場たるの色彩いよ〳〵濃厚化し諸外國人は豐富なる資力及有力なる施設並に背景と相俟つて或は企業に或は貿易に其の活躍發展實に顯著なるものあるに拘らず邦人の一般的現狀は勵く萎微衰退の兆あり、是が原因する處種々ありと云へども今日にして積極的振興策を講ずるにあらずんば遂に救ふべからざるの危機に到達するや瞭かなり(中略)政府の緊縮政策の實行は吾人の共鳴する所なりと雖も滿洲は前述の如く内地と事情を異にし、若し消極的政策を以て臨むに至らんか邦人多年拮据經營の經濟的地盤は忽ちにして根底より崩壞せられ(中略)依つて政府に於かれては滿鐵諸事業の合理的積極化、民間企業貿易振興に對する積極的特殊の援助保護之に伴ふ低利資金の融通及び輸出爲替保證制度の實施、並に滿洲金融制度機關改善方策の促進等々須らく積極緊張の方針を以つて國家百年の大計を期されんことを(中略)茲に在滿邦人商工業發達のため特に積極的助長政策を採られんことを當局に對し本聯合會の決議を以て及要請す

中央市場改善の具體案成る
市の委託販賣制と市營單一制の二案

懸案の大連中央市場改善問題は懸々具體案が樹立されたがその内容は既報の如く卸賣人營業を賠償する完全なる市營單一制と、荷主より希望ありたるものに限り市が委託販賣を爲す兩案だと確聞するが兩案の内何れを第一案とするかは可なり論議がある模樣である、然し後案は卸組人組合の猛烈な反對に會ひ紛擾を來す虞顯著なるものがあるので

結局前案を推すものと觀られて居り今二十八日午後四時より開く市場視察議員の協議會にて右の兩案を諮り意見を徴したる上社會常設委員會に附議されるであらう、此の問題に就き大いに注目すべきことは聯合組合より派遣され目下駐連中の高橋技手が組合の意見として會社單一制には絶對反對なるも市營單一制には反對に非ざる旨明に言明してゐることである

奥地直送を出願
紀州柑橘輸出組合指定商が市場改善の牽制策か

紀州柑橘輸出組合指定商人十名は奥地直送を實行することになれば相場を現出するので聯合組合奥地に指定商人を多數置きたい意向を探つてゐるので當地商人は販路を奪はれること又當地商人の中でも一部の荷を持つ者と着荷が一日後れ奥地に直接の顧客を持たぬため競爭困難に立至る事情があるのに因る、かくて右の希望は實現されざるものと觀られてゐるが

開原地方の農作物
本年は收穫減

開原地方本年度農作物の收穫は十一月上旬迄に殆ど終了したが其收量は清河及び開原河流域中には水害のため收穫皆無の土地あり高地にありては二割五分内外の增收を見たが結局平年作には困難である尚當地原補圖の調査によれば各作物別收量左の如し

改良大豆	平年作に比し	七分增收
在來大豆	同	六分減收
高粱	同	三分增收
粟	同	二割三分減收
陸稻	同	二分八厘增收
水稻	同	三割減收
穈子	同	二割三分減收

市當局では研究する旨答ふるところがあつた

自信のなさ過ぎる銀行家
金解禁後の我國財界について
◇…紐育某銀行支店員語る…◇　(下)

【東京特電二十八日發】然るに日本の事業界は解禁後輸入品に壓迫されて不振を免れないものある事は明かであるから大なる資金の需要は到底起らぬ、故に必然的に民間有力銀行の手許遊資は海外に投資される事となる譯である、日本の政府及財界は資金の海外流出を非常に恐れるが貿易上の支拂勘定に屬する海外拂の大なる事は恐ろしいが民間銀行會社の海外投資は一向恐れるには及ばない何時かは歸つて來るからである、日本の銀行資金の豐富なる事を誇ある、米國の銀行の多金が少ない、何れも有てゐるからである、日手許資金を潤澤にして一取付けられた時に困ると云ふのでのよい銀行に取付けの

簡保激增
十一月上半期に廿七萬圓增加

十一月上半月間に於ける滿洲管内簡易保險新契約は二千五百七十五件此金額三十八萬五千六百廿二圓で前月同期に比し千九百五十五件二十七萬八千九百九十七圓の增加を示してゐるが右は過般の節約デーに際し各局一齊に活動した結果である因に四月以降累計八千一萬四千百二十三件金額二百四十五萬五千六百三十九圓である

哈大洋大慘落
時局不安に怖え

【ハルビン特電二十八日發】時局不安で哈大洋は百八十元に慘落した

釘付商狀の鈔票相場

地場鈔票は金解禁期日接迫するに從ひ上海標金の動きにも無關心に釘付商狀を呈しつゝあることは既報の如くであるが、當月中旬來の當限鈔票相場の高低を日別に示せば左の如し

當限前場相場

	高値	安値
十一日	八一、七〇	八一、五〇
十二日	八一、五〇	八一、三〇
十三日	八一、八五	八一、五五
十四日	八一、九五	八一、七五
十五日	八一、六五	八一、三〇
十六日	八一、四〇	八一、一〇
十八日	八一、六〇	八一、三〇
十九日	八一、五五	八一、三五
二十日	八一、五〇	八一、四〇
廿一日	八一、三〇	八一、一〇
廿二日	八一、四〇	八一、二五
廿五日	八一、三五	八一、三〇
廿六日	八一、三〇	八一、二〇
廿七日	八一、四〇	八一、八五

金利は騰るまい就職難は深刻化
保善社入りは年明け
石橋正隆銀行總務部長語る

安田保善社と業務打合せのため上京中であつた正隆銀行總務部長石橋光治氏は高橋常務より一足先に二十六日二十時半の列車で歸連したが氏は語る

保善社としても正隆を如何に盛りたてるかに就いては非常に意を用ひてをり今回も業務刷新につき種々打合せをしたが詳細な點は高橋常務から土産話として聞いてもらひたい、私の保善社復歸は目下特産出廻期であり金解禁を目前に控へてゐることであるから、年も明け金融界が閑散になつてから、引き揚げようと思つて…

海外投資

經濟漫畫

滿身創痍といふ圖、どつちを向いても命が危ない、發達せる資本主義國家の犠牲者よ「僅かに殘された生命の糸をたぐりながら……」と活躍もどきで小賣商の將來を眺めよう。

經濟雜叢
滿洲大豆の進むべき道
歐洲諸國に於ける家畜飼料の需給狀態　(四)

イ、家畜の概數(單位萬頭)

	牛	羊	豚
獨逸	一、八〇〇	四〇〇	二、三〇〇
佛國	一、五〇〇	一、七〇〇	六〇〇
英國	八〇〇	二、五〇〇	三〇〇
白國	一〇〇	—	一〇〇
丁抹	三〇〇	—	四〇〇
和蘭	二〇〇	—	—
瑞典	三〇〇	—	—
ルーマニア	四〇〇	一、三〇〇	三〇〇
芬蘭	二〇〇	一五〇	—
ハンガリ	二〇〇	一六〇	—
セルビア	四〇〇	八〇〇	—
ノルウエ	一一〇	一五〇	—
伊太利	—	一一〇	三〇〇
計	六、三四〇	六、七六〇	四、一〇〇

▲參考　米國牛五、五〇〇羊四〇〇〇豚六、〇〇〇　日本一五〇 — 七　朝鮮一五〇 — —　臺灣 — — 一六〇

ロ、商品としての飼料　歐洲に於て以上の家畜飼養に要する飼料にして實際的に取引せらるゝものは小麥屑、玉蜀黍、大麥、燕麥、豆類屑、米糠及油粕類にして其の數量一千六七百萬噸である、一九二八年輸入せられたるもの如し(單位千噸)

英國、獨乙、丁抹、和蘭…
小麥 …
ライ麥 …
大麥 …
玉蜀黍 …
燕麥 …
計 …

右の内小麥の大部分を除きたるものは殆ど全部飼料に需要せられ、外に粕類及穀屑のみの…

無事納會
廿八日限錢鈔受渡三百五十五萬圓

大連取引所錢鈔市場に於ける十一月二十八日限受渡しは…

滿鐵東鐵連絡新換算率

朝鮮の米と粟輸移出入高
十一月中旬

手形交換高

黄塵

市況

特産　材料薄で各品平調
錢鈔　銀塊安と鈔票保合
商品　前場
株式　内地株冴えず市況沈靜
市場電報
大阪株式
東京株式
大阪期米
東京期米
大阪綿糸
大阪棉花
横濱生糸
神戸豆粕
印度棉花
棉花
銀塊及爲替
上海爲替情報
上海標金
奥地市況
後場(保合)
爲替相場
錢鈔

平安異香（183）

葉多默太郎作　中一彌畫

戀の行方（一〇）

「あゝ親方さん――」

邦貞は上半身を起して投出してゐた脚を抱きこんだ。

陣十郎は默つてその横に尻を下して胡座になる。チラと流し目に邦貞を見たやうだつたが物は云はなかつた。むつつりとして海を見てゐる。

「夕風ですね、ちつとも風がない」

「うな――」

氣のない返辭である。

何か考へてゐるらしいので邦貞も默つてしまつた。が、口を利かずにゐると、重苦しい壓迫が感じられてたまらない。

この陣十郎といふ人は、深山の古淵のやうな人だ――と邦貞は思つた。

音もなく淀んでゐながら、底の知れない不氣味が感ぜられる深山の古池――

邦貞は僅に後ろへにぢつて、背へ手をつきながら斜ろから陣十郎を見た。

かうしてまち〳〵と陣十郎の顔を見るのは始めてだが、如何にも兇悪な相貌だ。青い顋が獰猛である。眉間に縱に深く刻まれた二本の皺が、ぞつとするやうな慘忍さを見せてゐる。海のある一點に止まつてゐる眼が兇暴だ。が、その眼に一抹の寂愁の色が湛へられてゐるのはどうしたわけか――

畢竟この人にも、人間の悲しみがあるのだらう。この兇暴な人も人間の寂愁から免れるわけにはゆかないのだらう――邦貞はさう思つた。思ふと、何か言葉をかけてやりたい氣がして、

「あの、親方さん――」

擂顔を覗きこむと、同時に陣十郎が振返つて、

「おい、邦貞」

と云つた。

「は――」

邦貞は口に含んだ言葉を呑込んで陣十郎の言葉を待つた。

「お前は、何時から家を出てるんだ」

「さうですね、もう五十日ばかりになります」

「さうか、五十日――梅雨のかゝりの時分だつたらうな。それでな、お前の家では皆な達者か」

「え、別に變りはなかつたですが、あなたは父を御存じですか」

「あゝ、二三年前に、一度お邸へ召されたことがある。お藤の方はいつまでも美しいだらうな。君ぐて美しい――お前の母ならもう四十は越えてゐる筈だが、あのときにも三十足らずにしか見えなかつた」

「…………」

「兄弟はねエやうだな」

「ありません。私も今の母の子ではないのですから……」

「お前が幾つの時に、お藤の方の輿入があつたのだい、お藤の方が後添とすると」

「十年になります。十二の時でしたから」

「十年だね、さうだらうな――」

いろ〳〵と訊くものゝ、何も彼も知つてゐて訊いてゐるやうな樣子なのが變に不氣味で、陣十郎といふ人には警戒してゐねばならぬといつたおつねの言葉がふと思ひ出されるのだつた。

「里方の六波羅へはよくゆくか――いやお前ではない、お藤の方の話だが」

「滅多にゆかないやうです。氣儘な人ですから、行つても面白くないと云つて」

「しかし、なんだらうな、お前は可愛いがられたらう、母一人子一人だから――それにお前、お前の十歳ばかりの時からだといやあ可愛いさかりだ、抱いて寢たりなんかせられたらうな」

邦貞は赭くなつた。

「私は小さい時から妙に依怙地で母にはちつとも親まなかつたやうです」

「さうか、それでは――いや」

云ひ澁つて口を噤んだが、すぐ追駈るやうにいふのだつた。

「世間で、こんな噂をしてゐるものがある。お藤の方の腋の下に、大きな奇妙な痣がある――何處かでそんな話を聞いたんだが……」

操、勝藏兩師の 常磐津二評

（評の一）◆何しろ家元松尾太夫の向ふを張つて一派を立てんとした操太夫と菊五郎門下の俊才勝藏の兩師が肩を並べし上、大連一流藝妓の出演といふので二十七日夜の歌舞伎座は、大連藝界の人々を以て埋められた感があつた。筆者も此等の聽衆同樣多大の期待を持つて拜聽したが、期待が大きかつた所爲か、勝藏の絃の外は――少し酷評かは知らぬが――やゝ常外れの感なきを得なかつた。

◆マヅ一番目の「乘合船」は小新の唄に一葉の絃ひかり、お里も惡くはないが清元にオチさうな危な氣あり「將門」は操夫人正榮サンに唄絃とも喰はれ「戀け曲物」からして感心せず、聽かせどころの「嵯峨や」も「ほの〴〵と」が陰氣で遺憾ながら成功とは言へぬ。

◆處が「式三番叟」が操、勝藏兩師によつて演ぜらるゝに及んで流石は〳〵と嘆賞これを久ふした。操太夫の「千早振」のあたりをワキが目をぎよろつけさせ不格構なるに比し、三味線に入つての語りぐち惡からう筈なく、勝藏が鍋而立に及ばずして神技に近きバチさばき全く恐れ入つた。文字兵衛が二の絃をハヂクと廣い歌舞伎の場外に聽えると稱せられるが、勝藏に於てもこれを實證し得た。たゞ「凡千年の鶴は」から「萬歳樂」に移る際ヨーと掛聲かけたはヤハリ文字兵衛通りウンの方が重々しくはないか。

◆小花、一葉の「お園六三」注文は多々あるが大連の藝妓として上の出來であらう。せん掲が操夫妻の肝煎藤田夫人に氣兼ねしながらワキでタテを彈いた感ありしも可愛い「松島」は立方が格墾ちの爲めか、勝藏、正榮とも稍ナゲ氣分、唄また氣のりせず、遂に最後「面白や」が行方不明になつたなぞトンだ餘興だつた。

◆「生醉」はとし松の十八番だとかだが詞に比し唄はえず、殊にリヨの節廻らず、小新上出來なるもかすめ過ぎるが玉に瑕。操、勝藏の「お染久松」は當夜の白眉全體の意氣合つて躍如たるものあり、操の喜兵衛、美太夫の善六手に入つたもの。カゲの南無阿彌陀佛も佳。たゞ美春太夫の久松が女に近く操太夫のお染頗る語り別けに苦心の樣樣であつた、最後の「三保の松」は聽かざりしが故に省略する（A記者）

（評の二）昨夜歌舞伎座に常磐津を聽く

◆番組は豫定より一部順序が變更され「乘合船惠方萬歳」から始つたが、一光に代つて一葉が立を彈いたのが聽衆には案外だつたらう、立唄の小新は操太夫に就いてから鐵傲脚も立つて著しい進境を示して來た、いさゝか調子に乘り過ぎたのを巧みに一葉がとつてとちらず良い處を見せた、この一葉は大檢の溫習會で見出されて以來目覺しい進出振である。

◆「忍夜戀曲者」は正榮の三味線、「道行蝶吹雪」は小花と一葉の唄に節子、せんの三味線で前の二つよりは一般に受けたやうだつた。

◆「式三番叟」は勝藏の演し物として期待された當夜の呼び物の一つ。顔觸れから言つても操太夫美太夫に勝藏、正榮を揃べて申分のないところ。勝藏は立派な構へとおし出ですつかり聽衆は呑まれて終つた、そしてその掛け聲に引き締められて流石はと大檢の連中と違つてその撥捌きがハッキリと常磐津であることゝ聽衆に教へた。

◆「岸漣漪常磐松島」は師匠連の地で花柳の師匠細壽が淡月の喜久江を相手に踊りを見せたのではあるが、私には解らないが、そして最初から地が踊のおつき合ひであつたらうが、あんな風に踊つて終ふのだつたら強ひて師匠の手を煩はさなくてよかつたらう、喜久ルは儼かな稽古でよく踊つた、興味本位から言へば喜久江の代りに一葉に相手をさせたらその結果は更に面白味があつたらう。

◆「積戀雪關扉」は前半正榮の三味線でとし松の獨吟、後半は正榮せんの三味線に小新、とし松の唄、調子を高めすぎて大分苦しかつたやうだが、矢張り定評のある顔觸れだけに大檢連中の演し物では聽きものだつた。

◆「初戀千草の濡事」は期待された操太夫の演し物だけに一般の聽衆から芝居を見るやうだと文句なしに陶醉せしめた、美太夫は操太夫のワキ語りとして既に定評のある人、美春太夫のしつかりした語口は流石に操太夫の仕込みだけ立派な出來榮え、なんまいだは始めが小しん、後がとし松。

◆「三保松富士晨明」は兩床かけ合ひで賑やかに花柳の名取り二人――壽々若（枡枝）と鯆葉が車輪に踊つて華やかな演し物、千暉の一失で持物を忘れて急場の白い布は眼に障つた、鯆葉は役柄も手傳つて壽々若より歩がよかつた、振付はいさゝか上品すぎた嫌ひがあつた、そのためにいゝ振りがかたまつて舞臺が少さくなつたのは殘念――妄評多謝（B記者）

好評を博し大盛況 常磐津演奏會

大連常磐津操會主催本社後援の常磐津演奏會は素晴らしい前景氣を以て迎へられ廿七日午後六時から歌舞伎座に於て開催されたが、果然各方面の愛好者を網羅し定刻既に滿員となり非常な盛況裡に十一時すぎ散會した

講演と音樂の夕 ラヂオ放送

一昨夜協和會館に於て「講演と音樂の夕」を開催し非常の盛況裡に滿場の聽取者を陶醉せしめたる音樂の三天才オペラの伊庭孝氏バリトンの內田榮一氏ピアノの簑田光吉氏は特に滿洲の同好者の爲に多忙の一夕を割き二十八日午後七時より大連放送局に於て講演と音樂の放送をなす由大連のファンは勿論沿線の同好者に多大の感興を與ふるであらう

梅村蓉子が奉天に立寄るか

目下大連に滯在中の日活人氣女優梅村蓉子は歸國の途次奉天に立寄ることゝなつてゐるとの事で十二月上旬赴奉し二日間奉天館に於てファンに對し挨拶をなすとの噂が傳へられて居る

映画と演藝

嘩話

ゆふべの常磐津演奏會は斷然秋の和樂演奏會をヒットした▲最後の舞踊で鯆葉と壽々若の裾模樣を見て色違ひのお揃ひだネと苦勞人が妙なところに感心する▲大日活もいよ〳〵今夜位から開館しさうであるが浪速館時代の新井孝童氏が更始一新して額木龍介と改名▲帝國館は「今年竹」の春代の身になつて二階の綺麗どこがすゝり泣き▲所で來週の「砂繪呪縛」大會であるが今週初日に出したプロに曰く「次週は恨めしい阪妻の「砂繪呪縛」▲初日の事とて末校正のまゝ出したプロでりとの事ではあるが▲今まで斷然トップを切つて居た帝國館にとつてはたしかに恨めしい「大會物」には違ひない

滿洲日報

支那側の大讓歩により 露支交渉開始に決定

支那、東鐵の原狀回復を承認 會議地は哈府で商議

【モスクワ二十七日發電】露支問題は今や支那側の讓歩的態度に依り解決の途上にあり、奉露間の交渉に關する打ち合せは十一月十九日より開始されてゐたが、本日漸く最後の階段に到達した其内容は張學良氏は東鐵の原狀回復、正副管理局長の復職等勞農側提出の先決條件を承認して依つて兩當局は正式會議の日取及び會議地を決定するため先づハバロフスクで商議する筈で勞農代表はシモノフスキー氏の任命を見る事となつてゐる

聯盟の干渉を要求 支那代表事務總長訪問

【ジュネーヴ二十七日發電】國際聯盟支那代表[illegible]事務總長ドラモンド氏を訪問したが、[illegible]露國が滿洲に於て[illegible]れた形勢につき聯盟に詳細報告し且つ二、三日中に公式に聯盟に露支葛藤につき干渉する事を要求する事になるであらう[illegible]不戰條約調印國に交渉を開始し[illegible]聯盟に參加してゐる爲め從來[illegible]

佛國にも干渉要求

【ジュネーヴ二十七日發電】[illegible]

直接交渉を 汪公使に勸告

わが外務省の意見

國際聯盟提出は効力なし

支那は當初より 交戰の意思無し

奉天支那側要人談

【奉天特電二十八日發】[illegible]回不戰條約を無視し西南問題の勃發に乘じて正式に開戰し砲火を開き支那領土に侵入し多數の兵卒を失つたことは實に遺憾に堪へぬ興安嶺以北は警備上不利なるため興安嶺一帶で持久戰をなし一方露國の今回の行動に關する處置に就ては不戰條約提出國に對し其責任を問ふ方針である

駐支公使と 意見交換

駐英公使の 英外相訪問

露支紛糾説明

軍縮兩全權 御暇乞言上

皇太后陛下に

市政上の暗礁（二）

市長の口約

助役問題解決の際 中立議員が妥協斡旋

[illegible]めて確徴の間に妥協せしむること[illegible]が出來た卽ち滿鐵派が市長推薦の助役、收入役を承認し且つ擁護派の恩田議員を議長に推すことを條件として市長は十一月中に有給市長案を市會に提出するこど[illegible]を内容とする紳士協約を以て兩派を握手せしめたもので所謂有給市長案とは之を指すのである、但し中立議員が市長の決意を直接どの程度迄に確めたかは頗るデリケートの問題で多少不用意の點がなかつたかと謂はれて居り、又某々議員等が市長に對し有給案提出によ[illegible]る辭職の決意を確めたのに對し市長は有給案提出の相談を受けたことはありとのみ答へ多く語ることを避けたのも事實らしい

◇

かくて口約により七月末の市會に於て恩田議長、顧谷助役、近藤收入役の就任が可決されたが其時河內山議員は前記の如き口約內容を提げて市長に迫り其決意を訊したのに對し市長は自分は十一月といふやうに明かな期限を決定した覺えはない、然し全體どうするつもりかと質問でもあればそれは自分の意見を以て進退し、すべきだけの事をしたならば現職に戀々とする要はない

と答へ引續き二三押問答あり、殊に田鄉長が「要するに妥協案なぞは知らぬといふ事ですね」との問に對し市長は「さうです」と答辯してゐる、遂に河內山議員は市會の現狀に慊らずとし議員を辭した、爾來石本市長は口約をよそに職制を改め鋭意市場や衛生作業等の改善につき調査研究を進めたが既に略成案を得たので明春四月の新年度を期し其政策を遂行せんと意氣込んでゐる

◇

此間反市長議員は參事會や委員會に於て殆ど感情的と思はれる迄に市政の監視を續けてきたが、遂に圓滿な市政運用の前提條件たる市長有給案解決に對する口火は切られた、卽ち本月二十六日市長は口約當事者と會見し有給案を提出したいが後任市長の詮衡や市會の收拾方の具體案を明示せざれば市民のため漫然と貴意に副ひ難しと一理ある戰術を以て先手を打ち反對派の虛を衝いた、之に對し反對派は口約の履行あるのみ、後事については成算あるも別箇の問題であると突つ離して共に讓らず、有給案問題は如實に暗礁に乘上げ市會の紛糾はどの程度迄擴大せらるゝや豫想し難き情勢に立至つた

◇

最後に各派の現勢は如何、先づ擁護派に於ては足並揃はざること甚だしく內部的に危機を孕み、滿鐵派は中立派と協力し擁護派の一部と結ぶものと觀られ、一方革新派は以上兩派とも齊しく相容れ難い立場にあるので不卽不離の態度を持續し兩派の抗爭を助長して自派を有利に導くことに努むるものと思はれる

東鐵赤系露人 全部馘首

【ハルビン廿八日發電】東鐵從業員中赤系露人の馘首は七月末を以て兎も角一段落を告げ其後沈靜に歸して居たが今回勞農側が積極行動を開始するや去る廿六日全線に亘り右赤系露人從業員の馘首命令を發した而して南部線寬城子驛に於てはこの命令により十三名を馘首したゝめ目下輸送繁忙期に際し手不足を生じ困惑してゐると

三萬名の 蒙古軍編成

邊防充實の爲

【奉天特電二十八日發】張學良氏は今回邊防軍增撥のため三萬の蒙古軍を編成し國境に出動せしめる事になり目下準備中であるがその軍資器等は司令長官公署より支出する事になつてゐると

滿洲里から 露軍退去

電話一部開通

【長春特電二十八日發】海拉爾から東支管理局への報道に依ると滿洲里を去る四十キロの地點迄電話開通し露軍は全部退去、支那軍一部は海拉爾に入つたと

官吏軍人の俸給 漸く十月分支給

奉天派の財政窮乏

【奉天二十八日發電】遼寧省に於ては對露抗爭問題以來財政極度に窮乏を告げ官吏軍人等の俸給は九月迄を拂つたのみであるため各方面に不平の聲起りつゝあり就中軍隊方面にては之がため脫走して匪賊の群に投ずるもの多く戰線にあるものは全く戰意を缺くといふ有樣になつたので當局は鋭意金策の結果廿七日軍隊に對し漸く十月分の俸給全部を支拂つた、然し文官方面には去る二十日僅かに十月分のうち三割を支拂つたに過ぎず、殘餘に就ては何時支拂はれるか見當もつかぬが傳ふるところによれば民國十四年の豫算を基準として減俸を行ひ支給するといふので一般官吏は大恐慌を來してゐる

本金の二分の一を最高として貸付期間は最長一ヶ月であると

東北各界團體 通電內容

[illegible]を訪問露國軍の滿洲侵入につき詳細に實情を說明する處があつた

【奉天特電二十八日發】東三省教育會、商工聯合會、教育聯合會、三省全民代表者は米、日本、英國、佛國首相、獨國大統領、國際聯盟事務總長、北平外交團にあて勞農露國は赤化宣傳をなし中國の治安を害する事四ヶ月に亘り更に國土を侵略して居るから國際調査委員會を組織して眞相の調査を頼む長文の電報を二十六日發した

支那商の 倒產救濟

奉天四銀行融資

【奉天特電二十八日發】省城の商民は既報の如く金融逼迫により商況不振に陷り倒產者續出の狀態であつたが愈々此等商民救濟の爲官銀號、交通、邊業、中國の四行より現洋百萬元を貸出す事になり商工總會が貸借仲介所を設立して手數料千分の一を徵收し保證仲介をなし二十六日より貸付を實行しつゝあるが、貸付方法は資本金二萬元以上の商民に對し最早現洋二百元奉票五千元を限度とし法人には資

河南戰況は 中央軍有利

廣東は重大化

【東京二十八日發電】其の筋着電に依れば河南の戰況は中央軍に有利にて西北軍は既に襄陽を放棄して退いたと傳へらるゝも西北軍の勢力今尙侮り難きものあり且つ廣東方面の形勢重大化せるを以て中央軍は樂觀を許さぬものあり側々露支問題緊張の結果未曾有の國難に當面して居り奉天側でも時局の推移を憂慮してゐる

何應欽氏廣東 へ出動

【上海廿八日發電】何應欽氏は今

また勞農機が 布哈圖襲撃

停車場その他を爆破

【ハルビン二十八日發電】本日午後二時露國飛行機十二機又復支那軍の堅壘興安嶺を超えハルビンの西方五百三十九粁の地點にある布哈圖に多數の爆彈を投下して停車場組立工場を爆破し死傷者を出した、斯くて露軍航空隊の活躍は漸次ハルビンに近づきつゝあり

中央派遣軍を 河南に駐めぬ

西北軍撤退の妥協條件

廣東へ名つた

朝軍艦靖安に搭乘海軍總指揮陳紹寬氏の率ゆる第二艦隊を引具して

【北平二十八日發電】西北軍の河南撤退に當り孫良誠氏と蔣介石氏との間に河南に中央派遣軍を駐めず唐生智軍のみを殘留せしむると の單一條件にて河南明け渡し協定成立せる事漸く判明して來た、閻氏引き續き其の中間に立つて西北軍の休養整理に當るべく十月十日西北軍將領の反蔣宣言發表前の狀態に歸つたものと見られる

いよいよ佐竹氏 起訴に決定

けふ强制處分滿了と共に 次は小橋文相召喚

【東京二十八日發電】越後鐵道疑獄事件で收容中の佐竹三吾氏は愈々强制處分が後一日を以て切れるので二十八日十一時より小山檢事總長、三木檢事長、矢追大審院次席檢事、鹽野檢事正等は約二時間に亘り密議を遂げた結果、同日中に一切の手續を了し二十九日强制處分期滿了と共に正式に起訴の決定を與ふる事になつた、同氏の起訴は當然同氏の手を經て久須美氏より二萬圓前後の收賄を爲したと目される小橋文相の召喚が迫つて來た事を示すものである

議會の解散は 本年內に斷行か

政府與黨に意見擡頭

【東京特電二十八日發】政府は二十九日朝濱口首相の歸京を待ち電光石火的に文相の補充を決行し先づ當面の難關を切拔け陣容を完備した後愈々來るべき議會作戰を練る筈である卽ち政府及び與黨幹部間の最高方針となつてゐた議會休會明後の解散斷行の方針は疑獄事件が豫想外に進展し疑獄關係者が政府筋にも及び政友會と共に此點に就ては國民の不信を買ふ結果となつたので自然右最高方針立直しの餘儀なきに至つたのであるが、與黨方面では左の如き急進論を唱へる者出で

その成行 注目されてゐる

卽ち小橋文相の辭職問題は政友會方面の瀆職事件と趣きを異にしてゐる、殊に文相が未だ召喚を見ざるに敢然文教の府長たる故を以て辭職する態度を採つた事は潔よしとせねばならぬ、此事情に就いては國民も充分諒解するの機會が來るであらうが、政府としては此際寧ろ積極的態度に出で進んで信を國民に問ふの意味において議會解散の機會を早め反對黨の

機先を制

すべしと云ふにあり、政府は一月二十日の議會休會明を待たず十二月末の議會開院式及び役員選擧直後解散を斷行すべしと唱へてゐる、此作戰は反對黨の最も怖れる處で此論は具體化し來るものと觀らる

兩相告訴事件 更らに抗告す

【東京二十八日發電】二十八日の政友會定例幹事會の席上、西村代議士は過般提起せる濱口江木兩相告訴事件は不起訴となつたが、五萬圓受授の事實は明瞭であるからこれを不當とし本件を更に抗告するに決したと報告する處があつた

三市場の期米 當限受渡

【東京二十八日發電】東京、大阪、神戶の三期米市場當限受渡の內容は左の如し

△東京期米	受渡高	一六、二〇〇石
	同値段	二九、三〇錢
△大阪期米	受渡高	三二、六〇〇石
	同値段	二九、四〇錢
△神戶期米	受渡高	三、二〇〇石
	同値段	二九、五〇錢

明春卒業生の お役人採用

緊縮でも必要數を採用する 定例次官會議で協議

【東京二十八日發電】明年三月各學校卒業生の官吏採用銓衡に關し二十八日定例次官會議に於て左の如く決定した

一、明年度官吏採用銓衡は各學校卒業試驗成績發表後に行ふ事

一、各省とも採用銓衡は成るべく同時（四月）に行ふ事

一、緊縮政策のため新採用なしと傳へらるゝも相當必要數の採用をなす事

一、陸海軍總司令部は行政官と異るため前三項の標準に據り難きため別に考慮する事

筆記試驗併用を 中學入試に許可

文部省より通牒發送

【東京廿八日發電】中等學校入學試驗制度改善に關し文部省は左の要旨の通牒を地方長官宛廿八日發送した

一、人物考査身體檢査を施行し小學校長の報告を參酌して選拔すること

一、小學校長の報告に係る事項のみに基きて入學を拒否する場合は中等學校の學習に到底堪えずと認めらるゝものに限ること

一、人物考査は常識素質性行等につき口頭試問の方法に依り必要の際は筆記試問の方法を加ふることを得、常識考査は教科書に基き推理等の能力を制定し得べき平易なる事項に之付を行ふ事

小橋氏、後任に 田中氏を推さん

けふ辭表提出に際し

【東京二十八日發電】二十九日の定例閣議は午後一時より同日午前九時歸京の濱口首相出席の下に開會小橋文相より提出の辭表につき審議のはずなるが、閣議は直に文相の辭職を承認し後任決定の上卽日首相參內執奏手續を終へ後任大臣親任式を奏請することゝなる模樣、而して小橋文相は當日の閣議には出席せず、濱口首相の歸京を待つて直に官邸に首相を訪ひ辭表を提出し、其際後任に田中隆三氏を推薦するはずである

强硬な態度で 復活を要求

削減額の半額以上を 關東廳明年度豫算

【東京特電二十八日發】關東廳の明年度豫算は既報の如く既定經費に對し六分乃至一割五分天引に依る一百六十七萬三千餘圓の節約、繰延べ查定があつたので西山財務部長はこれに就き本朝各局の要求を基として大藏省主計局と折衝中であつたが、その結果愈々對案を作成し三十日中にこれを大藏省と改めて折衝を行ふことにした、その對案の內容は尙秘密なるも大體に於て削減額の半額以上復活を要求すべく各費目に亘りていちいち說明を附し强硬な態度を採ることになつてゐるが、一方新規要求の決定は右節減額とにらみ合はせて決定するものであるから復活が多ければそれだけ新規要求に影響すべく從つて新規要求額一百餘萬圓も多少の削減はまぬかれ難い模樣である

市長問題で 市會またも紛糾

今の處協調見込無し

大連市會の紛糾は愈々火蓋を切られ目下協調の見込み全然立たず卽ち中立及び滿鐵兩派に於ては白紙狀態にあるものと見られて居り又市長の申出の如き要求を容れるものとは思はれぬので市長は最後迄有給案を提出せざるべしと觀られる、之に對し中立派では來月早々聲明書を發表すると共に市會を開會して市長不信任案を突つける旨言つてゐる、然し市長頑張れば

後任市長 問題に就て

決議文も 有耶無耶に葬られると共に目下擁護派に於ても結束亂れて居り革新派に於ても兩派の抗爭を利用して自派を有利に導かんとしつゝあるも之も亦統一がとれてゐないので市會の前途は悲觀すべからざるものがある

擁護派から 仙波氏脫退

聲明書を發表

大連市會の市長擁護派では各議員の立場上有給市長案問題につき結束して擁護の實を擧げ難い實狀にあるが、二十七日仙波議員は石本恩田、若月、相川の諸議員と會同し爾今同志を離れ獨自にして自由の立場に就く旨發表するところがあり二十九日聲明書を發表することゝなつた、而して同氏以外の諸議員は市長に對し早急に有給案を提出すべく善處されたいと希望してゐる模樣であるから右につき石本市長は語る

私が近日中無條件に有給市長案を提出するやうなことはない、數日前關係諸議員に言明した如く市政が圓滿に落付く模樣を見屆けない限り私の面子は兎に角全市民に對する實務上提案する譯に行かない

對日感情は 好轉する

東上の林總領事京城驛通過

【京城特電二十八日發】林奉天總領事は二十八日朝十時京城驛通過東上したが車中往訪の記者に對して語る

支那の目下の時局に關して上京する譯でない露支國境戰は近來支那側も眞劍味を加へたやうだが、勞農軍がハイラル附近まで進出したら白熱するだらう兎も角大して急變するとも思はれぬ

長春城內 動搖す

避難の準備

在留邦人は無事だ、日支の諸懸案は先づお預けだね、然し前內閣に比し濱口內閣は支那側に好感を以て迎へられてゐるから今後の好轉は期待し得る、セミヨノフ氏は張學良氏に會はぬが張氏が會見を拒絕したのだよ、白露軍の再起は覺束ないね

西部戰線に於ける戰況刻々險惡化し敗報頻りに到るや長春城內に於ても多數商民、大官家族等の南下避難に相當神經を尖らして居るところへこの在哈銀行の現金寄託により一層不安の念を高め城內の中國、交通兩銀行、東三省官銀號、吉林永衡官銀號の各支店では二十六日來現金及貴重品を取纏め附屬地の支店に移管しつゝあり支那商有力者にして附屬地に避難すべく借家の手配をなすものがこの二三日急に殖えて來た

伊大使參內

歸國御挨拶言上

【東京二十八日發電】駐日イタリー大使アロイジ男は來月中旬歸國する事となつたので二十八日午前十一時半宮中に參內千種の間に於て天皇陛下に謁見御挨拶を言上し十一時半より鳳凰の間に於て送別午餐の御催を拜し一時半退下した

岡田良平氏が 貴院議員辭職

【東京二十八日發電】岡田良平氏は樞密院顧問官就任のため本日左の如く發表された

依願免貴族院議員　貴族院議員　岡田良平

爲替小堅し

【大阪廿八日發電】本日外爲替市場は米日高に正金は引續き買向ひしため小堅く人氣は落着き氣味なるも相變らず買氣は弗々あり商內は香港買正金賣で對英二志十六分の一にて近物に五萬磅の出合ひあつた

關釜聯絡船 新造計畫

實現見込薄し

【東京二十八日發電】鐵道省では關釜間旅客輸送は一時緩和し目下の六隻では不足を告げ定期便に續船便を併用してゐるが本省運輸局の調査では昭和七年度には右聯絡輸送は全く行き詰りを生ずる狀勢にあるが之が緩和のため五年度以降三ヶ年間の新規事業として豫算約四百萬圓を見積り建造さるる五千五百噸の聯絡船二隻は既に議會の協贊を得鉄船課にて設計も終つてゐた處江木鐵相の緊縮方針として既定計畫一時見合せ方針のため之が實現は困難とさるゝに至り之が爲目下鉄船課では極力之れが必要を力說し其實現に努力してゐる

滿研幹部が 仙石總裁と會見

廿八日午前九時滿蒙研究會理事織田、相川、寶性、岩井、高塚の諸氏は星ヶ浦仙石總裁邸を訪ひ二時間餘に亘り滿蒙問題その他につき仙石總裁と會見意見を交換した

州內男子中等 學校聯合會

第三回州內男子中等學校聯合會は十二月一日午前十時から市內紅葉町大連商業學校で開催すると

關東廳辭令（廿七日附）

關東廳遞信技師正七位　中村富太郎

兼任關東廳技師（六等）

關東廳高等女學校教諭

兼同中學校教諭正七位　島田英雄

任關東廳高等女學校教諭（六等）六級俸下賜

旅順高等女學校勤務を命ず

同（廿八日附）

關東廳事務官　日下辰太

巡查懲戒委員を命ず

關東廳秘書官　安藤明道

巡查懲戒委員を免ず

關東廳事務官　日下辰太

旅順師範學堂長

關東州普通學堂及同公學堂教員檢定試驗常任檢定委員を命ず　津田元德

旅順師範學堂教諭　稻賀襄

關東廳事務官　安藤明道

關東州普通學堂及同公學堂教員檢定試驗常任委員を免ず

人事

▲中西敏憲氏（滿鐵地方課長）奉天、撫順方面出張中の所廿七日夜歸任

▲伊庭孝氏（音樂家）廿八日廿二時の列車にて奉天へ

▲篊田光吉氏（音樂家）同上

▲內田榮一氏（音樂家）同上

安興箱子

何處で飲んだか鼻歌まじりの千鳥足といふ景氣で、廿七日夜歌舞伎座は常磐津演奏會に乘込んだ市會の猛者恩田、若月、相川、仙波の市長擁護派のお歷々▲お茶子に案內されてツンボ座に納まつたまでは無事だつたが一行の若月君、虫の居所が惡かつたと見え血ッ相變へて木戶へ來るなり「大枚二圓五十錢も拂つて聞きに來たのに三階へ座らせるとは怪しからぬ」と蠻聲張り上げてのきつい抗議――▲なんぼ市會議員さんでも九時頃に來て良い席に坐らせろとは餘りのご無理、「芝居の席は早いもの勝ち、いくら偉い御方でも先着のお客樣を立たせる譯にゆきません」▲流石の若月猛者も筋の通つた申開きに上げた拳のやり場がなく「ウニヤムニヤ〳〵」

錢鈔

定期後場（單位錢）

期	寄付	高値	安値	大引
近	八八一	八〇五	八六〇	八〇五

出來高　期近　百七十萬圓

現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	八〇八	一七〇	一四〇五
二時半	八〇八	一七〇	一四〇五
三時半	八〇八	一七〇	一四〇五

出來高［銀對金 六萬圓 ／ 銀對洋 一萬二千圓］

商品

後場

麻袋（保合）

銘柄	約定期	約定値	數量
鐵筋	十一月末	三二、六	二〇〇
同	十二月末	三二、二	一〇〇
同	三月末	三〇、四	五〇〇

出來高　八萬枚

麥粉（出來不申）

綿糸布（出來不申）

特產

定期後場（錢建）

▲大豆（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　百七十車

▲普通大豆（出來不申）

▲豆粕（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	二三七	二三七	二三五	二三七
一月限	二三〇	二三五	二三〇	二三五
二月限	二二〇	二二八	二二〇	二二八
三月限	二二五	二二五	二二五	二二五

出來高　四萬八千枚

▲豆油（保合）（單位錢）

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　四千五百箱

▲高粱（軟調）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	四三〇	四三〇	四〇〇	三〇〇
十二月末	四一〇	四一〇	四一〇	四一〇
一月末	四二〇	四二〇	四〇八〇	四〇八〇
二月末	四〇九〇	四〇九〇	四〇七〇	四〇七〇
三月末	四一〇〇	四一〇〇	四〇六〇	四〇六〇

出來高　百二十九車

▲包米（出來不申）

現物後場（錢建）

	寄付	大引
混保大豆（袋込）	六四一〇	六四〇〇
混保大豆（裸）	出來高 二十車	
普通大豆（袋）	六三五〇	六三五〇
大豆（裸）	出來高 一車	
豆粕	二一六五	二一六五
出來高	二千枚	
豆油	一八三五	一八三五
出來高	五百箱	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

神戶特產（廿八日）

大豆現物	六五〇	六五〇
大豆先物	五五〇	五五〇
豆油現物	一九二	一九二
豆油先物	四九〇	四九〇
滿洲小麥	六二〇	六二〇
豆油現物	六二〇	六二〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
株新	七四六〇	不申
紡新	六〇七〇	六〇七〇
鐘紡	二三七〇	二三六〇
糖新	一〇二六	一〇一六
船新	不申	不申
郵新	不申	一五九〇
東新	一一二四〇	一一二四〇

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
株新	一二五八〇	一二五九〇
東新	一一三七〇	一一三八〇
品	一一六〇	一一六〇
中	不申	一二七〇
先	一二九〇	一二八〇
豆信中	不申	
豆新中	不申	

東京株式（短期）

銘柄	品	東新
寄値	一二六〇	一二七〇
引値	一二七〇	一二七〇
安値	一二七〇	一二八〇
高値	一二六〇	一二六〇

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十一月	二八六九	二八七七
十二月	二八六四	二八六八

東京期米

限月	後場當限落	後場引
十一月	二八七二	二八八四
十二月	二八八一	二八九〇

滿洲日報　支那の現實暴露　海拉爾潰走兵の掠奪暴狀

西部戰線、大に異狀あり、勞農機の襲來に恐怖せる支那軍隊は、全く戰意なく、ただ潰走するのみである。一時、元氣のよかつた滿蒙大學生の義勇軍など、今いづくにありといひたくなる。これでは支那の國防なるもの、威張るほどのことなく、支那側としても今さらながら現實暴露の悲哀を感ぜざるを得ぬであらう。

支那の軍隊は、對外對內の區別が出來ず、對外の場合にありても軍閥の勢力關係、地盤爭奪といふやうな觀念が拔けず、勞農に對する北境國防軍にありても、滿洲里における黑龍江軍が、危急に瀕しつゝあるにも拘らず、海拉爾の奉天軍は、これを救援することを敢てせず。いや危急に暴露せられつゝある黑龍江軍は、却つて奉天軍の救援を喜ばぬものがあつたのである。これ地盤關係よりして對外と對內とを混淆してゐる結果に外ならぬのであつた。

かくの如き有樣であるから、國防軍などといふものゝ、その國防の意味さへ徹底せず、何のために勞農に對峙するやさへ明白でない從つて勞農の威嚇は十二分に功を奏したのである。勿論、勞農側としても、未だ宣戰した譯でもなく、對支交涉を有利に導かんとするところからの威嚇政策であるから、目的は充分に達せられたものといふべく、それにしても、支那兵の意氣地なさは、平素の大言壯語に照し、言語道斷の狀態と申すべきである。

ただ問題は、今後いかに展開するやといふことになるが、勞農側としても、この攻勢を持續するだけの實力ありや否やは疑はしく、それに威嚇の目的は充分に達し得たのであるから、これ以上の戰事行動は中止され、あるひは高壓的の外交政策に出づるのではあるまいか。しかも勞農側の狙ふところは南京側との交涉といふよりも寧ろ奉天側に對して、その目的とする東支鐵道の原狀回復といふことを强張するものとも察せられる。

それは兎もかくとして、海拉爾潰走當時の支那兵の暴狀は、實に言語に絶したるものあり、人道上由々しき問題ともいふべきであつた。その結果として、野獸の如き支那兵の動きには、ロシア人などばかりでなく支那人自身が、自國兵を恐怖すること、全く虎よりも甚だしいものがあり、現にハルビンにおいてさへ、早くも避難騷ぎで騷然、雜然たる狀態である。

海拉爾における避難民を救出すべく、ハルビンより配給されたる救援車は、避難民を救出するどころか、殿はずして潰走する支那兵のために占領され、待ちに待つた折角の避難民は、茫然自失せざるを得なかつたのである。

しかも彼ら支那兵の潰走せんとするや、先づロシア人の住宅に闖入し、あらゆる家財を掠奪し、嚴寒の北滿において、老若男女を問はず、防寒具さへ剝ぎ取られるの暴狀に接したのである。時計、指環、長靴中に忍ばせし小使錢など殘すところなく掠奪されたのである。ある支那の負傷兵の如きは、繃帶の腕に掠奪せる手ミシンを離さず、また指環を掠奪する場合など、なかなか拔きとれぬに業をにやし、指を切り放すなど脅かされ全くの修羅場を演出したといふ。

されば ハルビンにおける在外人よりも、支那人の方が却つて、潰走支那兵の掠奪を恐れ、早くも避難の準備をなし、日本人のところに家財を委託するやう、日本人の借家を豫約するなど、さすがの支那兵も、今度といふ今度は、支那民衆からも、全く愛憎を盡かされたのである。

かくの如き支那兵を擁する支那が、一方にありては治外法權の撤廢とか、何とか騷ぐのであるから何とも申しやうのない次第であるが、自國民は勿論、在外人の生命財產の保護も出來ぬ現實の支那が無論は議論として實は何よりも雄辯、海拉爾潰走當時の支那國防軍の現實暴露、掠奪の暴狀を見せつけられた吾人は、南京政府の人々がどんなことをいふとも、支那の現狀といふことについて、少しく考へて見ねばならぬと思ふ。

丸出しにされた支那兵の野獸性
露機襲擊の日海拉爾に渦巻いた掠奪や暴行や放火

【ハルビン發】戶外は零下十五度餘である、石も木も砂も土も固く鐵筋コンクリートのやうに結氷してゐる、ジャライノールの赤軍攻擊にハイラル住民は多少不安に襲はれてゐた廿三日、突然露機が姿を現はし爆彈を投下した、物凄い光景は其れから間も無く市內の各所に起きたのである、廿六日午後三時二晝夜を要しハルビンに漸く避難して來た

四百有餘名 のロシヤ人の一群は古い木箱、メリケン粉袋、バケツ、茶器などの家財道具を山のやうに積んであちらに五六名、こちらに三、四名、道具の上に腰を下ろして「これから何處へ行く」目標を失つて呆然と考へ込んでゐる、中には乳呑兒を抱へてゐる女もゐれば、足腰の不自由な病人、老人もゐる、妻をチヤライノールに殘して來た男もをれば慘虐な父親と別れた妻子もゐる、慘虐な爭鬪の火中を脫して漸く安全地帶に辿りつきホツト一息つく間もなく次に迫つて來てゐるのは明日をも待たぬこよいの宿と飲食の問題が頭にふりかゝつて來てゐるのである

元氣さうな 男等は圓陣を造つて色々と話あつてゐるが行く先のない彼等に結局解決の思案はつかない「まるで孤島に放り上げられたやうな、知人のない處だから」と不安と焦燥に驅られてゐる廿三日の午後ハイラル全市に亘り行はれた支那潰走兵の掠奪は目も當てられぬ慘狀を呈した、この言葉につくせぬ暴虐は由々しい人道上の問題であると憤慨してゐるものもゐる、支那軍は全く馬匪賊と異らないことを現實に直視した彼等は慄いてゐる、恰度其の日は勞農機が爆彈のために重傷を受け遂に死亡した際に爆彈を投下した際は勞農機の爆彈のために重傷を受け遂に死亡した嵯峨驛長の葬儀が盛大に擧行されてゐた時

怖ろしい唸り を立てたストーム—掠奪、强姦、放火、爆破が渦を卷いて洪水のやうに市內に起きた、葬儀に參列してゐた群集は葬式どころの騷ぎで無く不安と恐怖に襲はれながら各自歸宅すると支那兵の集團が殺到し始めた、ハイラル驛長宅では鐵道收入の約三百圓の金を取纏めイザとなれば避難しやうと準備してゐると雪崩れ込んだ支那兵が金は勿論のこと驛長の外套、着物から鉛筆の端キレまで掻つ拂ひ、其れで足りぬため姙娠中の夫人を押へつけハメてゐる指輪を拔くため格鬪し遂に小刀で指輪を切開し負傷を與へ、娘の着物をも剝いで目星いものは片つ端から

手當り次第 に掠奪し、あらん限りの暴行と慘虐を加へ悠々と引揚げた、斯うした掻拂ひと掠奪は到る處に公然と敢行され支那商人も亦掠奪を受け、途中で外套を剝ぎ奪つた支那兵は身を隱すため今までの軍服を脫いで普通民に變裝して逃げる者あり、夜十二時頃に至つて稍鎭靜になつたが不安の空氣は一層濃厚となり、ハルビンに着いた避難者五十を過ぎたロシヤ女が恐怖のために精神に異狀を來し掠奪當時の慘狀を手マネ身マネで說明してゐるなど其の混亂狀態は想像以上であつた「ソウエート軍の襲來より支那軍の暴行が恐ろしい」と彼等は語つてゐる程支那兵は野獸性を遺憾なく發揮して

先を爭つて 後退したのである、胡毓坤第二軍長は既にこの時博克圖に司令部を移し「露軍はハイラルまでは攻略しない、來れば興安嶺の天嶮により防守し一戰するばかりである」と豪語してゐた、然し部下の統制は全く四分五裂で、東北軍の精銳を誇る支那軍は掠奪以外に用を成さぬ烏合の衆で全く訓練のない軍隊であることを暴露した、飛行機の音で算を亂して潰走した今回の醜態は胡軍長の責任問題で必ず引責辭職せねば納まるまい——と同時に黑龍江省萬福麟主席も當然職を退かねばならぬだらう

ハルビン驛に避難者殺到
支那資產家の不安

【ハルビン發】ハルビン驛は東支西部線ハイラル免渡河、牙克石一帶から避難し來るものと東部線丹江、海林方面からの露支人が殺倒し文字通りの人の黑山で氣の早いものは長春へ向ふものもあり混雜を極めてゐる、ハルビン、ブヘト間の旅客列車は定時に發車するが、途中ハイラル方面よりの列車がハルビンに來るので常に延着勝ちである、又ハイラルから避難するものは既に同地を出發した後列車の運行ないため杜絶しブヘトから途中乘車する者は大驛以外では停車せぬため乘車することができず一時混亂した、當時ハイラル、ハルビン間の一等切符が三百元で賣買された、斯うした不安の情報が頻々として傳へられるので早くもハルビンの支那人中に資產を有するものは安全地帶に避難準備しつゝ日本の家屋に移る者もある、商民等は支那の潰走兵を怖れてゐる

第三軍の軍長

【奉天發】國境における戰況支那側不利のため防露第三軍を編成し近く出動する事になつたが、右は各隊より選拔せる白衛隊を以て二ヶ旅と騎兵一團を編成し軍長には王瑞章、榮臻の兩氏中より選定すると

國民はみな蔣をにくむ
國民政府は私設だ　◇—章炳麟氏語る

【上海特信】章氏は學界の耆宿にして時局緊急の際には常に卓越せる識見と忌憚なき批評とをもつて上下の耳目を衝動せしめてきたもので、今次の時局談も注目を惹くに足るものである

蔣介石は當然倒れなくてはならぬ蔣は一般國民が全部これを惡んでゐるのだ、蔣の倒れた後の

善後問題は 自ら解決する、今日の所謂國民政府は實に蔣介石個人のもので蔣は國民の名を藉つて彼の私設政府を國民政府と呼んでゐる、故に國民政府は取消さねばならぬ、蔣介石の倒れた後は閻錫山がこれに代るであらうが閻には大した期待は出來ぬ、閻は表面上蔣に對し和平的態度をみせてゐるが實際はひどく蔣を惡んでゐる故に閻と馮玉祥とはうまく關係を結んでゐるに相違ない、閻が時局收拾に當るとすれば國民政府は當然北平に移すべく閻は南京には出て來ないであらう、また國民政府を北平に移せばその內容は當然變つて來る、汪精衛と閻錫山とは

決して兩立 することも許さないし、また協同して事を爲すことも出來ない、若し汪が蔣介石の倒れると同時に積極的に立つにいたつたならば閻は敢て立たないであらう、汪は目下香港に在りて時局を觀望しつゝ汪、馮の機會を狙つてゐる、現在國民黨の右派、蔣派、左派のうち蔣派と左派とは國民の爲めに決して幸福な政治をもたらさなかつたことは過去の事實がこれを證明してゐる、たゞ右派のみは未知數であるから、われわれ國民が若し國民黨を認めるとしたら望みの繫がるところはたゞこの右派のみである

ハラハ地方に赤色軍出沒

【ハルビン發】內蒙古索倫縣管下ハラハ地方に蒙古赤色軍約五百名出沒し露軍との連絡あると云ふので、貴福呼倫貝爾都統は三百の蒙古軍を同地方の守備のため派遣した、鄒作華屯墾軍鐵甲一隊はハラハ地方の危險にアルシャン溫泉地帶保護のため騎兵を出動せしめたが、東支西部線の露支對峙が長くなれば大なる程地方に馬賊跳梁し且つ蒙軍の蜂起をみるであらうと云はれ今や其の機會を窺ひつゝありと

ソウエート軍　穆稜炭礦を狙ふ
支那側では樂觀す

【ハルビン發】ソウエート軍が狙つてゐる穆稜炭礦は民國十二年一月スキデルスキー氏の斡旋で吉林省政府が三百萬元、ロシヤ商人が三百萬元都合六百萬元を出資し露支合辦事業として炭礦の採掘と炭礦鐵道を經營することになり、現在では出炭の大部分は東支鐵道に賣約し小部分を市場に出してゐるが、穆稜鐵道を密山から虎林を經て三姓に延長する計畫は屢々スキデルスキー氏がロシヤ側を代表して吉林省政府に交涉し奔走したるも遂に成功せず、省政府としては延長鐵道敷設の意思はもつてゐるが穆稜公司の手によることは欲してをらぬので實現の時期は近い將來にはないものとみられてゐる、最近の出炭量は一日平均一千米噸內外でハルビン市場には二十噸平均消費され其他は全部東支の機關車其他の燃料に供給してゐる、炭礦には合計約一千名の從業員と勞働者が從事し採炭坑夫は七百名內外であると公司では稱してゐるが實際は五百名前後の見當である、炭坑から密山までは約二百支里で自動車が連絡してゐる、支那軍は鄺澤生部の一箇旅と騎兵が沿道を守備してゐる、穆稜公司では露軍は炭坑を襲擊しないと語つてゐる

牡丹江方面の人心恟々

【ハルビン發】東支東部線牡丹江穆稜の露軍襲來は—露支交涉の開展しない場合—必然的に行はれるであらうとみられてゐるが、八道河子、牛戴河が露軍のため爆擊された報に牡丹江駐屯の第十二旅三十一團の吉林軍は高射砲を發射し殺氣を添へてゐるも刻々に不安の空氣がみなぎり人心は動搖し戰々兢々として商民は一時海林か、ハルビンに避難しつゝある

駐日英國大使

【奉天發】駐日英國大使サー・チレー氏は廿七日安奉線急行にて令孃を同伴來奉ヤマトホテルに入つたが同日は奉天に一泊の上廿八日城內を見物し同日十三時四十分發急行にて赴連した

南征雜錄（45）
難波勝治

邦人の工業

商業の外メキシコで邦人に適した事業は、一般的に需要される日用品若くは食料品の製造販賣であらう、尤も都市を始め各地には賣藥、園藝方面の成功者も少くないが、私が見た工場で感心したのは首府に於ける

製菓工場 と、グワダラハラ市の南方石鹼工場とであつた、前者は沖繩縣人安里龜喜、中曾根勝吉君等が、千九百二十二年（大正十一年）資本金二萬五千ペソ（一ペソは約我一圓）で創立した合資組織で、年々利益の大部を繰入れて基礎の堅實を期した結果、現在では七萬五千ペソ位になつて居る、製造高一ヶ年十四五萬乃至十七、八萬ペソに過ぎぬが、利率は頗る良好らしく、使用職工は男女計二十一名、男子の日給は一ペソ二ペソ最高五ペソ半まで、女子は一ペソ半乃至三ペソ廿五仙に及ぶといふ、藥品は

獨逸から 飴と牛酪とは米國から取寄せて居るが、製品の仕向地はヴエラ、クルス、ポエルバ兩州を中心として、オハカ、ゲレロ、クリプラ、オワウチナンゴ等の南部各地に亘り、內外人の行商隊に依つて買集められる、製造元は一割二分引の卸値で品物を渡すのだが、それ以上の儲けは本人の腕次第、小資本で隨分好成績を擧げて居る者が少くない、メキシコ市には比較的沖繩縣人が多いが、右の人々のほか新門龜君などが長老株で、何れも二十年以上の履歷を有してゐる、グワダラハラに於ける南方石鹼工場は、一ヶ年の生產額七萬乃至八萬疋、重に洗濯用の低級品らしいが風土の關係上需要は無限にある、之は賣子でなく

通信取引 が主だが、賣上額の一割に相當する一萬圓位は損倒れになるさうだ、場主南分勇三郎君は和歌山縣人、十六歳の時渡米してロサンゼルスに在住すること四ヶ年、一千九百二年（明治卅五年）グワダラハラに來てから二十七年を經過した、その間君が續けた奮鬪振りは隨分目覺ましい者だつたが、最も活動したのは革命當時軍隊への食糧賣込みで、玉蜀黍の買占めで苦勞したが大儲けもした、夫人は名門出のメキシコ人で、夫婦の間に

男女九人 の子寶を有する工場地の面積一萬七千七百五十立方米突、二十四名の職工中、十八年勤續の日本人一名と、二十四年勤續のメキシコ人一名とが居て、君は每日その間に立交つて作業に從事して居る、この工場のほか市の中心に店舖を有し、製品と各種の雜貨品とを取扱つて居る、主任は芦田恒三郎君、書生時代を北米に送つた商人肌の紳士である、之と職業は異ふがグワダラハラには都布久羅醫師が居る、曾て五ヶ年許り在住した後四ヶ年餘をメキシコ市に送つたが、最近の革命騷ぎで餘り利益がなく、一昨年の初にグワダラハラに舞戻つたのである、その談によれば該地方は別に風土病の多い所でない

マラリヤ 猩紅熱、天然痘など相當あるも、最も烈しいのは黃熱で野口博士の注射液も萬全を期し難い、既に述べたやうにグワダラハラの人口十四、五萬中、土着人の醫師は約百二十名居る、彼等は概ね外科に秀でて居るが內科は駄目だとのこと、その理由が頗る振つて居る、メキシコ人は多感で理性に乏しいが、革命以後殊に爭鬪亂鬪の行動が多く、それが爲めに手術材料は幾許でもある、其處には生徒五、六十名の醫學校が一ヶ所あるが

解剖材料 の豐富な結果、三年生時代から實驗を積んで其上達も却々早いそうである、醫者といへばメキシコほど日本醫師の多く入込んだ所はない、否入込んだのでなく化けたのだとの冷評をきくくらい、原因は一時條約で無試驗開業が許されたからで、最近こそこの特典がなくなつた爲めに無資格者は恐慌を來して居る。

投書歡迎
新聞行數五十行以內のこと　中傷を目的とするものは採らず

市長の辭職を望む
山縣通　M生

愈十一月も餘すところ數日石本市長の潔く去る日は來た、有給市長案を出して去るべきだと思ふ、あと適任者はいくらでもある、自己の借金さへ整理出來ぬ樣な方はどうして市の政治が紛糾なしにやつて行けようか

半ばの話はいかん
長春　藤田一榮

十一月二十四日の夕刊に矢吹博士の談として近代人は何處より如何にして最良な宗教を求むるか？と云ふ問題に就いて、健全なる常識で眞と思ふその中に善を求める心の外はないと思ふ。と云はれて稿が結んであるがこれ丈ではまづい、話すならその「健全なる常識」に就て說明していたゞきたい、多少思想問題を云々する者は多く自己の常識を健全なるものとウヌボレてゐるにちがひないと思ふ、共產黨員が積極行動をとるのも彼等の健全なる常識がするのであらう健全なる常識とは何を標準にした熟語であるか博士の御說明を乞ふでないと世の中が益々いけなくなる、自己免許の健全なる常識がはたして健全なる眞の常識であるか否か

皇道會と大本教
大連　一市民

大連に於ける思想團體の代表とも目されたる皇道會は此頃活動を休止してる樣であるが、聞く所に依ると皇道會長川上賢三氏は先日大本教の出口王仁三郎氏と奉天に於て會見し大本教本部に入所されたとの事、皇道會の幹部は此事實を何と見らるゝや、皇道會の目的が大本教崇拜に變更の下準備に川上會長が大本教入をなされるわけなるや、皇道會には津田彥六、脇屋次郎、高塚源一等の幹部ありしと思ふ、皇道會員の爲め思想社會の爲め川上會長大本教入の眞相を新聞紙上にて發表されたい

滿日地方版

教化總動員

旅順

聯合會を作り繼續的に活動

二十七日民政署で開かれた協議會できまる

旅順に於ける教化總動員に關する協議會は廿七日午後一時から民政署に開催

藤原民政署長、藤田學務課長、永山市長その他小學校長、宗教家、興文會、青年聯盟、青年團、修養團等の代表者三十餘名出席

藤原署長司會の下にまづ

藤田學務課長 から文部省の教化總動員の要旨並に神田内務局長の通牒の趣旨を説明した後各出席者より教化問題に關し既に實行した事及將來の計畫として

△青年聯盟では精神的方面の事業として本年四回に亘り戰跡見學會を催したが近く戰跡座談會を催す計畫がある

△金光教では本部より教化運動に協力すべき旨の命を受け、經濟の建て直しと題するリフレットを配付したると

△西本願寺では其日曜學校に於て戰跡廻りを實行せる事

等をそれ／＼陳述し藤田課長より

(一)精神作興の爲め戰跡見學を推奬すべきは勿論で教育家に戰跡講習會を開く計畫あること

(二)地歷同攻會に於て戰跡に關する資料を蒐集しつゝあること

(三)體育方面に於ても戰跡リレー、戰跡廻り會を催したる事等何れも其趣旨に基くものである

と述べ蔭山助役の發議で

戰跡廻り推奬 の實行細目を決定する爲め學務課、民政署、市役所、宗教家、青年聯盟、在鄉軍人會の各代表者一名宛を以て委員會を作り、協議することに決定した、次ぎに當日の各出席者を以て旅順教化團體聯合會を組織し繼續的に活動を續くるに決し會の組織を定むる爲め民政署、市、神道、佛教、青年聯盟、修養團より各一名の代表者を出し委員會を作る事に一致し、終つて興文會より議題として本運動の目的を如何にして徹底すべきや

一、講演會を開催すること

二、祝祭日の意義の徹底を計る事

イ、祝祭日の趣旨を印刷配布すること(國旗掲揚の徹底)

ロ、各宗教團體に於て行事を計畫すること

三、御眞影奉拜を奬勵すること

イ、學校に於ける四大節の式に參列するか、四大節に學校の式とは別に奉拜式擧行するか

ロ、右の集會に於ては國歌の合唱、勅語、詔書の捧讀をなすこと

四、旅順神社建設を促進すること

を提出したが主題を外れた諸說紛々で

議論に花が咲 いた爲め聯合會の組織が出來た上で改めて協議する事とし四時半散會した

活氣付いた滿鐵新埠頭

二十七日に貨車の初入り 廿八日から船が着く

竣工した旅順の滿鐵新埠頭は二十七日早朝三十三噸積の貨車四輛が初入りを爲し直ちに貨車卸しを爲したので何んとなく景氣が好い光景を示してゐる、これから毎日四五車宛の石炭が運ばれるそうで愈々新埠頭の面目が現はれる事であらう、又二十八日には愈々「新屯丸」と云ふ貨物船が新埠頭へ横付されるが來月十日頃迄には完全に二隻が横付される事と成り石炭、舊棧橋を合し三隻の船舶に依つて各方面へ輸出する事となる譯で、隨つて貯炭場附近は活氣が横溢するであらう

奉天

列車内で格鬪し匪賊四名を逮捕

奉天驛發車間際に

廿六日午後十一時奉天驛發下り四平街行第廿五號列車が發車間際に擧動不審なる四名の支那人が同列車に乘車してゐるのを同驛警戒中の登巡査が發見し直に福田巡査、王巡捕長、于永年巡捕の應援を得て逮捕せんとした處彼等は頑强に抵抗するのみか隱匿した拳銃を取出さんとしたので隙を與へず組みつき車內に於て空前の大格鬪を演じたが結局四名とも逮捕し取調べた處彼等は何れもブローニング拳銃とローヤル拳銃を所持し居り法庫縣、康平縣下を橫行した匪賊の頭目占北の部下であることが判明し中二名は左手に一名は左足に貫通銃創を受けてゐると猶彼等は彰武縣生れ住所不定無職優子事張好三(三一)法庫縣生れ泉子事邸興泉(二八)同臣皮事張颺(四〇)及び林皮事劉林(三二)であるが餘罪嚴重取調中である因に登巡査はこの程奉天驛に於て兇賊と交戰大格鬪の上逮捕し勇名を馳せた人である

滿蒙植物の採集雜話 (8)

旅順 佐藤潤平

第二編(三) 安奉線の植物景觀

安奉線は山あり川ありで大いに内地氣分のする風景の處だ。汽車は谷間を縫ふて走り、鳳凰山は連峰中最も奇拔にして雄壯であり、釣魚臺附近一帶は南滿洲の耶馬溪とでも云ふべき所であらう。

安奉線は風景に富むばかりでなく花木花草にとみ早春クフジユサウ、イトマキサウなどが谷間を飾り、山峰の北面した斜面は一面に紅のゲンカイツツジこれを覆ひ又陽向の斜面には所々にマンシウアンズを見る。マンシウアンズはアンズに酷似してゐるが一センチばかりの花梗があり、樹皮の木栓層が特別發達してゐるなどで區別される。花色は普通のアンズよりも遠方から眺めると少しく濃く且全形としてやはらかみがあり、滿洲での庭園木としてソメキヨシノよりもまさつた點を見られる。未だ庭園木としてその栽植を見ないがソメキヨシノと共にその森を作る必要があると思ふ。

此の頃からの安奉線の自然界は實に多端なものでつぎからつぎへと美花が咲き狂ふのである。岩上にはイハヤツデが笑み、谷間にはスズランが多數群生してゐる。序にその芳香谷間を充たしとでも云ひたいが安奉線産のスズランは日本や北滿に産するスズランに比してその芳香はるかに弱いのが如何にも物淋しい。濕地には溪流に沿ふてエンカウサウ又はサクラサウなどが咲く。鷄冠山のサクラサウの群生の如きは世界にまれなるものであらう。

五日頃陽向の山地には滿鮮特有のオヒヤウモモがその紅をほしいまゝにし、これにつゞいて咲くのはヒロハハシドヒ、これも滿鮮特有の花木、次は白花のテウセンゴテマリ、テウセンウツギ、トウツギ、マンシウバイクワウツギ、ズミ、オホヤマレンゲなどが咲き晩春から初夏にかけてはテウセンハシドヒ、カンボクなどが山相を飾り、草花には岩上にゼンテイカが黄金色の顏を見せ、山野にはシヤクヤク、白鮮、テウセンオダマキ、ホテイアツモリサウ、ハナシノブなどが咲き揃ひ實に生花材料に豐富である。

いよ／＼夏に入れば滿鮮特有の有名なマツバユリや其他コマユリ、コオニユリ、テウセンクルマユリなどがその笑顏を見せチシマシモツケ、ホザキナナカマドなどの白花の群生が人目を惹き又濕地にはカラヂタケサシ、エゾミソハギなどの淡紫色又は紫紅色の群生が見られる。向陽の草野又は砂原などにはヒアフギ等の觀賞用として今日栽培されてゐる種類の野生を見られる。いよ／＼夏が深くなれば小菊のやうな黄色の花をつけるコウリンギクが晩夏の安奉線を飾る。又これにつゞいて初秋にかけ今日觀賞用として栽培せられてゐるシオンやエゾギクなどの原種の群生を見され、菊の原種の一種とみなされてゐるシマカンギクと共に初秋の安奉線の山野を飾り、旅する人々をしてさながら自然の花園を旅行するやうな氣分に導くのである。又安奉線の紅茶も讃美するに價するものである。

以上の如く安奉線の植物景觀を述べたが、これだけでは自分ながら物足りないやうな氣がされるが後日また改めてその期節々々に分けて詳說したいと思ふからこの位にとめたのである(寫眞は上よりエンカウソウ、サクラソウ、イハヤツデ、エゾギク、コウリンギク)

支那審判廳の取調べ杜撰

十間房坂本喜三次氏經營に係る北陵の御花園煉瓦工場使用支那人が去る十八日盜難に掛つたが取調の結果犯人は同工場使用人中の張盛德(四〇)なる事が判明し逮捕の上支那側公安局に引渡した支那側では張を高等審判廳に押送し取調べた結果證據不充分とあつて保證人附で廿四日釋放した然る處張はその意趣晴らしに同工場の蜈場黄昇晨方に廿五日午前四時頃押掛け暴行の上工場で使用する道具を持ち去つたので總領事館警察では瀋陽縣公安局に木村刑事赴き支那側の取調怠慢を詰問すると共に犯人搜査の上逮捕方を要求した

廿六日の献金

廿六日奉天署は左の如き献金申出でがあつた

▲四圓四錢 教專附屬小學校六年生荒井學級一同▲四圓十五錢 春日小學校高等科一年生栗田春代、栗田久子、新居春子、五通久江

町の便り

奉天居留民會長守田福松氏は令息の香典返しとして廿六日奉天署に三百圓を寄附した

◇

大石橋神社神職山內茂義氏は今回奉天神社次席神職として着することになつた

◇

當地俳壇聯盟では十一月句會を三十日午後六時から藤浪町三〇岡豐三氏宅に於て開催するが題は枯野十句であると

◇

國民外交協會は二十七日午後五時から總商會に於て太平洋會議に出席した蘇上達氏の報告演說を兼ねて講演大會を開いた

◇

市內錢鈔業者は奉票の釘付け相場と支那側の金融逼迫によつて取引行はれぬため倒産者續出の現狀であるが今後の成行につき當業者は金解禁が實施された場合は銀相場も安定するので全然取引行はれざるものと見られ何等かの對策講ずべく寄々協議中で中には商賣變へをせんとするものもあると

◇

廿六日午後八時十五分奉天驛第三ホームに於て擧動不審なる三名の支那人を取調べたが彼等は西豐縣生れ無住所不定武振文(二一)錦縣生れ無職李國忠(二九)と稱し北寧線列車乘降客の混雜に乘じて武は大洋十元李は現大洋二元奉票十元を窃取せる事を自白したので餘罪引續き取調中

人事

▲林總領事 廿七日安奉線急行にて東上

▲保々滿鐵地方部長 廿六日歸連

▲中西滿鐵地方課長 廿七日歸連

▲山崎大連取引所長 廿六日湯崗子へ

▲サー、チレー氏(駐日英國大使) 廿七日來奉一泊廿八日赴連

撫順

淨土宗婦人會員

三百八十餘圓を献金

現下の經濟的國難に直面して婦人としても默視するに忍びず婦人自らの自制克己に依り產み出したる節約金を獻め償還資金の一助にもと左記金三百八十一圓を二十七日午前大林署長を通じて撫順淨土宗婦人會員が献金した

總額三百八十一圓

△八十六圓 永安臺方面、內譯十五圓大垣あい子、十圓山口すみ子、十圓細山ツヤ、七圓松江小ふじ、七圓松本みつ子、外二十二名

△百七十二圓八十錢 市中、三十圓成富れん、二十圓松尾ふじ、外二十五名

△二十一圓七十錢 東鄕長澤きち外十七名

△十圓 大山坑小島きくの外八名

△十六圓 富士見町桑野きくの、外十名

△八圓五十錢 彌生町十三名

△十四圓 東岡(十圓志岐千重子外四名)

△九圓五十錢 老虎臺、藤瀨外六名

△二十七圓五十錢 萬達屋(十圓山內イワ外六名)

高女の學藝會

撫順高女第七回學藝會は菊香ほる二十七日同校講堂に於て多數父兄參觀裡に開催「校歌」の合唱に始まりて

國友彌生孃の「島の一日」「鰹船」の童謠二題の朗讀、三年生の「秋の夜」「億兒時」の華語唄齊唱、四年辻綾子孃のオルガン獨奏、專修科生の家事實習「汗點拔き」、油谷つね子外數名のダンス「荒城の月」三年國松康子孃のピアノ獨奏「春の歌」四年村瀨彌生外五名の興味ある支那語劇「讓產」專修科生夏刈シゲノ外五名の「襤褸なし男袴」の裁縫實習、四年竹中俊子外數名のダンス「芥子の花」補習科今水正子孃の「つまみ細工」の手藝、同八木淑子孃の談話「消費者としての婦人」等拍手喝采裡に行はれ午後四時終了した

電線泥棒逮捕

撫順に於ける特殊犯罪石炭泥につぐものは電線泥棒であるが、二十七日午後八時千金寨鐵道南に於て逮捕された張有文(三七)徐振江(三三)及び同日午後五時頃大山坑華工宿舍に於て逮捕したる李民山(三二)等は未逮捕李義亭、楊景濱その他と共謀製油工場附近その他で實に三千二百六十米突時價四百六十圓を窃取した、尚新場租一圓を荒した場價溜は二十七日午後七時支那町北市場附近で逮捕された

加藤氏講演會

加藤咄堂氏は三十日來撫同午後六時より新公會堂に於て一場の講演をなすと、因に社會主催入場無料一般の聽講を歡迎すと

哈爾賓

支那監獄に收容中の露人待遇は改善

獨逸總領事語る

松浦鐵に收容監禁されてゐるソウエート人民及時局問題に就きストツペドイツ總領事は

現在收容されてゐるものは一千二百餘名で數は變らない、別に重體な病人も無く、多期の設備も充分で以前よりはズット改革され

煖房も設け られ防寒は完全である、手紙其他の檢閲は何等變りがない、食事の如きも良くなつた、女が一名ゐるが釋放されるかどうか判らぬ、十月革命日を期して陰謀を計畫したテロリストは政治犯と違ふので一部は傅家甸の監獄と一部は司令部に監禁されてゐる、總數約三百三十名であると聞いた、尚ほ共產黨事件に連坐し拘禁された三十六名は長い間の牢獄生活で病氣に罹り中には重體の者もゐる、露軍の海拉爾攻擊で外人はどうなつてゐるだらうか——避難者の話によると英米人約廿名は何れも銀行內に避難したらしく、キネマ經營の獨逸人も一名ゐるが安全である、外人の生命財產は例令露軍が來ても安全であらう、ハイラル以東に

露軍が進擊 して來るかて——サア判らぬ——が自分は來ないと思ふ、露支正式會議は開催される機運はある、然しどの程度に進行してゐるか總ては今後の問題である

と語つた

日本人の通行許可

時間外でも

戒嚴令のため夜間十二時以後は通行證を必要とするが、モストワヤ街一帶日本人の多數居住してゐる所は支那側官憲と交渉の結果日本人と判れば通行を許可すること、時によつては警戒の巡警が居所まで護送することになつた、然し總領事館では邦人の身分證明書を發給することになり希望者は一寸型寫眞二枚を添へ領事館警察へ願ひ出れば下附すると

小學生の献金

ハルピン小學校四年生岩永豐軍君はお父さんが支那人に靴磨きをさせるのを自分で引受け、其の報酬として金一圓を貰つたので受持先生の手を經て献金した

松江餘滴

忘年會も今年は緊縮で幾分遠慮氣味だらう▲毎夜一面街を往診せねば驅らぬ河合醫師、今年は一つ藪そばで醫師の忘年會をしやうとの話、醫師と藪とは緣があるからネとこれで年を忘れること▲第一線聯盟が生れた金解禁と緊縮に騷いでゐる世間—ハルピン人士の氣が知れないと大見榮を切つたパンフレット▲空虛の生活を充實するためには理想をもたばならぬ、其の理想のために第一線聯盟會を產んだのである▲會に參加を希望するものは金五十錢也と、まさかたらちねの長々しきかものではなからう

鞍山

小賣商店協會の協議

鞍山小賣商店々主協會が曩に發表せる消費組合支部に對する要望決議に關しては各方面より可成りの同情を惹いて居るが、同會では二十六日午後七時より實業會堂に於て臨時總會を開き今日までの經過報告及今後の方針等に就て愼重協議する處あつたが、同會今回の運動に就いては何處までも紳士的態度で初期の目的に向つて精進する由

咄堂氏講演會

既報＝加藤咄堂氏は二十七日來鞍午後七時から實業會堂に於て講演會が開催されたが、久方振りの知名士の講演とて頗る盛會だつた

草葉氏の講演

目下來鞍中の生氣自强法滿洲普及會長草葉强太郎氏は二十七日正午より興鐵所應接室に於て生氣自强法に就ての講演及實驗をなして多大の感動を與へた

鐵嶺

社員會の献金決定

總額千餘圓

滿鐵社員會では經濟國難に對する献金に就き各地支部に通知し各地でも既に協議の結果それ／＼醵出獻金した地方もあるが、鐵嶺支部では二十六日協議會を開き社員の獻金率を左の如く定め來月末醵金する事に決定せるが獻金率は

職員 月給の百分の五

傭員 日給の三分の二

右率によると鐵嶺では約一千五百圓位ひを集め得る豫定であると

茶話會

創設相談會

曩に緊縮委員會の席上話題となつた鐵嶺社交機關の一として茶話會を組織する事に對し多數の贊同もあつたので、右に關し今二十九日午後五時半より滿鐵クラブに於て委員の相談會を開くと

昌圖から献金

昌圖城內在留邦人は經濟國難の秋に方り奉公の赤誠を盡すべく協議の結果金五十圓を得たので代表者から其趣旨を述べ同地派出所に提出したので二十七日本署に送附し献金の手續をとつた

募兵を開始

遼寧省政府は二十六日鐵嶺縣長に對し露支前線の軍事急を告げ多數の兵員を要するにつき速かに壯丁を徵發して本月中に全部省城に送るべしとの命令に接したので、支那の戰爭に附きものゝ壯丁徵發を近く開始するやうである、鐵嶺縣の徵發員數は三百名の豫定

小池氏に記念品

奉天支店に榮轉し近く離鐵する國際運輸の小池健平氏に對し送別會を廢して記念品を贈呈する由、金額日別に定めず贊成者は商工會議所に申込まれたしと

定期健康診斷

鐵嶺在住客業者の定期健康診斷は來る三四の二日間に亘り滿鐵醫院で施行されると

看護官着任

鐵嶺衞戍病院に新たに配屬された看護官は分遣一等看護官(中尉相當官)が任命せられ二十六日着任した

書記補に昇任

遞信局職制改正大增員の結果鐵嶺郵便局では黑崎健十郎、柳本晴夫、菅兼吉三氏が書記補に昇任した

鐵俱食堂開き

新築早々で準備整はず未だ開店の運びに至らなかつた滿鐵クラブの食堂は、卓子其他器具一切が揃つたので愈々本日から開業する由、電氣すき燒を始め珈琲お菓子お茶簡單な食事等は需めに應じ得られるにつき精々利用されたいと

邊業銀行支店

奉天邊業銀行では奧地に於ける金融を圓滑ならしむるため今回西安大疙瘩に支店を開設一般民間に對する貸出を開始すると

公主嶺

青年團の勤勞奉仕

氷滑場の作業

當地に於けるスケート場は每年小學校の運動場に設置全住民の體育方面並に之れに親和を期すべく土地として有意義なものであるが、豫算上經營難なので青年團は二十三、四の休日を利用し土運搬築堤等各自辨當持參作業に努力した

除隊兵

新入營兵

公主嶺守備隊滿期除隊兵は三十日三十二時二分當驛發の南行列車にて出發、入營兵は十二月二日九時三十五分着の列車にて來公の筈

戰跡撮影隊

戰跡記念撮影のため陸軍省教育總監部森村少佐一行四名は二十六日來公丸福旅館に一泊新開河及農事試驗場等を撮影した

披露宴

公主嶺精穀公司は諸般の施設完了作業を開始することになつたので、二十九日午後四時多數の日支官民を公會堂に招待盛大なる披露宴を開催、同日正午後二時より工場の全機械を運轉縱覽に供すと▲國際運輸株式會社長春支店公主嶺出張所設置開業の披露宴を釘宮支店長來公二十三日の祭日を卜し午後五時當地主なる官民を京の家に招じ盛宴を張つた

下津氏來公

奉天鐵道事務所庶務長下津氏は業務視察のため二十六日十七時三十七分着の列車にて來公丸福旅館に投宿した

月賦販賣

公主嶺電燈會社は配電の成績が良好なので電熱利用宣傳のため電氣アイロン其他の月賦販賣を開始した

開原

八名から强奪

昌圖の强盜

二十六日午後零時十分昌圖驛着第十七列車にて同驛に下車せる八名の支那人は、驢轎にて昌圖城內に赴く途中昌圖附屬地を距る西方約一邦里の兵陵に差蒐るや、突如二名の賊出は乘車せる八名を脅迫の上金品を强奪し南方に向け逃走せりと云ふ

特別警戒實施

開原警察署にては地方狀況に鑑み常に特別警戒を實施されつゝありたるが、馬車出廻り增加と共に年末警戒として先般來一定の期間方法を定めず隨時隨所に諸多の方法を實施し一層嚴重に警戒しつゝある

記念品を贈る

開原神社前神職龜田政太郎氏辭任歸國に際し多年の功勞に酬ひんと氏子總代發起にて記念品を贈呈すべく氏子有志より募集中であつたが、此程締切りた金額二百六圓に上つたので寄附者芳名を添へ氏の鄕里三重縣宇治山田市の現住所に宛二十六日發送された

開原局の四氏任官

關東廳遞信局の官制改正に伴ひ當開原郵便局員中左の四氏二十六日付任官されたと

遞信書記 山中館市氏

同 松山盛吉氏

遞信書記補 芳井曜平氏

同 佐古八三氏

營口

展覽會とバザーの盛況

營口小學校兒童の成績展覽會及バザーは二十六日午後一時から同校內に於て行はれたるが、父兄及一般市民の來場者甚だ多く盛會を極めた、バザーには兒童及家政女學校生徒の手藝品高等實習生の委託販賣品、撫順小學校生徒の製作せる石炭細工等約一千餘點ありて六百餘圓の賣上げがあつたと

現金賣好成績

輸入組合の主催に係る平本洋行田口商店、乃美、辻、須崎の三吳服店、重田屋、池內商店、熊谷商店山住洋行、大願洋行の各商店の二十五、六の二日間に於ける多物販賣現金賣出しは二日間に於て一千八百圓の賣揚高にて、僅かに二日間の成績としては良好の方にて漸次現金買の習慣を促生するに効果あるべしと

空巢ねらひ

新市街南本街遼東タイムス支局巡路政太郎氏方に廿七日午前十時半から同十一時の間に賊忍び入り家人の留守を窺ひ合鍵を以て入口を開き簞笥に格納せる衣類數十點其他價格約六百圓餘を盜み逃走した妻女が出先から歸宅し此狀況を知り直に警察に屆出で極力搜查中であるが、近來空巢ねらいの被害續出し未だ檢擧に至らざるが犯人は過日來のものと同一なるが如く今尙附近に出沒し居る形跡がある

安東

まだ危險い氷滑

鮮人の子供が溺死

當地下六道溝第二區居住鮮人警鑑二男喜善(九)は廿五日午後四時頃兄や友人と三人連にて同所鴨綠江製紙會社横の貯水池で氷滑を初めたところ、突然中央部邊の氷が割れて水中に墜落した、之を目擊せし兄と友人は急を六道溝派出所に告げたので當直の飯川巡査は直に現場に赴き官服を脫ぎ捨救助し應急手當を施したるも絕命した

空巢狙ひ逮捕

去る二十一日午後五時頃中塚、輪孫の三邦人宅が支那街小盜兒市場で擧動不審の支那人を發見本署に同行取調中のところ此者は住所不定無職鄭錫山(二三)にて邦人宅專門の空巢狙ひと判明九月以降十二軒約四百圓の金品を盜んでゐた

密輸監視嚴重

本月二十日關東廳より歸安せし安東宇佐美領事、尾崎署長の兩氏は各關係個所と密々協議の上去る二十日密輸の頭株と認めらるゝ鮮人十數名を安東領事の命に依つて安東署に召喚し嚴重なる戒告を爲し爾來密輸箇所と目される地點に巡査を二時間交替に見張をなさしめ嚴重なる監視續行中であるが、其の後の密輸は今日迄一個も見ざるに至り正當輸入業者は始めて愁眉を開くに至つた

汽動車發着時

來月より變更

安東驛＝新義州荷扱所間の汽動車發着時間は十二月一日より當分の中次の如く改正さるゝ事になつた時間は全部滿洲時間、新義州發着は荷扱所の事

▲安東發新義州行

安東發 六時三十分 十時二十分 十二時七分 十五時四十五分

新義州着 六時四十八分 七時三十八分 十二時二十五分 十六時三分

▲新義州安東行

新義州發 七時五十分 十一時十三分 十四時 十六時十三分

安東着 八時十二分 十一時三十分 十四時十七分 十六時三十分

圍碁大會盛況

國境圍碁大會は二十三日の新嘗祭に山下町安東俱樂部に於て開催され、同好者の參加數四十八名に達し午後一時より開始午後九時終了したが三等以上の入賞者左の如し

一等沖津氏、二等竹內氏、三等江原氏

馬賊らしい

二十五日午後十時頃安東署志賀巡査は下川端町金玉書館で擧動不審の一支那人を認め、身體檢査をせしに懷中に奉票百圓券五十枚、現大洋百七、八十圓を所持せるが此者は原籍遼寧省鐵嶺縣牛莊陳德祥當二十六歲にて馬賊らしく目下嚴重取調中

婦人自殺未遂

二十六日午前零時三十分頃新義州稅關附近を一人の鮮婦人がうろ／＼して居るので江岸派出所の警官が取調べたるに女は府內榮町七ノ二三貿易商白榮信假名の妻韓氏(二七)で妾との仲が惡く夫も妾の肩を持つので悲觀のあまり自殺すべく同夜家人の寢靜まれるを待つて家を拔けだした事判明したので朝迄保護を加へ親族の者を呼びだ

して引渡した

賭博が流行る

段々と寒さに向つて來たゝめに最近上流家庭に於て八八、六百點、麻雀等が盛に流行してゐるが、娛樂として遊ぶならまだしも金錢をかけて職業とする者が大分多いと云ふ事で、當局に於ては現行たると非現行たるを問はず檢擧するさうである

金州

購買會開始

當地內外綿工場では經濟緊縮實現を圖り先づより安い日用品からとあつて購買會開設準備中であつたが、店開きの用意も完了したので來る十二月一日から愈々開賣することになつた

澤幡巡查部長弔慰金

(十一月十二日正午迄の分)▲五十圓 石川萬次郎▲九圓七十五錢 遊城小學校兒童自治會▲壹圓 黑田保道▲一圓 柴田正雄、矢部良吉▲拾圓 遼陽驛長神出磯吉外驛員▲參圓宛 遼陽醫院交友會、白鳥文雄、長山猪三郎▲壹圓五拾錢宛 森彰一郎、尾島二郎▲壹圓宛 柴田欣一郎、泉喜應、廣田一▲五拾錢宛 横田愛之助、中村智全、渡邊均、山田榮一、阿部清志、小板定吉、高橋八郎、小野寺常藏、南卯吉、坂本新助、諏訪主計、間部一六、辻田義正、岩田格人、小松仲一、黑坂武光、西山將雄、森田一、山田四郎、內藤力彌、松野撒、平野新介、佐々木勝彌、鈴木松五郎、山田幸之、上山素直、阿部義英、齋藤薫、上野一、寺田仁吉、佐竹玖一、畑留雄、中島尚志、田中純隆、菅沼清、蒲原猛夫、中坂徹、大坪源吾▲參拾錢宛 揚仁麟、玉魁三、陳殿金、趙建安、閔振甲、張連緒、鄭瑞貫、韓玉堂、李公由、崔任均、李茂發、蘇萬江、王安本、揚春貴、紀鴻修、周景崔、張洪盛、鄭永福▲十圓 遼陽木曜婦人會

日計金九十一圓十五錢

累計金二千八百十二圓二十五錢

(十一月十三日正午迄の分)▲五十錢宛 金子福三郎、笠原民次郎▲三十錢宛 松井賓一、荒木瞳治▲五十錢宛 池田三次郎、木幡保、池田寅藏、山中規、三浦梅吉▲三十錢宛 松本子之吉、竹島外吉▲二十錢 坪子榮三▲五十錢 山根清七▲三十錢宛 森澤太一、花田宗吉、弓田俊二▲五十錢宛 松永常三、倉丸伊和吉、西村秀治▲一圓宛 吉田庫八、有田俊次郎、岩太郎、飯森隆一郎▲二圓 西冷木七八▲五十錢 吉村繁義▲五圓宛 瓦房店醫院一同、瓦房店驛驛友會▲十圓宛 瓦房店機關區、同瓦房店列車分區交友會▲一圓宛 小路潤作、增線區保友會▲五圓 瓦房店保山吉太郎▲五十錢宛 日野田金一、宮田信▲三十錢 三角景藏

日計金五十二圓十錢

累計金二千八百六十四圓三十五錢

敗退將棋 滿日名家

(其一) 【志澤氏一回二勝目】

香平交左香落 四段 鈴木▲ 一讀

三段 ▲志澤

持駒 志澤氏 ナシ

(圖は六七銀迄の局面)

持駒 鈴木氏 ナシ

【盤面以下指方】△七六歩▲三四歩△六六歩▲三五歩△五六歩▲三二飛△六八銀▲五二金左△六七銀▲六四歩△七七角▲六三金△五八飛▲五四歩△四八玉▲六二玉

【對局者の感想】志澤三段曰く八四歩と突くが定跡でありますが力指しの方法も經驗になると思つて三五歩と突いてみた。鈴木四段曰く敵の三五歩は意外でした。半香落の香番で不利な駒割ではあつたが變化の廣い駒組を選んで與れたので幾らか面白くなりました。志澤三段曰く六四歩は早いかも知れないが形が定るだけに不利ではない心算です。

【大崎八段講評】下手敵が六六歩と受くるを三五歩と指せしは力指しを以つて壓迫を加へんとする元氣なる戰法なれど香落の德を無視して損なり。矢張八四歩と穩かに指す方自然に位勝となりて指しよし。

佛教は印度と支那で何故滅んだか

歐米識者の佛教研究

伊藤彥造畫

佛教は印度に起り支那、朝鮮を經て我國に渡來したことは誰も知る所である。然るに、發祥地の印度では殆ど全滅の有樣で、人口二億九千萬人中僅かに卅萬の信者といふ悲慘な狀態に陷つて居る。

支那から奈良朝前後に傳來した佛教は、俱舍、成實、律、三論、法相、華嚴の六宗であつた。それから平安朝に傳來したのが天台と眞言の二宗で、鎌倉時代に傳來したのが禪宗である。これで都合九つの宗旨であるが、この九宗旨は皆完全に我國に保存せられて居る。

然るに、發祥地の印度では殆ど滅亡し、支那でも八宗は全滅して、僅かに禪宗の一派が殘つてゐるだけである。

平安朝の末期から鎌倉時代にかけて、我國において新興佛教として起つたのが、融通念佛宗、淨土宗、一向宗、時宗、法華宗の五宗である。奈良及び平安朝の佛教は皇室との關係が深くなつて、自然と貴族佛教になつて了ひ、民衆といふものは殆ど接近することが出來なかつた。そこで平民的佛教として前述の五宗が現はれ、非常なる發展をなしたものである。今や歐米識者間では東洋哲學たる佛教を盛んに研究中である、之は何を意味するか。

附言 何事にも一利一害は免れず、佛教にも弊害はあつたが、我國の家族制度の祖先崇拜と結びついて、教育の普及せざりし當時、平易な物語や地獄極樂の繪畫等に依つて俗耳に入り易く勸善懲惡を教へ永い間國家に貢獻したことは誠に多大である。然るに現代は教育機關も備つて來たので保守的佛教ではならぬ。時代に應じた布教法を講ぜざれば佛教の衰退、沒落を免れぬ。現代日本佛教家の態度は寒心に堪へぬ、佛教の革新は焦眉の問題である。開祖や祖師の艱難苦行を追想して護法のため奮起せざるに於いては、印度や支那の二の舞を踏むことになりはしないか。佛教のため實に憂慮に堪へぬ次第である。

第二篇 教育美談 右其七十五 左其七十六 有田音松

寺院の維持と農村の救濟 五萬町歩の利用地を生む

伊藤彥造畫

維新前までは寺子屋といつて寺院を學校として修學したものである。寺子屋の起りは鎌倉時代である。それは武士が禪宗を尊ぶことになり、鎌倉時代から南北朝、室町時代に亙つて、全國の大名が競爭的に禪寺を建て、學僧を招聘したのが始まりで、佛教の僧侶ばかりでなく、大名や家臣の學問所としたものである。その當時の僧侶は儒學を兼ねて居つたのである。

彼の北條時賴や時宗が、鎌倉に建長寺や圓覺寺を建立したのは、關東大學ともいふべきもので、京都の南禪寺や天龍寺などは京都大學といふやうなもの、筑前の聖福寺や豐後の萬壽寺などは九州大學といふ地位に在つたのである。その他全國一村一落に大抵寺のない所はない。

武士は此の禪寺で學問したものである。それを見習つて各宗の寺院でも寺子屋を創め、今日の學校の仕事を寺院で行つたものである。この寺子屋では文學を教授し、一面には善因善果、惡因惡果所謂因果應報の道理を教へ、それに依つて國民道德が培はれて居つたのであるが、明治になつて全國各地に學校が出來たので、寺子屋は自然衰微となつたのである。

全國の寺院の數は、七萬二千餘ヶ寺、僧侶が八萬餘人、番僧、小僧が六萬二千餘人で、それに概して聚落土着になつて居るから、一ヶ寺六人としても四十餘萬人の寺人が如何にして暮して居るか。それは村落民の給養に俟たねばならぬのである。

附言 寺院の維持費と四十餘萬人の給養費とは實に莫大な額である。農村振興上からも捨て置き難い問題である。各村落に於て經費節約で神社を併合したる如く、一村一寺とし五萬の寺院を整理すれば一寺平均一町歩として五萬町歩の利用地が出來る譯である。佛教興隆、寺院維持と農村救濟のため寺院の[illegible]合は研究すべき問題ではあるまいか。

都會に憧れ 親の許しも得ず 遺書し無斷家出して 肺病に苦しむ

有田藥の靈効に依つて全快

赤い夕陽の滿洲で平和な牧場に三男坊と生れ、何不自由なく農學校の畜産科を卒業した私は温かき兩親の許で家業に勵んで居りました。曉告げる鷄鳴と共に牧舍に出でミルク搾取に懸命となり、太陽が果なき西の平原に沒し魔法のヴエールが將に降りんとする頃豚を追ひ込み平凡な、而して單調な月日を送つて居た。四月といへば廣漠たる滿洲の平野にも麗らかな陽春が訪れて、小鳥のオーケストラに伴れ花笑ひ蝶舞ふ長閑さは私を都會への憧憬に極度に誘惑した。私は遂に意を決し、人間至る處青山あり、業成らずんば死すとも歸らずの意氣揚々と遺書を遺して住みなれた思出多い、懷しい故鄕を後に成功を都に求め知人を賴りに金澤へ來ました。

生れて初めてくゞる職業紹介所を訪れましたが、然し當然私に與へらる可き椅子は無かつたのです。その中に「待てば海路の日和」とか、知人の紹介により金澤電氣軌道株式會社に入社しました。入社の喜びと感謝の念で一杯だつた私の社會生活への第一歩は電車係員としてスタートを切つたのです。

二ケ月間は夢と過ぎ鬼瓦も苦笑を洩らす灼熱の夏が訪れました。七月の中旬友人に誘はるゝ儘に金石へ海水浴に行き、歸りに急に寒氣を催し遂に病床に呻吟するに至りました。二三日經過しても依然體溫は低下せず、心配のあまりに大學病院にて診斷の結果、意外にも肺尖との事で絕對安靜を必要とすると申された刹那、一場の夢であれかしと神に祈つたのです。何故なれば肺尖は立派な肺病なのだと連想した時、死の恐怖がハイスピードで私の頭腦をかすめたからです。希望の一端も實現する事なく世を去らねばならぬ悲哀、異鄕に病む心細さ、生れて知る最初の病氣、是等が私をして極度に悲觀失望せしめた事です。昨年晴れの奉天大グラウンドで野球投手として出場した私が今は死線を彷徨はねばならぬ運命を想ふと、僅か一年間に神の支配のあまりにも皮肉なのを歎いたのであります。死線を突破しようとあせればあせる程益々病勢は進み、希望も決心も現實の悲哀と變り、遠い海の彼方の生家が戀しく温かき兩親の恩愛を想ひ悔恨の涙は頰を傳はる許りでした。一日徒然の儘に愛讀する大阪朝日新聞で有田藥にての全快談を見た時、直感的に光りは東天より全快は有田藥よりと痛感し、早速善は急げと金澤の盛り場香林坊有田ドラッグ專賣所に行き別製治肺劑及有田血液素を買求め、其の節主任樣より親切なる養生法を教示され勇氣百倍直に服藥實行した處、二三日にして熱は下り始め氣分は勝れ食慾は進み、二週間にして不思議にも夢よりさめた如く流石强固な急激に來た肺尖も漸次快方に向ひ、三週間連服の結果以前に增す健康體となり好きな野球に日も足らぬ有樣です。念の爲醫師に就て健康診斷を受けし處、病氣なしとて先生は驚かれました。先生の驚きは私に取つては病氣に打勝つた誇りとして永久に忘れ難い更生の喜びでした。會社に出勤しては紅塵萬丈の巷を縱橫に疾走する電車係員として、希望と感謝に日を送つて居ります。これも偏に有田藥の賜と感謝し香林坊の有田ドラッグの前を通る度每に、又新聞に有田の廣告を見る每に自然と頭が下ります。

同病に惱める者よ、全快の鍵は有田藥にあり、速に有田藥を求めよと私は絕叫を惜まないのです。筆舌には形容し難き全快の喜びを亂文もはゞかりなく發表した次第で、いさゝかなりとも同病諸兄姉の參考に資する事を得ば私は滿足です。

石川縣金澤市上胡桃町五一 小松將一方 全快者 市村喜市

市村喜市樣

ろくまく炎は肺病の前驅か

油斷すると大變

風邪を引きそれがどうしても脫けきれず、其の中左の胸が痛くなり何んだか氣になつて仕方ないので醫師に診斷を受けました處、肋膜だとの事で大に驚きましたが若しや診斷違ひではないかと思つて二三の醫師にも診斷して戴きましたが矢張同樣でした。ろくまく炎と云へば肺病も同樣、若しもの事があつては一家はどうなる事やらと病氣の苦痛以上に心配し、どうしても治さねばならぬと專心醫藥を服用養生をして居りましたが、一向經過が捗々しからず困つてゐる際に知人から有田ドラッグの藥がよく効く事を聞きましたので、早速日向富高新町有田ドラッグ專賣所に行き容態を申上げました處主任樣は御親切に次の樣なお話を聞かして下され、肋膜は肺を包み保護するところの袋であるが、肺病と同樣結核性のものが多くさうしてこの肋膜には乾性と濕性といつて水がたまらないで胸が痛み咳が烈しくて呼吸苦しくなるのと濕性といつて水がたまつて、肺や心臟を壓迫して呼吸苦しく動悸が烈しくなるのとがあるが何れも何となく胸に痛みを感じ深く呼吸したり大きな聲で話をしたり、咳嗽運動等の時は殊に痛みを感じかなり高い熱が出るものである。肋膜炎から肺病になるものが多いので、肋膜炎だと診斷されてから不治の病と思ふのも、無理からぬことだが、肋膜炎なら充分に全快する見込があるから、心配する必要はないが、往々にして肋膜炎から肺病になつてゐるのを知らないで、肋膜炎だ、肋膜炎だと安心してゐる間に、治療の時機を失つたりする場合があるから、肋膜だと診斷されたからには、肺病と同樣に心得て養生せられゝば間違ないとて懇切に養生法を教へられたので、有田音松樣監製の有田特製治肺劑有田血液素を買求めて歸り教はつた養生法を一心不亂に守り服藥を始めましたら、不思議な程二日目位から何となく氣持よく、精神爽快となり、熱も下り、食慾も進み、便通もよくなつて快方に向ふ樣子がハッキリと見え出しましたので、これに力を得て連服三週間にして、全く元の健康體となりました。一時は非常に重病で、とても駄目だ、助かるまいとまでいはれてゐたのが、急に回復して全快したものだから、近鄕でも評判になりどうしてそんなに全快したのかと、同病者の方々がお尋ね下さるので有田藥で全快した事を申上げて居ります。只今では再發することなく益々健康體となり、家人一同共に樂しく家業に奮鬪することの出來るのは、偏に有田音松樣監製藥の御恩典に外ならないのです。

宮崎縣東臼杵郡富高町字財光寺三一六八番地 全快者 赤木虎之助

赤木虎之助樣

醫者並に病院と商會の藥

商會が是れまで取扱つた全快者中には病院に入院又は醫者にかゝり服藥中、商會の藥を服んで全快した人も澤山あり、又病院や醫者をやめて商會の藥のみにて全快した人もあるのであるが、いづれかといふと、病院や醫者にかゝりつゝ商會の藥を服用せられた方が安全である。それは、素人目では病狀が良いやうに見えても、病症の惡化しつゝあることもあるから、醫者や病院の診療を受けつゝ商會の藥を服用せらるゝことが、最も安全なる全快への近道である。

有田ドラッグ商會主 有田音松

肺病菌に打勝つた私の全快記

私は日頃健康を以て誇りとして居りましたが、ふとした事から風邪に罹り發熱甚だしく食慾も減じましたのでいつもの風邪とのみ思つて藥を服んで居りましたが、一向熱が下らず附近の病院に行き院長さんの診斷を受けました處、右肺尖加答兒と診定され非常に驚き悲觀致しました、勸められる儘に服藥は申すに及ばず種々療養致しましたが、捗々しくないので困つて居りました處新聞廣告に有田藥を愛用して續々全快致した者のあるのを見て、物は試しと早速鹿兒島市東千石町天神通り有田ドラッグ專賣所を訪れ私の今迄の容態を詳しくお話しましたら主任樣は大變同情して下さいまして御親切にこの病氣に就て病理の說明及び種々養生法を詳しく教へられ、有田音松樣監製の有田特製治肺劑と有田血液素を買求め教へられた養生法を守りつゝ服用致しました處、四五日すると食慾も進み氣分もよくなり熱も下り是に力付き引續き十週間連服で全快致し健康となりましたが、念の爲醫院長の診斷を受けました處何の異狀もなく全快して居るとの事で、私の喜びは申すまでもなく家內一同樂しく暮して居ります。これも偏に有田音松樣監製藥の賜と深く感謝して居りますと共に、この喜びを同病者にお知らせして一人でも多く全快して頂きたいと存じます。

鹿兒島市上荒田町六四〇番地 全快者 松本靜子

松本靜子樣

肺病やろくまく炎は必ず治る

風邪が原因にて咳が止らず右の胸部に疼痛を覺え、盜汗は澤山出るやら食事は不進となり絕えず頭痛がして、午後になると體溫が三十八度以上に昇り少しの步行にも息苦しく、變な事だと思ひ醫師の診察を受けたら肋膜炎だとの事に大いに驚き、その後約一年間も醫藥は勿論の事、あれこれと療養に盡したが却つて惡化するばかり、實に困つて居りました折柄、親類に肺尖加答兒にて永らく床について喀血も二三回あり隨分衰弱も甚だしく重態であつたのが名古屋古井坂の有田ドラッグ專賣所で養生法を教へられ、有田音松樣の監製藥を服用して全快したものがあるので、是非共私にも有田藥を服用しては如何と勸められ私も有田のお藥にて全快致さんものと、早速名古屋市千種町古井坂有田ドラッグ專賣所に行き今迄の經過をお話しして主任樣より病理攝生について御熱心に御話を聞かされ、有田特製治肺劑と有田血液素とを買求め、教へられた通り服用せし處四日目頃より熱も下り咳も減じたので一層信賴高まり、引續き約四十日餘の連服にてすつかりよくなり念の爲醫師の健康診斷を受けた處、全快してゐると申され私の喜びは一通りではありませんでした。其後はこんな可愛い男子まで儲けて居ります。これも皆有田音松樣監製藥の賜と感謝に堪へない次第です。同病の方々は迷はず一日も早く有田藥で全快遊ばす樣祈ります。

名古屋市中區御器所町四上十六 中村善三郎方 全快者 横井つるゑ

横井つるゑ樣

ろくまく炎が全快して大喜

恩人有田氏に感謝

ふとした事から胸に痛みを感じたが氣にもかけず働いてゐると、それがいつまで經つてもよくなる見込もたゝぬので醫師の診察を受けると、肋膜炎だから充分養生せよとの事でありましたから、云はるゝまゝに醫師の投藥に親しみましたが少しも効果がありませんでした。私も妻も悲觀して居りました處、朋友が有田ドラッグの藥で全快した實例を聞かせて呉れたものですから、物は試しと早速群馬縣太田町有田ドラッグ專賣所を訪ねまして主任樣に面接致し、色々と親切に病理や養生法を教へられ有田治肺劑と有田血液素を一週間分買求め服用しました處、咳も止り氣分もよくなつたので大いに力を得て引續き十週間服藥しましたら立派に全快致しました。然し友達や叔父叔母が念の爲めに醫師の診察を乞へと申しますので、醫師の健康診斷を受けますと全快してゐるとの診定にその時の私の嬉しさは天にも昇つた樣な心持でした。其の後は益々健康で農業に從事しつゝ感謝して居ります。世の惡まれざる同病者の皆樣に効果ある有田藥をお勸め致します。

群馬縣新田郡烏之郷村大字長手貳百八拾六番地 全快者 堀越松六

堀越松六樣

大河內侯の吉田城

明治に至つて吉田を豐橋と改む

豐橋吉田城

天下の大問題となつた良藥

有田ドラッグ商會主 有田音松

肺病は死病なりとして、醫學界で持て餘して居つた、其の肺病が商會の良藥で、續々全快者が出來るので、商會ではそれを天下の新聞に發表したのである。サア醫界は勿論社會一般の注視の的となり、其の結果東京の大新聞の問題となつたり全國の一萬からの香具師が、人寄せの材料に濫用するに至り、官廳でも捨て置くことの出來ない立場となり、新聞に發表した全快者を全國の警察に囑託して嚴密なる(一年半の日子を費し)調査をせられた結果、僞りでなく眞實の全快者であつたので、公明正大となつた譯である。商會では誰に憚ることもなく、否な立派なる全快者と藥の有効なことが立證せられた次第である。

「之れをしも信ぜざれば天下に信を置くものなし」

迷ふ事なく商會の良藥に賴つて一日も速く全快せられんことを祈る。

肺病ろくまく全快者續出

肺病ろくまく調合藥

品名	八日分	十六日分
別製治肺劑	十五圓	二十八圓
特製治肺劑	十圓	十九圓
有田コール	八圓	十五圓

本劑の服用に依り咳を鎭め、食慾を進め熱を去り盜汗を防ぎ、腦を靜めて安眠せしめ、目に見えて輕快に向はしむ。良劑にして、その效偉大なり。別製治肺劑は今回新に最有効の高貴藥を配劑し一日も全快を早める樣苦心したる良劑にして、商會何れも醫藥との併用差支なし、故に醫藥と共に本劑を服用する時は全快速やかなり。

警告

紛はしき ニセ藥 を賣る者あり

御買取の際左の如く藥箱並に藥瓶に

本舖 大阪內本町二
發賣元 大阪心齋橋南詰 東京日本橋通三
「有田ドラッグ」
「有田音松監製」

この文字あるものを必ず御買取あれ

有田ドラッグ商會主 有田音松

東洋一のチエーンストアー

左記專賣所にてお買取あれ

關西發賣元 大阪心齋橋南詰
關東發賣元 東京日本橋通三

◉滿洲
大連但馬町角　旅順敦賀町　鞍山赤城町　遼陽東洋街　安東縣市場通　奉天紅梅町　撫順東六条　鉄嶺敷島町　開原新市街　四平街　營口永世街　哈爾賓傳家甸

◉朝鮮
京城 本局前　黃金町　練兵町
釜山弁天町　仁川宮町二　大田栄町一　群山東栄町　全州高砂町　木浦栄町　麗水港　大邱弓町　金泉錦町　馬山京町三　光州本町　兼二浦本町　鎭南浦三和町　平壤局前　新義州常盤町　元山本町三　咸興本町二　羅南生駒町

滿鮮發賣元 京城
台灣發賣元 台北本町二丁目

有田ドラッグ西部專賣所所在地

理想的補血滋養素

肺病、肋膜、心臟病者
病後、產後、一般衰弱者

百匁服めば四百匁の血が出來る

有田血液素

一名オーソール 定價四圓

身體の衰弱者、虛弱者が普通滋養物として第一に攝取するものは牛乳、鳥肉、魚類、玉子、ソツプ等である。是等の品は無論滋養物には違ひないが何れも胃腸の消化作用によらざれば滋養とはならないのである所で衰弱者や虛弱者の胃腸は消化作用が弱くなつてゐるから是等の滋養物を攝取すれば反對に胃腸を害する結果となるのである。故に大學病院に於ても、入院患者に對して流動性の滋養物を攝取せしめ、若くは食後消化藥を服用せしむるのである。併しこれとても滋養療法としては、まだ完全とはいひ難いので當商會は之を憂へ有田血液素を創製した。

本品の特色は如何なる胃腸の弱い人でも、すぐに服めば直に胃中に於て溶解しそれが血となり全身の滋養となる。

有田血液素を服めば左の如き著るしき効力を顯はすのである。

(一) 顏面蒼白の人は直に顏色等に血色を顯はす事
(二) 體重增加する事
(三) 血液を增加する事を以て精力を增す事
(四) 冷性の人は手足に温味を增す事

その他病後產後の一般衰弱者、天性の虛弱者、運動不足、肺病肋膜、心臟病等の貧血者には缺く可からざる補血滋養の血液素である。

尚ほ本品有田血液素は補血劑として有効なる主成分 Heamoglobin が如何に多量に含んでゐるかに就ては內務省衞生試驗所分析表に依りて知らるべし。

尚ニセ物を賣るものがありますから有田音松監製の文字あるものをお買取下さい。

報告

大阪市南區末吉橋通三丁目五番地 依賴者 有田音松

第壹四九號 オーソール 壹種

右ノ名稱ヲ附シ當所ニ提出シタル品ハ黃赤色ノ乾燥セル粉末ナリ之ガ分析ヲ遂グルニ本品百分中ニ於ケルヘモグロビン(ヘモグロビン)ノ含量ハ左ノ如シ

ヘモグロビン(酸化ヘモグロビントシテ) 八五・五

大正二年四月二十九日

內務省大阪衞生試驗所
所長衞生試驗所技師 平山松治
主任衞生試驗所技師 森 茂[illegible]

コドモページ

學校劇 正しき道(上)

濱野健三郎

景

第一幕……支那人雜貨店の店先
第二幕……少年の家の應接室

人

雜貨店の主人
店員(李少年、十四五歲)
日本人の少年(十二三歲)
少年の父

第一幕

雜貨店の内部の作り、いろくの商品が店先にならべてある。でつぷり肥つた主人が算盤をはじきながらしきりに帳面をつけて居り、その横側に小ハイの李が書物に讀み耽つてゐる。

李。あゝ、わからないなあ、やつぱり學校に行かなきや駄目だ。

主人。(算盤から目を離して李の方をジロリとにらみながら)えーッ、やかましいな、お前が妙な聲を出すのですつかり勘定を間違へちやつた。

李。(だまつて本に目を落す)

……間……

入口の戸をガラリとあけて少年が入つて來る。

李。いらつしやい(讀んでゐた書物を勘定臺の上に置いて立ち上る)

少年。あのね、えーと、なんだつけな、あ、さうく、花王石鹼と味の素一つ

李。はいく(棚から石鹼と味の素を取つて)これだけでよろしうございますか。

少年。みなでいくら?

李。一圓二十錢です。

少年。ではね、五圓で取つてちやうだい。

李。有難う御座います(少年から五圓札を受取つて主人に渡しながら)一圓二十錢――三圓八十錢おつり、

主人は默つて勘定して釣錢を出す

李。おつりです。有難うございました。

少年。(李から受け取つたおつりを勘定して財布に入れ、無雜作にポケットに入れながら)さよなら、

出てゆくその拍子に財布を入口に落す、誰も氣付かず、

李。(戸をしめて元の場所にもどらうとして下に落ちてゐる財布に氣がつき急いで拾ひあげる)あつ!これは今の坊つちやんの財布だ、(財布を持つたまゝあわてゝ外に出やうとする)

主人。李!何だい?

李。今の坊つちやんが財布を落して行つたんです(財布を主人に示す)

主人。一寸持つて來い。

李。でも行つてしまふといけませんから走つて行つて返して來ます。

主人。何でもいゝからもつて來い

李。(不承々々財布を主人に渡す)

主人。(財布をあけて見て)持つて行かなくてもいゝ、若氣かついて取りに來てもおまへは默つてゐるんだぞ、

李。でもあの人が……

主人。いゝから默つてゐるんだ。(恐ろしい眼をしてジロリと李をにらむ)

コノゴロノデンキユウエン

デンキユウエン ニモ サビシイフユ ガ オトヅレテ キマシタ。アカシヤ ヤ サクラノキ ナドハ スツカリ ハ ガ オチテ コズエ ノ ホソイ エダ ハ キタカゼ ノ フク ナガニ サムソウニ フルエテ ヰマス。ミナサン ノ ダイスキナ メリーゴーラウンド モ イマハ ノルヒトサヘ ナク ハネアガツタカタチノママ ミウゴキモ シマセン。タダ ゲンキモノ ノ オサルサン ダケハ サムサニモ メゲズ キヤツキヤ イヒナガラ セマイ カナアミ ノ ナカヲ オニゴツコ ヲ シナガラ カケマハツテ ヰマス。

ニドメノ大チャンノタンケン (150)

ハルミチ作　ジラウ畫

「オヤツ! アンナトコロニ オヨイデヰル、ヨーシ コンド コソハ ニガサナイゾ」大チャンハ オヂサント チカラヲ アハセテ マモノノ オヨイデヰル ハウニ センスヰテイヲ ハシラセマシタ。

センスヰテイガ モウスコシデ マモノニ チカヅキサウニ ナツタトキ マモノハ マタ ミヅノ ナカニ モグツテ シマヒマシタ。ソシテ ソノスガタハ ウミノソコフカク ミエナクナツテシマヒマシタ。

「マタ カクレチヤツタ」大チャント オヂサンハ ガツカリシタヤウニ ウミノ ウヘヲ ナガメテヰルト コンドハ ハンタイガハノ ウミノウヘニ ヒヨツコリ オホキナアタマヲ アラハシマシタ。

學校と家庭

敎育座談 選定を謬れる 學校の位置 ……ある父兄の談話……

A。眞金町に小學校が出來るさうですね

B。もう建築にかゝつてゐるでせう。來年の四月に開校の筈ですから……

A。しかし妙なところに學校を建たものですね、位置からいふと殆ど大正小學校と隣接してゐることになりますが、同種の學校を並べて建てるといふことはまことに拙いやり方ぢやありませんか

B。校舍敷地選定の拙いことは敢て今度出來る小學校ばかりではありますまい、聖德小學校だつて隨分變なところに建つてるぢやありませんか

A。聖德街の北の方の野つ原に建つてゐる赤煉瓦建の大きな建物がさうですね、あの學校はどの區域の子供を收容するために建た學校なんでせう

B。聖德小學校といふ校名から言つても聖德街の附近に校舍が建られてゐるところから見ても當然聖德街に住んでゐる子供を收容するつもりなんでせうね

A。しかし、それにしては校舍の位置が聖德街から餘りに離れ過ぎては居ませんか

B。何でも現在の校舍の位置は聖德街が次第に大連の方に延長して將來あの學校が市街の中心になるといふことを豫想して選んだものらしいのですが聖德街方面に住む兒童が校舍に溢れるやうになつた今日でも校舍は依然として通學兒童の住む市街から遙かにかけ離れた野つ原に意地惡く頑張つてゐて北風の吹き晒す寒い日でも「こゝまでおいで」と言はぬばかりに通學の全兒童を寒い目に遭はしてゐる始末です

A。學校附近には中々家が出來ませんね

B。何でもあの學校の周圍は主に支那人の市街になるさうですよ

A。さうすると、いよく妙なことになりますね

B。將來は屹度公學堂にでもするつもりでせうよ、ハヽヽヽ

A。どうも校舍敷地の選定が出鱈目のやうですね

B。出鱈目でもないでせうが要するに豫想がはづれるのですね

A。譚家屯方面は近年非常に膨脹したやうですが、あの附近の子供はどこの小學校に通學してゐるのでせう

B。たいてい伏見臺小學校へ通つてゐるやうですが通學の距離から見ると少し遠過ぎるやうです

A。譚家屯附近にはもう小學校がとつくに建つていゝ時ですね

B。近年星ケ浦や譚家屯方面に著るしく住宅が殖えましたが、此の二ケ所には是非學校が必要でせう

A。やはり校舍の位置は通學兒童の便不便を十分考慮して選定してもらひたいものですね

B。學校の位置は通學區域の中心にあるのが理想です。聖德小學校の如きは最も惡い例の代表的のものでせう

新舞踊研究會が 舞踊公開

十二月一日協和會館で

大連新舞踊研究會では十二月一日午後一時より及午後七時よりの二回滿鐵協和會館に於てレコードによる新舞踊を公開する由であるが會費は大人小人共一名四十錢で右會費の内一名につき十錢宛を天引して國債償還基金に獻金すると、プログラムは次の通り

◇童謠舞踊(大連高等音樂院舞踊科生徒賛助出演)
一、かくれんぼ、二、エスキモー、三、露路の細道、四、叱られて、五、あがり目さがり目、六、證城寺の狸囃子、七、雨ふりお月さん、八、濱千鳥、九、あの町この町、一〇、兎のダンス、一一、桃太郎音頭

◇舊舞踊
一、長唄鶴龜、二、京の四季、三、長唄浦島

◇新民謠舞踊(大連新舞踊研究會員出演)
一、緊縮小唄、二、浮波の港、三、須坂小唄、四、出船、五、青い芒、六、港おどり、七、旅人の唄、八、鎭西小唄、九、紅屋の娘、一〇、河原柳、一一、出船の港、一二、舞鶴小唄

まづお臺所から 生活合理化運動へ
時代の趨勢に目覺めて乗り出す 健氣な在滿の女性

[illegible]婦人會幹部[illegible]生活合理化運動[illegible]官吏の奥様連を中心に近く具體運動に移るべく寄々協議中ださうで大變喜ばしい傾向だと思つてゐる、兎に角公私經濟の緊節約運動等と云つても家庭婦人の協力を得なければ眞に徹底した成果を收むることが難しいのだからその意味に於て在滿婦人の覺醒は時代的にも社會的にも甚だ有意義なものといはねばならぬ

越鐵疑獄事件
貴族院方面にも波及か

【東京二十八日發電】越鐵疑獄事件[illegible]役に逃れてゐた前政府の大官が近く召喚される模樣である元來大臺林業は樺太山林の拂下げ一手引受會社で機會を捉へては政府當路に贈賄行爲を爲し拂下確定するは其の權利を互頭にて他の會社へ轉賣し巨利を占めてゐたので今回疑獄の中心は約八百萬石の木材拂下につき前の政府筋に二十萬圓を撒いたと云ふに在る

陸大優等生に軍刀を御下賜

【東京二十八日發電】陸軍大學校では二十九日卒業式を擧行するが左記六名の優等生に對し天皇陛下より軍刀を下賜あらせらる

歩兵第八十聯隊附(大邱)　歩兵大尉　立石方亮
歩兵第三十四聯隊附(靜岡)　歩兵大尉　西村敏雄
歩兵第十九聯隊附(敦賀)　歩兵中尉　中山寧人
工兵第九大隊附(金澤)　工兵中尉　池谷半二郎
歩兵第十五聯隊附(高崎)　歩兵中尉　若松只一
歩兵第六十三聯隊附(松江)　歩兵中尉　八原博通

山林疑獄 發展
大臺林業の重役を留置

【東京廿八日發電】[illegible]大臺林業[illegible]名古屋市中區[illegible]三の兩氏[illegible]留置された[illegible]

冬を青々と——電氣遊園の温室

島徳藏氏召喚か
阪國バス事件

【東京二十八日發電】大阪地方裁判所が全力を注いでゐる阪國バス疑獄事件に就き金山檢事正は二十七日東上小山檢事總長泉二刑事局長等を訪ひ何事か打合せ次で小原次官より指揮を仰ぐ處あり二十八日は次官室に小原次官と會見協議する處があつたが阪國バス事件は最早關西方面の周圍的檢察が終了し司法部首腦の意見を叩いた結果愈々問題の島徳藏氏を召喚する事に内定同檢事正は二十九日早朝歸阪打合せの上島徳藏氏を召喚如何を正式決定する筈である

音樂學校記念式
開校五十周年を迎へ

【東京二十八日發電】開校五十周年を迎へた上野東京音樂學校では二十八日秩父宮殿下を始め一二宮殿下の台臨を仰ぎ午前九時半より同校音樂堂に於いて盛大なる記念式を擧行した、式後演奏會に移り能樂長唄等の日本樂を終り正午より記念午餐會を開き午後二時半より洋樂の演奏をなし聽樂を餘了し四時終了したが、各宮殿下には終始御熱心に御聽遊ばされ閉會と共に夫れ〲御還啓遊ばされた

癌研究に御下賜金

【東京二十八日發電】畏き邊りにては癌研究の補助に二十八日癌研究會に對し金一萬圓を御下賜の御沙汰あり同日午前十一時會長長與博士宮内省に出頭拜受した

賣勳事件
檢擧打切り

【東京二十八日發電】勳章疑獄事件は藤田謙一氏の檢擧を以て一段落とし豫て噂されてゐた某々勅選への波及はなく今後同事件に對する新人物の檢擧はあるまいと

北嵜子の新埋立地に 大操車場を建設
貨物輸送の長大列車のために
四十萬圓を投じて

滿鐵では貨物輸送の能率增加から列車六十輛以上の長大列車運轉を開始した關係上、各驛の有效長延長したが、埠頭構内への廻入は吾妻橋操車場が三十五六輛を容るゝに過ぎぬため南關嶺驛にて列車の編成替を餘儀されるの狀態である、これは列車運行上非常な經費を要することで滿鐵では操車場新設の計畫があるが、北嵜子海岸より小嵜子海岸に至る埋立地も大體に完成したので來年度豫算に四十萬圓餘を計上し愈々該埋立地に大操車場の建設をなすこととなつた、完成期は來年十一月頃になららうがその完成の上は貨物列車全部を沙河口驛より同操車場に廻入し北大山通電車終點海岸から現用度事務所内をぬけ濱町から埠頭構内へ通ずることになる模樣である操車場より埠頭構内間の線路は取敢ず二本(複線)とし漸次增設することゝならうが、同工事のため用度事務所倉庫及び濱町滿鐵宿舍の一部分を取毀されることになる而して吾妻橋操車場車は現能力の半減に止める模樣である、從つて貨物列車の往復は全部大連驛を通過せず北大山通海岸廻りに變更されることになると

女中お糸に絡る 竊盗恐喝の公判
きのふ證人しらべ

大連浪速町一五〇料亭「ほてい」の女中お糸こと石橋スイを中心として同料亭板場支那人王德田および伊勢町一〇六蓄音機商田中新八にかゝる情痴三ッ巴の生んだ悲劇——その犧牲となつた王德田にかゝる竊盗、恐喝の第三回公判は二十八日午後二時から大連地方法院第一號法廷に於て小田判官かゝり春木檢察官事務取扱ひ干與の許に開かれた、最初證人として事件發生當時石橋スイと王德田との仲裁に入つた播磨町一七料理人吉田鋤太郎に對し喚問あり吉田は「ほてい」の女將に仲裁を依頼され王德田と石橋スイとの仲に入り、王がスイより竊取した金は手切れ金として王に渡しスイとの關係を全然手を切らせた事實を述べ、同樣證人田中新八は流石に羞恥を感じてか、傍聽者に聞かれまいと小さな聲で石橋スイとの關係を頭から否認し、七月三十一日王德田から五十圓恐喝された事實に就きお前は自己の婦をおもち

足掛け十年 缺さず神詣で
輕佻浮薄の世に珍らしい
國政さんの敬神振り

▽…滔々たる時勢、世人は唯利那を追ふ求利享樂の巷に己を忘れ徒らに末梢神經の尖端にのみ喘ぐ今日に於いて、これはまた珍しい毎朝春夏秋多雨雪を厭はず今日まで九年四ヶ月、大連神社に參詣し續けた人がある、この人は現在彌生町十六番地に住む國政與三郎氏といひ山縣通りの雨具代理を つとめ、伊勢町洋酒煙草商和盛洋行の支配人として同店を監督經營してゐる、今日まで夫人の喪のため一週間と内地旅行三十五日間のほか嚴多、酷寒一日も休まず每朝入時頃お詣りする

▽…熱心な敬神家であるが本年五十六歳とは見えぬ矍鑠たる老人である、氏を伊勢町の店に訪へば語る

參詣し始めたのは大正九年七月二十日で來年の七月で滿十年となります、私は最初大正七年頃から神經衰弱でその療法に種々惱んだ末、毎朝中央公園や老虎灘方面に散歩に出掛けて居ましたが何時の間にか大連神社の方に足が向き、三年間續けてみやうと思つたのがこの動機となつたのです、その後三年目になれば五年繼續を思ひ立ち、四年前に五年祭も濟して十年繼續を期して居りますが今後何年續けるか考へて居りません

▽…最初は單に健康のために參詣を續けて居たのですが續けてみると毎朝川麓の清い空氣の中に神前に額く心地は全く良いもので無論神經衰弱も直ぐ治りましたが、一日でも缺かすと終日氣持が不愉快で仕事の都合で止む無く朝行けない時も晝の暇をみてお詣りに行かなければ氣が濟みません、お蔭様で五十六歳の今日まで大した病氣もしません、三年目に記念のため「健康增進法」と題したパンフレットを出して知人に頒布致しました

警察署長が 組合員を田樂刺
秋田縣下の小作爭議

【秋田二十八日發電】小作爭議中の前田村に於て二十七日爭議團と地主側と石合戰の際組合側の工藤兼松(二七)が臀部を田樂刺しに刺され重傷を負ふたが、右加害者につき取調べ中の處本日に至り加害者は米内澤警察署長千葉清治が自らやつた事と判明したので縣警察部では大いに狼狽し善後策につき目下協議中である

持久戰
小作人の要求を地主側拒絕

【秋田二十八日發電】前田村の小作爭議は爭議團員五十名が立て籠つてゐる爭議團本部を警官隊二百餘名及び消防組自警團員百餘名が遠卷きにし相對峙し睨み合つてゐるが二十七日小作人側の要求を地主が拒絕した爲め松浦縣特高課長は警官消防夫七十名護衞の下に二十八日午後一時爭議團本部に乘り込み爭議團幹部と會見し地主側の拒絕を傳達した一方爭議團員は各地よりの應援團體に益々結束を固め目的の貫徹を誓ひ日本大衆黨本部よりは軍資金を送つて來た外幹部數名來援する事に決定した斯くて爭議は愈々持久戰に入るものと見られてゐる

開業早々から お客が殺到
安い牛肉が人氣の中心
消費中央分與所

二十八日から開業した滿鐵消費組合西公園町中央分與所は品物が豐富で値が安い上に同所の開業を待つて今まで必要な冬仕度も買控へてゐた社員家族達が競つて押かけたので開業第一日は終日非常の賑はひを呈し各階共賣店係員は目の廻るやうな忙しさ、從つて一日中の賣上も從來のレコードを破つた會計係では閉場後開業第一日の賣上額勘定に大汗の態であつた、當日の各部を通じ最も人氣を博したものは食料雜貨部で就中肉類販賣部は一寸寄りつけない程の盛況、何しろ大連に於ける牛肉研究の權威者で例の市場小賣牛肉値段を今日の低値にまで引下げた隱れたる大功勞者滿鐵々道部囑託の渡邊精吉郎氏がまだ〲大連の牛肉はもつと安く市民に供給されると云ふ理論を先づ此の消費組合に依つて如實に示して見せると山中御商との間に折衝した結果一等四十錢、二等三十錢三等十八錢といふ需用者に取つて頗る惠まれた廉價で賣出し、それで各等共店頭に示されたサンプルを見ると市中何處の肉店の肉よりも優りはしても劣らぬ優秀品なので大に社員家庭の人々に人氣を博した

尚牛肉の外豚肉、雞肉共市場に比して遙かに低廉であるが、渡邊氏は一般市民にも是非共氏が鬮谷大連市助役に建議した通りの値で供給の方法を講じ度いと語つてゐた

怪文書事件の 恐喝犯人求刑

【東京廿八日發電】宮内省北海道御料地拂下げ十五銀行問題等に關し怪文書を出して恐喝を働いた北一輝等に係る恐喝暴行行爲取締違反は東京地方裁判所で審理中の處二十八日午後二時病氣のため審理分離の北一輝を除く左記四名に夫々求刑があつた

懲役二年　立川靜雄
同　八月　西田正道
同　六月　橋政明
同　六月　關屋織之助

尚判決言ひ渡しは十二月初めの筈である

豚の迷ひ子

去る廿日ごろ沙河口公學堂校庭へ大豚一頭迷び込み同校にて引捕へて飼主の來るのを待つて居つたが遂に判明しないので廿八日午後二時ごろ同公學堂では沙河口署へ拾得物として屆出でたが同署でも始末にもてあまし遂に換貨處分に附すべく問屋を集めて競賣を行つたところ廿一圓で落札した

香爐礁に 四人組强盗
ゆふべ九時頃

二十八日午後八時四十分頃香爐礁四區百五十七番地郭出清方に四人組の支那人强盗侵入し拳銃樣のものを突きつけて家人を脅迫し金票二十圓小洋二十圓を强奪逃亡した急報に接した小嵜子署では現場に急行し犯人嚴探中である

ゴルフ納會

滿鐵ゴルフ倶樂部では來る十二月一日星ヶ浦リンクに於て本年最終のゴルフ大會を開催することゝなつたが、優勝者には一等より三等までの賞品を授與すると、尚本年のゴルフ戰で入賞せず且つ當日の賞にもあづからなかつた者に對してはその日の成績順によつて一、二、三等までの賞品を授與することになつた

ラヂオ中繼放送

大連放送局では昨冬主として東京の放送を中繼したが本年も空中狀態良好なので各方面より中繼放送實施の希望者多いのに鑑み、昨日來諸設備を急いでゐたところ最近完了した、依て十二月一日より實施の豫定で中繼の回數も昨年より毎週二三回に增加する豫定であると

けふのラヂオ

昭和四年十一月廿九日(金曜日)
自午前十一時　相場(特產、錢鈔株式、各地相場)
自午後零時三十分　相場(特產、錢鈔、各地相場)ニュース
自午後三時三十分　相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)ニュース
一、ニュース
二、兒童科學講座「雁」大連第二中學校 泊尚義
三、民謠獨唱(一)河原柳(藤井清水曲)(二)波浮の港(中山晉平曲)(三)港節(同)鏑木龜二郎
四、義太夫「合邦」(太夫)石井美石(三味線)豐竹東馬鶴
五、俗謠「數種」(唄、三味線)上田ハル(伴奏)山本フジエ
六、支那劇「武家披」連東倶樂部部員
七、料理獻立
八、天氣豫報
九、ラヂオ體操

愛慾の窓（172）

戸川貞雄作
淺枝次朗畫

犠牲（三）

龍吉の努力にもかゝはらず、肝腎の遺書は英輔が何處に隠してゐるか、探りあてることはむづかしい様子であつた。倭文子は倭文子でおり／＼しながら、時には英輔の留守の隙に彼の居間へはいつて手文庫や抽斗などのなかまで人知れず調べてみたりしたが、つひにそれらしいものを發見することは出來ないのだつた。矢張り言葉どほり灰にしてしまつたのかも知れない。倭文子はさう疑けずにはゐられなかつた。彼女は苛々した。衣服にゐても立つてもゐられないやうな焦躁と不安に驅り立てられた。

久彦の公判日も、明後日に迫つてゐた。辯護士の告げるところによれば、これが最後の公判で、判決が下されることにならうといふ

然し判決の後でも、審理の根抵を覆へすに足る證據が見出されるならば、再審理を仰ぐことも出來るし、もとより控訴の途も開けてゐるから、さう失望することはないと辯護士は倭文子を慰めてくれた。

いよ／＼となつたら、自分も法廷へ立つ覺悟の上で、實はこれこれしか／＼の事情で、眞犯人は男ですと、倭文子は辯護士にまで告白しようとしたところで、證據の品が無ければ、假りにも夫であり、一代の實業家小森英太氏を殺人犯人だと訴へるのであるから、容易ならぬ業であるし、久彦とは戀愛關係があつたと見られてゐる身の、愛人を救ひたい一心から、女ごゝろの淺墓な狂言だとして、一笑に附されてしまはんとも限らない。

——あゝ、これはやはり正面からあの人にぶつかつて、遺書の始末をきくより他はない。ほんとうに焼き棄てしまつたものならば仕方がない。若し隠して持つてゐるならば、何んな犠牲を拂つてもいゝ、亡き舅の遺志どほり警視廳へ提出させなければならない。

倭文子は悶えた。懊悩した。そしてとうたう正面から英輔にぶつかつていつた。

「……何？お父さんの遺書だつて？はゝ、まだお前はそんなことにこだはつてゐるのかい？」

と、英輔は倭文子の問を嘲笑ではね返してしまつた。

「成程、お前には戀人の浮沈の瀬戸際だから、あの遺書が入用だらうね。しかし僕はもうあんなものゝことは忘れてゐたよ！はゝだつて御承知のとほり、僕は大變忙しいのだよ！これから杉崎と一緒にステーション、ホテルへ出掛けなけりやならない。邸では新聞記者だの警察の奴等だのが監視の眼を見張つてゐてうるさいから、あすこで今夜小森銅山の事務所長と坑夫の代表者や爭議の尻押をしてゐる無産黨の連中なんかと、會見することになつてゐるんだ。かう見えたつて、僕もさう下らないことにいつまでもこだはつてゐる暇はないんだからね」

「……お忙しいのはわかつてゐますわ、ですからたゞあの遺書は何處に隠してあるか、それを打明けて下さればいゝんです！」

倭文子は押し返した。

「隠して……？とう／＼それに氣が付いたのは感心だね、はゝ」

英輔は殺さうな眼付で、ぢろりと倭文子の美しい顔を見た。こゝ數日いよ／＼繁忙しく、家を外に飛び廻つて、しみ／＼倭文子の顔を見る暇もなかつた。今夜はとりわけ美しいなと、彼は舌なめずりをした。だが、指一本觸れさせようとはしない冷たい妻だ、妻とは名ばかりの女だ。しかしおれはぢつと機會を待つてゐるんだ……。

「……兎も角、はつきり云はう、あの遺書は確にある！焼き棄てたといつたのは嘘さ！はゝ、何だ、その顔は！」

「……では、何卒、わたくしにお渡し下さいまし！」

倭文子は息をはづませて詰め寄つた。

「……然し、今夜は忙しい。そろ／＼僕はステーション、ホテルへ出掛けなければならないんだ」

英輔はさう云ひ捨すと、折柄遊びに來た秘書杉崎と一緒に、さつさと外出してしまつた。

倭文子は、しかし大きく安堵の吐息を洩らした。

——あゝ、やつぱりあつたんだわ！あつたんだわ！

涙が、ぢは／＼と彼女の眼に湧いてきた。

新刊紹介

▲名作落語全集（第七卷）戀愛人情篇で斯界の大家揃ひがお目見えし珍らしいものばかり揃へて讀者を捧腹させずにはおかない、多數演者大家の抑揚は更に本書を價値づける（豫約定價五十錢、東京市神田區材木町二番地騒人社發行）

▲東京パック（十二月號）定價金二十錢、東京市巣鴨町宮下一六六三東京パック社發行

▲カナノヒカリ（十一月號）定價金四十錢、大阪市東區北濱五丁目

▲日本銀行内カナモジ會發行

▲金解禁と緊縮政策の批判（三土忠造氏著）前大藏大臣の意見で虚心坦懐に述べたと云つてゐる（定價金三十錢、東京市日本橋區本銀町三ノ一四寶文館發行）

▲會寧案内（吾會文庫第九編）定價金十錢、咸鏡北道會寧町會寧印刷所出版部發行

▲經濟月報（第三十五號）定價銀五十仙、上海黃浦灘第二十四號上海日本商工會議所

▲海松（第二號）定價金三十錢、兵庫縣西宮市字満地谷三四七二海松發行所發行

▲日支條約交渉に關する支那側の論調（上海排日貨實情第二十四號）非賣品、上海黃浦灘路二四號、上海日本商工會議所内金曜會

▲理化年表（昭和五年）東京天文臺編纂で來年の暦、天文氣象等を知るに便なるのみならず物理、化學、地學に關する一切の事項は略ぼ本書に收められてゐるから一般の座右に備ふべき良參考書である（定價金一圓五十錢、東京市本郷區東京帝國大學發行）

▲商業世界（十一月號）定價金三十五錢、東京市日本橋區小傳馬町一ノ三、商業世界社發行

▲奉天評論旬報（第六卷第十四號）定價金二十錢、奉天加茂町三奉天商工會議所發行

▲雄辯（十二月號）政友會總裁犬養毅、文豪坪内逍遙先生、早慶決勝戰の日、雄辯の流轉、ベルリン會議必死の一騎打、基督教界の十大雄辯家其他多數の讀物あり（定價金五十錢、東京市本郷區駒込坂下町四八大日本雄辯會講談社發行）

夕刊 滿洲日報 十一月廿八日
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社

露支關係の惡化に對し 列國は當分成行觀望

米獨共に極めて冷淡 何れかゞ屈服せねば和平困難

【北平特電二十八日發】勞農軍の進擊に關し當地外交團は戰況の進展を重大視してゐるが、露支間の外交々涉は中央或は奉天單獨何れにしても其端緒をつかむことは殆んど不可能とされ、兩國間を調停する者が出るやうな模樣も更に無い、アメリカ政府は不戰條約を提唱せる關係上兩國に對し何等かの處置を執るやうになるかも知れぬといふ報道があるが當地米公使館は極めて冷淡な態度を取つてゐるやうである、獨公使館の態度も亦甚だ冷淡であると仄聞する、列强の本國政府は相當緊張して成行を注視してゐるやうだが露支兩國間の關係の實際狀況を最もよく知悉してゐる當地外交團は兩國の軍事上の發展とそれが齎すべき事實即ち何れか一方が屈服して妥協點を見出すに至るまで放任するより外あるまいといふ意見に一致してゐるやうである、然し國境居留民の生命財産利益の保護に對し細心の注意を怠らぬことは勿論である、愈々戰爭がハルビン附近まで延長し列國自身の利益に直接重大なる影響を及ぼすに立至る時は列國協調して何等かの具體的處置を採るに至るべきことは充分豫期されてゐる、また王正廷氏のカラハン氏に對する抗議若しくは交涉開始の提議の如きは殆んど何等の興味も持たれてゐないが外交部が廿五日不戰條約調印國に對し勞農側の不當を愬へた聲明の如きも恐らく何等の反響は望めないだらうと觀測されてゐる、將來支那は或は列强に對し勞農軍の進出阻止乃至は調停斡旋のため泣きつくかも知れぬと想像されるが列國が自ら調停に一肌脫がうといふやうなことは現在の空氣では期待されさうもない、從つて當地外交團は現在露支間の局面に對しては極めて冷淡なる態度を示してゐる

露の主張全部を容認し 米獨に調停依賴に決定

【南京二十七日發電】蔣介石、王正廷、張學良氏代表秦華の三氏は二十七日午後前日引續き對露重要會議を開いた結果、今更妥協を申込んでも解決は依然困難なること明瞭であるから東支鐵道に關するロシアの主張全部を容認するを條件としてドイツとアメリカに調停を依賴するに決し、駐米伍朝樞駐獨蔣作賓兩公使に對し重要訓電を發した

紛爭の審判を依賴 東北各代表列國に通電

【ハルビン特電二十七日發】東北教育、農業、商工聯合、東北民衆代表は廿六日日本米佛獨伊各國に對し

ロシアは國境に兵を進め既に大擧して支那領地を侵した、之は不戰條約を破壞するものなれば列國は之に對し公平なる審判を與へ、國際調査團の組織を希望する

旨を通電した

勞農軍事行動を一時中止す

自衞目的達成せるを理由に

【ハルビン特電二十八日發】勞農は勞農軍の海拉爾攻擊に如何に支那國防軍が弱いものであるかを暴露し軍事行動は一時中止し早くも和平機運が促進されて來た、支那側は飽くまで其面目を保つためにケロッグ氏の不戰條約を楯に勞農の不法行爲を條約國の輿論に愬へ特にアメリカをして審判官たらしめんと希望してゐる、然し不戰條約を蹂躪したものは支那自體で紛爭は東鐵のクーデターにより起つたもので勞農軍の侵入は正當なる自衞策に出たのであるから別に問題とはならず、不戰條約國は問題にしないだらうと觀られてゐる

海拉爾以西を緩衝地帶に

和平解決を交涉せん

【ハルビン特電二十八日發】海拉爾に迫つた勞農軍は同地占領を止め後退し札蘭諾爾、滿洲里の勞農軍もロシアの目的たる國境支那軍を一掃したので地方の秩序はゲ・ペ・ウに任せ撤退する筈であるが支那軍が再び國境に兵を進めるならば同じことを繰返すだらうが戰意を失つた支那兵は海拉爾以西には進まざるべく滿洲里、海拉爾間に踏み緩衝地帶として對峙し、露支正式交涉に入る傾向である

工事中の國會新議事堂

東京永田町の高臺に帝都を見下ろした大偉觀。國會新議事堂は東洋一を誇るだけに遺憾なく近代的の設備を取入れて建築中であるが之が完成は昭和七年の豫定之に續いて隣合つた新警視廳も新築中で完成の曉は東京市の面目を一新するだらう

信書檢閱開始

【ハルビン特電二十八日發】支那官憲は時局のため廿七日から信書の檢閱を開始した

黑河避難邦人 哈市到着

【ハルビン特電二十八日發】黑河の邦人男子一名女子十二名に子供二名は廿六日五日間を要して齊々哈爾に命カラ〴〵避難して來た、一臺の自動車賃に七百四十元を支拂つたと

ポグラ邦人 引揚中止

【ハルビン特電二十八日發】東部線ポグラの邦人は露支戰局が左程まで進展せざるより一時引揚げを見合はす旨通知があつた

支那軍の進擊絕望

避難者の實見談

【ハルビン特電二十七日發】札免公司の八木氏外邦人七家族二十餘名は廿六日午後二時イルクテ驛からハルビンに避難して來たが、八木氏は勞農軍海拉爾襲擊當時の狀況につき語る

海拉爾には露支兩軍とも一兵も居らぬらしい、海拉爾の警察署長も同行したが、驛員は全部布哈圖に引揚げ海拉爾以東にロシア人は一人も居らぬと、途中支那の某軍人は蔣介石氏が下野し國內は平和になつたから露支交涉も近くケリがつかうと語つてゐた程で興安嶺より以西に進む意思はない、沿線到る處掠奪が行はれ混亂し避難の露支人は列車の屋根、連結臺にブラ下つて避難する樣な悲慘であつた、支那兵は全く戰意無いが今の處興安嶺のトンネルは嚴重に警備されてをり飛行機では破壞されないから露支交涉が順調に進ぬ時は現狀を永續するかも知れぬ、大部分の避難者は着のみ着のまゝである

領事團會議

情報持寄決定

【ハルビン特電二十七日發】廿五日の領事團會議は別に纏まつたものなく今後形勢の變化により情報を持寄ることに決した

布海間電話

廿七日復舊す

【ハルビン特電二十八日發】布哈圖、海拉爾間の電話は二十七日から復舊した

王道を基調とし 日支親善を圖れ

中谷關東廳警務局長 赴任後の感想を語る

中谷關東廳警務局長は上京後所管の豫算及人事問題等で多忙を極めて居るが同局長の赴任後の所感を叩けば左の如く語る

×

赴任後まだ間がないので滿洲のことは素人であるが管內沿線等も一通り巡視したし色々の見聞から多少は分つて來たやうな氣もする滋賀縣大の關東州の地域は誠に狹いが旅順の天地に跼蹐して州內のことのみを見て居るのが任務ではあるまい、此の狹い關東州の背後には滿蒙といふ大陸がある、此大陸を控へ支那を望んでの仕事があらねばならぬので長官にも色々の考へもあらうが自分にし其の職責丈相當愼重に考慮せねばならぬ事柄があらうと思ふ、吉林、黑龍江省等アノ廣い地域には未開地はまだ〳〵澤山ある、其廣大なる大陸の開發が日支共榮上行はれると日本の人口過剩などいふ問題は何でもないことゝ思ふが要は滿洲に於ける日支關係が最も大事である、

×

日支親善の聲も久しいものだが實際に於ては矛盾も衝突も多い、之を眞に兩國民同士が打解けて共榮の途を講ずることになれば滿蒙の開發、さうして其經濟的利益は互に受けることが出來るので此點支那人を重視し利益を分ち相携へて事を共にする方法でなくてはならぬと思ふ、然らば眞の日支親善兩國民の融和をどうして圖るかといへば、之れはどうも從來の態度を一變して行かなければなるまいと思ふ

×

從來も滿洲に於ては其經濟的發達に伴ふ利益を支那人が多分に享受して居ることは滿鐵の經營に見るも明かであるがそれを一歩進んで一般的に國民同士の接觸融和を基調とし日本人と事を共にすれば福利を增進し得るといふことにならねばならぬ、やらずぶつたくりの利權的占有を志ざすやうなことでは滿洲の仕事は何時迄經つても駄目である

×

又政府にしてもよく永い眼で王道を歩んで秩序ある開發方針所謂滿蒙政策を進めることが肝要で所謂物的の方策は害あつて益なきことゝ之を前內閣の田中外交に見て明かである、それに比すると甚だ優柔に見えるが幣原外交は優ること萬々、世界の公道を歩いて正義と人道とを基調とした外交方針がどの位好結果を齎したかは識者を俟たずして知るであらう、

×

成程一時的火花を散らすやうな政策は快は即ち快だがそれが永續をせぬ却て反動が來る滿洲のみならず支那各地の排日が明かに證據立てゝ居る詰り一時的に多分の利益を擧げやうとして失敗を招く一時一時の利益を短期に擧げるよりは二分でも三分でも永續する恆久的計畫の下に互に利益を增進する方針を執ることが必要で臨機應變の際物的政策は禁物である、永久に融和する恆久的方針の下に提携することは利廻りが少くても其處に鞏固な根柢が築かれるので之で初めて共榮の實が擧がることにならう

×

所謂對支外交や滿蒙政策等については自分の如きが決して兎角の言議を挾む譯ではないがどうも支那人との融和、接近が懇實でない其間に支那人はどし〳〵得意の經濟的伸張を反對に行つて來て沿線附屬地でも或は大連の眞中でも支那人の經濟的進出が邦人を壓して居る、邦人は如實に萎縮する狀態にあるこれは在滿邦人の過去の狀態が已むを得ず然らしめた事情もあらうが今日は最早能力信者では駄目である、右の如く永い眼で利益は薄くとも永續する考へを持つことに依り且つ此考へで兩國人の融和提携に依りて邦人亦發展の餘地が十分にあるべき筈である

×

それについては吾々も隨分氣をつけねばならぬことで區々たる規矩繩墨に捉はれて實際を忘れてはならぬ支那人は附屬地以外一歩も出づべからずと頑張る日本人は支那人に對して細かい理屈を並べ立てるといふ風では何時迄經つても駄目であるから自分等の職責上からも十分氣をつけて行きたいと思ふ既に時勢は急回轉して居る舊式な領土的觀念に捉はれたり日清日露兩戰役當時の征服者のやうな考へを持つて臨んでは愚の骨頂である。

あすの定例閣議で文相更迭を決定

政局紛糾の危險を成べく避け 後任の補充に止めん

【東京廿八日發電】小橋文相の辭意は極めて固く理由は大臣として檢事局の取調べを受ける苦痛よりも寧ろ綱紀肅正內閣の一員として文教の府に在る者が疑獄に關聯し疑惑に包まれては

職責を全

うし得ないと云ふにあり首相亦事已むを得ずとし關西より二十九日歸京、定例閣議を三十日に繰上の豫定を變更し二十八日京都の民政黨近畿大會を終へ同夜發二十九日朝歸京して急ぎ一切を解決する模樣である、文相は首相着京次第正式に辭表を提出し首相は閣議を招集承認を求めた上直に宮中に參內天皇陛下に執奏御裁可を仰ぐ筈、右閣議に於ては

一、一蓮托生問題
一、小橋文相を閣員として奏請したる濱口首相の輔弼の責任問題

についても協議されるが、多數の意向は萬難を排して今後の政局を擔當すべしと云ふに一致してゐるから結局文相の辭職を承認して

後任問題

につき意見交換後之を首相に一任することゝならう、而して後任問題に絡み內閣一部改造說もあるが閣僚の多數及び與黨方面では問題を可及的小範圍に限り紛糾の危險を避けるため單に文相の後任を補充するに止めよとの意見が多い、後任候補者の顏觸れは種々噂に上つてゐるが、濱口首相としては既に關西に於て

想を練つ

てゐるもの如く小橋文相の辭職決行直後即ち二十九日中又は三十日單獨全權一任見送りの前後何れかの內に後任問題を解決して事態紛糾の餘地を殘さぬことにする模樣である

文相の後任 田中氏最も有力

本黨系より拔擢を穩當とし

【東京二十八日發電】小橋文相に對し民政黨では引留運動も相當あるやうであるが辭意固く濱口首相が二十九日歸京するを待ち辭表提出の模樣なので與黨方面では後任を議してゐるが黨の一般の意嚮は氏が本黨系であり又氏の犧牲的精神を尊重して本黨系より拔擢するを穩當とし目下田中隆三氏を推さんとする空氣が强い、尙政界一部には渡邊法相の更迭說あるも思はぬ破綻を招かぬとも限らぬので文相補充のみに止むるらしい【寫眞は田中氏】

危險思想防止の文獻を出版

文部省協議會の意見

【東京廿八日發電】文部省の思想文獻に關する協議會は二十七日午後二時から省內會議室に開會、紀平學習院教授、千方、宇野氏以下の帝大教授其他文部省より關屋社會教育局長等出席し關屋局長より思想問題の解決に就ては之に關する文獻がなく困つて居る此點につき隔意なき意見を承り度しと挨拶の後協議に入り更に十二月四日再開具體案作成に決したが主なる意見左の如し

一、思想善導に關する文獻はマルクス主義批判に直接影響なきも間接に影響があるから是非出版すべき事
一、日本書記、古事記其他歷代の御詔勅及び廣く支那、西洋等の思想善導に關する書籍を成るべく平易にして出版すること
一、小學校の先生も此等の書籍に依つてマルクスの批判や思想善導の出來るやうにすること

梧州攻擊中止

英國の抗議で

【廣東二十七日發電】廣東飛行隊は中央より應援の飛行機を加へて約二十臺となり每日西江、北江方面へ偵察飛行をなしてゐるが飛行機の梧州攻擊はイギリス側の抗議で中止されたが、香港で傳へられた梧州が昨日爆破されたとの風說は誤傳であると

廣東軍艦 寢返說

【廣東二十七日發】一說に依ると西江に在る廣東軍艦の一部は反蔣軍に寢返つたと云はれてゐると

議會解散難

疑獄は朝野兩黨とも不利

貴族院方面の觀測

【東京二十八日發電】疑獄事件取調べ進展し朝野兩黨とも國民の信頼を失へるを指摘して貴族院の一部では又復々議會解散回避說が有力となるものと觀測するものが出て來た、即ち疑獄事件は總選擧に對する政友會の大打擊であるが民政黨も綱紀肅正を標榜してゐた關係から之亦大打擊を受けるは明である、而も多年の懸案たる金解禁は既に解決されたが其後の國家財界の重要時期に政局の不安を招來させるは遺憾であるから政府は出來る限り來議會切拔け策を講ずべきであると云ふにあり朝野兩黨とも軍資金の缺乏を痛感しつつ睨み合ひのまま議會を推移するものとなしてゐる

滿鐵社員の健康

二千名診斷の結果は良好 中楯防疫係主任談

滿鐵社員の定期健康診斷は去る二十日から二十七日(祭日、日曜を除く)まで六日間本社會議室に於て施行されたが中楯衞生課防疫係主任は語る

受診者總數は部長以下傭員囑託まで二千名であつたが內不參者は百六十名餘で受診者の健康狀態については目下統計の作製中であるが一般に例年より至極良好であつたやうである、而して定期健康診斷の開始以來社員の健康狀態が漸次向上してゐることは事實で結核性などの早期發見には特に力を入れることゝなつてゐる、百六十名餘の不參者は病氣缺勤者、出張不在者等事情止むを得ざるものであつて此等は本月更に日取を定めて診する

中谷警務局長

內務省訪問用務

【東京特電二十八日發】關東廳豫算問題で上京中の中谷警務局長は昨日內務省を訪問警保局長と會談したが右は警務局に內地より新人物を輸入する交涉のためと觀られてゐる

人事

▲加藤友治氏(前福昌華工株式會社取締役)今回同社辭任につき二十八日各方面へ訪問挨拶を爲した氏は近く獨力にて新事業開設の筈
▲門田新松氏(實業家) 廿八日入港はるぴん丸にて來連
▲白川友一氏(同) 同上
▲原田光次郎氏(同) 同上
▲今津十郎氏(大連商業銀行專務) 同上
▲山岡信夫氏(滿鐵電氣課長) 萬國工業會議協力會議出席中のところ同上歸連
▲今井榮黨氏(南滿電氣取締役)
▲森山德次郎氏(島津製作所員) 同上
▲中村文治氏(自由公論社長) 同上
▲河越重定氏(步兵大尉) 同上
▲村上純一氏(大連醫院內科醫長) 同上
桃源臺八十六番地に移轉

大觀小觀

疑獄また疑獄、つひに文相の更生とまでなる。

◇

併し、疑獄は要するに疑獄、濱口內閣の政策には、何らの變易なしと見るべく、內閣に對する國民の信任は、まだ去らぬやうだ。

◇

從つて、政變を云々するは、少しく早計に失する、か。

◇

西部戰線に異狀あり、支那兵、盛んに潰走。

◇

行かけの駄賃に、手當り次第の掠奪、これが治外法權を何とかいふ國の、正規の國防軍といふのだから驚く。

◇

勞農機よりも、却つて支那の慣走兵、自國の良民を走らす。

◇

支那の良民は自業自得として、在留外人の迷惑、この上なし。

天氣豫報

(廿九日) 北西の風曇り驟雨模樣後晴れ
日出 六、五〇 日沒 四、三三
滿潮前 八、四〇 後 九、二〇
干潮前 二、三五 後 二、三五

暴風警報

風强かるべし、一時三十分南滿洲附近一帶を警戒す

緊縮時代の珍現象 景氣のよい緣結びの神

數は減つたが謝禮金は增えた だが結納品は……?

十月、十一月といへば毎年出雲の神樣は大多忙を極めてユックリお休みの時がないといつた調子だが、緊縮風の吹きまくるけふこのごろ、おそれながらと神樣の景氣を大連神社々務所について聞いて見る

▽……△

今年は十月に入つてから今日まで卅六組の神前結婚式があげられたが、去年のこのシーズンに比べれば五組許り減じてゐますしかし謝禮の方は五、六十圓の增加ですよ、これなんかは緊縮時代としては全く珍な現象ですね、つまり神樣には緊縮なんてことはないといふんでせうネと、節約の風はドコを吹くかといつた勢ひである、これは一生に一度の重大な儀式だけに一等五十圓、二等三十五圓、三等二十圓といふお金も惜まず投げ出す結果に外ならない

▽……△

神前結婚は割合簡單に濟むためでもあらうが、逐年增加の傾向を辿り大正十二年の百二十組に對して今年は既にその倍の二百三十組に達してゐるといふのだコンな具合で緣結びの神樣には流石の緊縮風も手を出しかねてゐるが、婚禮の衣裳調度品類を取扱ふ店にはヒシヒシとその手がのびて、最近は、結納品の如き、或る店では毎日五、六組の註文はかゝさないが、昨年にくらべて良い品は出ず大概十圓前後のお安いところで間にあはされる有樣だと語つてゐる

盡忠報國 榮譽の善行者

京都華族會館で表彰される 滿蒙毛織の矢作房吉氏

【奉天特電二十七日發】來月一日京都華族會館に於て全國善行者百六十八名を選拔し表彰する中に奉天から只一人その榮譽を受ける人がある、それは滿蒙毛織會社事務員として永年勤務してゐる矢作房吉氏である。氏は千葉縣東葛飾郡船橋町の出身で奉天の在鄕軍人會のために專心努力すること十四年、その間旗手として班長として引續き盡し表彰されること數回、昭和二年奉天に始めて青年訓練所が設立されて教官となり、今日まで毎朝の如く會社より一里餘も隔たる道を寒暑、風雨を厭はず通勤し、訓練所生徒に對しては服の修繕材料を與へ又は自ら修繕してやる等到らざるなく生徒も慈父の如くいつくしんでゐる、今回氏が盡忠報國の精神に篤い人として名譽ある表彰を受けるやうになつたのも寔し偶然ではないといはれる

九谷燒展覽會

日本陶器界に於て有數の地步を占めてゐる九谷燒は近年科學の進步に伴ひ窯業に異常なる改善が行はれ完全なる美術工藝品たる聲價を博するに至つたが、今回新谷燒紹介のため十二月二日より六日まで五日間三越三階に於て九谷愛陶會主催の下に「今の九谷展覽會」を開催し一般の品評を乞ふことゝなつた

孝宮樣 皇太后陛下に初の御對顏

【東京二十八日發電】孝宮和子內親王樣には二十八日午後零時五十分賢所御參拜後の御總御挨拶のため自動車にて初めて青山東御所御訪問あらせられた、皇太后陛下には新宮樣の見事な御發育に殊の外御滿悅あらせられた、孝宮樣には午後二時半宮城に御歸還あらせられた

外國人船員會館落成

來月二日開館式

大連港繁榮策の一助とすべく外國人船員の慰安に資する爲め滿鐵の多大なる援助の下に海務協會裏に工費五萬圓を投じて去る七月より工事に着手してゐた外人船員會館は、漸く竣工し內部の裝飾もすつかり整つたので、海務協會では來る十二月二日午後五時より瀟洒たる新會館に於て開館披露の宴を張ることゝなつたが當日のプログラムは左の通りである

五時—五時半招待者館內外觀覽 五時半開館式開始、六時開宴奏樂、七時半活動寫眞

一管の尺八に身を托して

悠々流浪の虛無僧谷狂竹氏 けさ飄然として來連

明暗流の虛無僧として尺八を擱れば天下第一人者として知られて居る狂竹谷武雄氏は今回正定府に在る開祖普化禪師昇天の靈地に詣でゝ「阿字觀」を獻曲するの道すがら朝鮮を經て浪々北滿に遊び、飄然として今廿八日十二時半着列車で大連驛頭に現はれた、名利と繫縛の外に悠々一管の尺八に托して流浪する谷氏の人間性は幾多の挿話を生んでゐる、この度流浪あてなき氏を滿鐵社會課が迎へ不日協和會館に於て大連市民に見えると云ふ、尚東亞青年居士會では六時彌生女學校作法室に谷氏を迎へて妙音に接すると(寫眞は谷狂竹氏)

滿鐵消費組合中央分與所 いよいよけふから店びらき

誰何した刑事を刺す

基隆の出來事

【臺北二十七日發電】二十七日午後七時半ごろ基隆署刑事部藤田刑事が公設市場附近を巡邏中二十二三の擧動不審の內地人を誰何したところ件の內地人は隱し持つた短刀で刑事の左腹部を刺し大腸露出して昏倒した隙にいづくともなく逃走した、基隆署では藤田刑事を基隆病院に入院せしめ應急手當を加へると共に非常線を張つて犯人嚴探中であるがまだ縛に就かない犯人は扶桑丸で來臺せるものらしく手口より見て重罪犯人と見られてゐる

列車事故

ふたり轢る

廿六日午後零時七分ごろ周水子驛下り第一、三本線中間に於て機關士河合博言(二)と車掌千葉直介(二)の乘込む第三二四貨物列車は下り第四一列車の進入通過せるに氣を取られポカンとして線路近くに立つてゐた大連淡路町二四同驛勤務驛手福屋重義(二四)を衝き飛ばし額面その他に向ふ三週間を要する擦過傷を負はした

◇

二十五日午前十一時三十分ごろ周水子泡崖屯小野田セメント會社構內三番線上に於て機關士足利篤(二)および車掌多々良庸信(二九)の乘込む第三二四貨物列車は二十一輛の貨車を順次連結せんとし徐行し來る貨車を連結中、小野田セメント會社使用人尚奉爐(四一)は線路外に出んとした際過つて倒れ、右大腿部を骨折し左足に打撲傷を負ふた

奉天醫大氷滑部の歐洲遠征を送る

附=滿洲スケート界の將來 (2)

岡部平太

スケーティングの將來

スケーティングには凡そ三つの進路が開けて居る。スピードスケーティング、アイスホッケー、フイガースケーティング其他にも氷上遊戲があるが日本には殆ど紹介されて居ない。

○…その中スポーツとして最も大衆的なものはフイガースケーティングである。フイガースケーティングと云つても巧妙な氷上ダンスだけでなく、自由にリンクを滑走する程度の低いものを含めて云ふ。人もし一度カナダに冬を過したならば如何に彼等が雪と氷を樂しみつゝあるかに驚くであらうモントリオール一市に大小約二十個所のスケートリンクがあるが夜といふ夜何れも滿員の盛況で一週二度の樂隊出演の夜など殆どリンクーぱい老幼男女で動きのとれない程の人出である。

○…不幸にして滿洲のリンクスは設備が何れも不完全なためとこの外氣を顧慮して遠くフイガーを樂しむ趣味が未だ一般に普及して居ないためと、も一つはダンスに對して極めて曲解されて居る現狀にあるため今日では殆ど行き詰りの狀態に陷つて終つて居る。たゞ奉天に於て、久保田、山口兩博士の熱心なる學術研究により將來の希望はつながれては居る。幸ひ山口博士が學術研究のため、本年渡歐された序に、フイガースケーティングを研究されることになつて居るので博士の歸朝後著るしく進步すべきは論を俟たない處であり、その中には今日の第二代人がやがてフイガーを愛好する年齡にも到達するであらう。その時こそカナダ、スイスにも劣らないスケートの時代が出現する時である。

スピードスケーティング

滿洲のスケートは先づスピードスケーティングから始まつたと云つても過言ではない。この全滿到る處に見らるゝ極めて粗惡なリンクスと烈風に吹き捲くられる極寒の中に行はれるスポーツとして、先づ滿洲にスピードスケートの競走といふことが行はれたことは自然であつて、丁度、北歐のフインランド、ノルーエーのスケートが殆どスピード競技に集中されて居るのに甚だ相似て居る。

○…內地から來るスケーターが一樣に驚歎を發する此の滿洲の異樣なスピードの發達振りは全く自然に影響されてのことであつて子供達が兩親に向つて先づねだるものはスピード用の競走スケートである。ねだられた親達は(スケートの事を知らない)値段の點から買つて與へるものは鐵製のフイガー用のスケートである。然しその子供が直ぐにそれに飽きて次に競走用のスケートを欲しなかつたら寧ろ不思議である。

○…スピードスケートに對しての研究は數字的科學的に行はれ得るが爲滿洲のスケーティングの輸入が非常に遲かつたにもかゝはらず着々として進步した。遂に三四年前のシーズンから日本スケート界の大場であつた諏訪湖を凌駕し昨シーズンは鴨綠江に全日本の選手を集めて選手權大會を開催する迄になつた。そうして今やスピードスケーティングに就ては滿洲は日本の最高水準に達して居る。

○…だが然し滿洲のスピードスケーテングも今や完全に行き詰つて了つた。非常な好奇心と勢を以て進んで來た滿洲記錄(全日本記錄)がもうこの四五年パッタリと底止して殆ど動かなくなつた。それも歐洲及カナダと比較して合理的な差異であるならまだしも、一周五百米に對して七、八十米の差と云ふ點での底止である。それは明らかに科學的不合理である。この科學的不合理には研究上何處かに非常に大きな未知の缺陷が潜んで居る事は明瞭であるが誰も之に的確に答へ得る者はない。この不合理に就いて吾々はシーズン每に出來るだけの研究の手段は盡したつもりであつた。

○…然し疑雲は益々疑雲を生ずるばかりに過ぎなかつた。これが研究のため、齋藤兼吉君の渡歐となつた、君は昨年の一シーズンフインランド、スイス、ベルリン等に於てその問題を研究し來るべき本シーズン之が解決に更に一步を進めてくれることになつてゐる之によつて何が現在迄の研究の不足であつたか徹底的に解決の道が拓けようとして居る。(寫眞はスピードスケーテング練習中の筆者と飯村敏子孃)

大連港經由の視察者 實に二萬を突破

素晴しいこの各月別のレコード

東洋第一港をもつて任ずる大連港も年毎に視察者の數を增して行き歐米各國港灣關係者は勿論、內地朝鮮、支那各地よりの視察者數は既に十月末をもつて大連港の記錄を破つて二萬人を突破してゐる、即ちこれを月割にすれば、一月は流石に少く十七名、二月が百二名、三月が五百五十二名、四月に入つて千六百七十五名、更に五月となり旅行時節に入るや一躍七千五百二十四名に達した、この數は學生團體旅行團の增加を示すもので、六月が千九百九十七名、七月が千四百八十九名、八月が千五百廿二名、九月に入つて二千百四十名と殖え十月には三千三百七十七名でこれまでの計が二萬三百九十五名、昨年中の累計が一萬六千二百八十名であるから本年は素晴らしい增加振りである

我らのテナー 藤原義江氏來る

五日午後六時半から 協和會館で渡米告別獨唱會

會員券二圓(本紙讀者一圓五十錢)學生七十錢

主催 滿洲日報社

元某閣僚の身邊に及ぶか

山手急行の疑獄事件

【東京二十八日發電】山の手急行は目下疑獄の渦中に卷込まれてゐるが右會社の株式五萬株が權利株として行方不明となつてをり、そのうち二千株は佐竹勸選の手に、更に二千株は元閣僚の手に收まつて居ると傳へられ同會社の疑獄にして發展せば或は右元某閣僚の身邊にも危險が及ぶやも知れない、而して同急行は東京の循環線であり非常に有望なる線で將來は政府に買ひ上げらるゝ可能性あり、佐竹勸選が鐵道次官の際に認可したものである

馬車、うま狂奔

子供電車を傷く

大連沙河口白雲山馬車收容所二區二號の馭者富新(三)は廿七日午後一時ごろ二名の來客を乘せ電氣遊園下より小崗子方面に向ふ途中、行き違つたオートバイの爆音に馬が狂奔して折から同方面に向け進行して來た運轉手郭文福(二四)の四號系電車に棍棒を衝突せしめて窓ガラスを破壞し、更に並木敷地にある電柱に二度打つけて同所に居合せた尾上町五一番地理髮業萬福全三女玉英(二)に負傷せしめて漸く停車した、小崗子署では馭者富新を呼出し目下取調中

安住法院長殺し事件で貔子窩へ再檢證

けふ長島判官ら出發

安住大連地方法院長を殺した貔子窩馬賊孫雲德は地方法院の公判廷で檢察官より死刑の求刑を受け證據不充分の廉で無罪の判決を受けたので檢察官控訴となつたが、更に實地の再檢證を行ふ事となり長島豫審判官、高井檢察官、芝書記大崎通譯の一行は二十八日午後二時半大連驛發、貔子窩行き列車で出發した、一行は約五日間該地に滯在、右孫雲德の幇助被疑者碧流河會々長于永河ほか五名に就き檢證および取調べを行ふ豫定になつてゐるが、安住法院長の前例もあり、萬一を慮り頗る緊張してゐた

不埓な利通丸

當地鹿玉汽船扱利通丸は廿八日早朝入港したがいくら待つても水先案內が來ないのでノコノコ入港旗も揭げず防波堤內に入つたが、港則を知らぬとは不埓だと許り沖へ戻りを命ぜられた

愈よ『大日活』今夜から開館

けふ再檢查にパスして

去る二十三日開館式を擧げた大日活は其の後種々の事情の下に一般開館をする事が出來なかつたが不備の點を總て改めて本日大連警察の再檢查を受け無事此れを通過し午後館主が旅順に到つて開館の許可を得、本日夜間より開館する事になつた

夫の不具を悲觀 モヒ自殺未遂

大連沙河口管內西山會春柳屯俠家溝無職宮端亭は長春において電氣修理夫として勤務中、誤つて感電し右脚部に重傷を負ひ歸連し同壽病院にて加療中であるが、二十七日同人妻宮干氏(二)は夫の不具の姿を見て病院において卒倒し應急手當を受けて歸宅後午後一時ごろ多量のモルヒネを嚥下して自殺を圖り家人に發見され再び病院に收容された

吳山丸船長に嚴戒

國際汽船所有後藤商會扱吳山丸は出港手續なくして大連港を出帆復州に向つたが、右は港則違反で海務局としては看過し難く來る廿八日入港と共に船長中塚伸一氏を呼出し嚴戒を與へた

今曉奥町のボヤ

二十八日午前一時三十五分ごろ大連奥町三六苦力王中有(四七)かたより出火、約半坪を燒失したのみ大事に至らず消し止めたが、損害は約五圓、原因は王が妻が便所へ行つた際擱つた燐寸の燃え殘りからである

電車の追突

廿八日午前八時四十分ごろ小崗子行一號系電車運轉手李爾(三)が市內惠比須町停留所において停車中、後方より進行して來た沙河口行四號系李春林(二四)の運轉する電車が勾配のためブレーキきかず停車中の一號電車後部に追突しヘッドライト救助器等を破損せるが乘客には何等被害なかつた

沙河口市場賣出

沙河口公設市場では來月一日より現金賣制を實施することになり、廿六日より今月一ぱい在來商品の一割値引大賣出を爲してゐるが、每日平常賣上の約三倍に當る三千餘圓の賣行があり盛況を呈してゐる

積極的經濟政策を滿洲に實施せられ度し

全滿商工會議所聯合會から首相始め要路に懇請

既報、滿洲商議聯合會ではさきに滿洲に於ける商工業發達のため特に積極的助長策を採ることを政府要路に希望する旨を決議し、之が起草方をハルビン商議に一任したが、今回同商議では左の如き陳情書を成案二十五日附を以つて濱口首相を始め大藏、商工、外務、拓務、遞信の各大臣宛に發送し、同時に關東長官、滿鐵總裁宛に提出し考慮方を要望するところあつた

（前略）今や滿洲經濟界に於ける現狀を窺ふに其の國際競爭市場たるの色彩いよいよ濃厚化し諸外國人は豐富なる資力及有力なる施設並に背景と相俟つて或は企業に或は貿易に其の活躍發展實に顯著なるものあるに拘らず邦人の一般的現狀は漸く萎微衰退の兆あり、是が原因する處種々ありと云へども今日にして積極的振興策を講ずるにあらずんば遂に救ふべからざるの危機に到達するや瞭かなり（中略）政府の緊縮政策の實行は吾人の共鳴する所なりと雖も滿洲は前述の如く內地と事情を異にし、若し消極的政策を以て臨むに至らんか邦人多年拮据經營の經濟的地盤は忽ちにして根底より崩壞せられ（中略）依つて政府に於かれては滿鐵諸事業の合理的積極化、民間企業貿易振興に對する積極的特殊の援助保護之に伴ふ低利資金の融通及び輸出爲替保證制度の實施、並に滿洲金融制度機關改善万策の促進等々須らく積極緊張の方針を以つて國家百年の大計を期されんことを（中略）茲に在滿邦人商工業發達のため特に積極的助長政策を採られんことを當局に對し本聯合會の決議を以て及要請す

開原地方の農作物　本年は收穫減

開原地方本年度農作物の收穫は十一月上旬迄に殆ど終了したが其收量は淸河及び開原河流域中には水害のため收穫皆無の土地あり高地にありては二割五分內外の增收を見たが結局平年作には困難である尙當地原種圃の調査によれば各作物別收量左の如し

作物		收量
改良大豆	平年作に比し	七分增收
在來大豆	同	六分減收
高粱	同	三分增收
粟	同	二割三分減收
陸稻	同	二分八厘增收
水稻	同	三割減收
棉子	同	二割三分減收

簡保激增　十一月上半期に廿七萬圓增加

十一月上半月間に於ける滿洲管內簡易保險新契約は二千五百七十五件此金額三十八萬五千六百卅二圓で前月同期に比し千九百五十五件二十七萬八千九百九十七圓の增加を示してゐるが右は過般の節約デーに際し各局一齊に活動した結果である因に四月以降累計八十一萬四千百二十三件金額二百四十五萬五千六百三十九圓である。

哈大洋大慘落　時局不安に怖え

【ハルビン特電二十八日發】時局不安で哈大洋は百八十元に慘落した

釘付商狀の鈔票相場

地場鈔票は金解禁期日接迫するに從ひ上海標金の動きにも無關心に釘付商狀を呈しつゝあることは既報の如くであるが、當月中旬來の當限鈔票相場の高低を日別に示せば左の如し

當限前場相場

日	高値	安値	差
十一日	八二、七〇	八二、五〇	二十錢
十二日	八二、五〇	八二、三〇	二十錢
十三日	八一、八五	八一、五五	三十錢
十四日	八一、九〇	八一、四五	四十五錢
十五日	八二、六五	八二、三〇	三十五錢
十六日	八二、四〇	八二、一〇	三十錢
十八日	八二、六〇	八二、二五	三十五錢
十九日	八二、五五	八二、三五	二十錢
二十日	八二、五〇	八二、四〇	十錢
廿一日	八二、三〇	八二、一〇	二十錢
廿二日	八二、四〇	八二、二五	十五錢
廿五日	八二、三五	八二、二〇	十五錢
廿六日	八二、三〇	八二、二〇	十錢
廿七日	八二、四〇	八一、八五	五十五錢

自信のなさ過ぎる銀行家

金解禁後の我國財界について（下）

◇…紐育某銀行支店員語る…◇

【東京特電二十八日發】然るに日本の事業界は解禁後輸入品に壓迫されて不振を免れないものもある事は明かであるから大なる資金の需要は到底起らぬ、故に必然的に民間有力銀行の手許遊資は海外に投資される事となる譯である、日本の政府及財界は資金の海外流出を非常に恐れるが貿易上の支拂勘定に屬する海外拂の大なる事は恐ろしいが民間銀行會社の海外投資は一向恐れるには及ばない、それは何時かは歸つて來るものであるからである、日本の銀行中には手許資金の豐富なる事を誇る妙な癖がある、米國の銀行の多くは手許資金が少ない、何れも有利に運用してゐるからである、日本の銀行は手許資金を潤澤にして置かぬと萬一取付けられた時に困ると云ふのである、內容のよい銀行に取付けの起る道理はない、日本の銀行家は一體に自信力がなく取付けを恐れて餘りにビク付過ぎるやうである、日本の銀行はよろしく金本位復歸と同時に資金の運用を企つるべきである、それは兎に角として日本の銀行が手許遊資を海外に放資するやうになれば勢ひ日銀民間預金は減少しこれと共に兌換券の收縮を來す、從つて金利の騰貴となる譯であるから不景氣は免れないが米國の生糸需要も再び舊の如くとなれば生糸の輸出も增加するに至り且つ日本の事業界も時を經れば恢復するに相違ないからそう永く不景氣も續くまいと思ふ

中央市場改善の具體案成る

市の委託販賣制と市營單一制の二案

懸案の大連中央市場改善問題は愈々具體案が樹立されたがその內容は既報の如く卸賣人營業を賠償する完全なる市營單一制と、荷主より希望ありたるものに限り市が委託販賣を爲す兩案だと確聞するが兩案の內何れを第一案とするかは可なり論議がある模樣である、然し後案は卸組人組合の猛烈な反對に會ひ紛擾を來す虞顯著なるものがあるので結局前案を推すものと觀られて居り今二十八日午後四時より開く市場視察議員の協議會に於て右の兩案を諮り意見を徵したる上社會常設委員會に附議されるであらう、此の問題に就き大いに注目すべきことは聯合組合より派遣され目下駐連中の高橋技手が組合の意見として會社單一制には絕對反對なるも市營單一制には反對に非ざる旨明に言明してゐることである

奥地直送を出願

紀州柑橘輸出組合指定商が　市場改善の牽制策か

紀州柑橘輸出聯合組合指定商人十名は奥地行仲繼蜜柑を大連中央市場に上場せず奥地へ直接配給したいと二十八日市役所に願出た、申出の趣旨は直送すれば一日早く着荷し品いたみが減少するのみならず、上場手數料を省き得るといふ點にある

然し右の申出は懸案の市場改善の具體案が出來たので之に對する牽制策と見られてゐる、その理由は奥地直送を實行することになれば暗闇相場を現出するので聯合組合では奥地に指定商人を多數置きたいとの意向を探つてゐるので當地指定商人は販路を奪はれることゝなり、又當地商人の中でも一部の者は奥地に直接の顧客を持たぬので顧客を持つ者と着荷が一日後れるため競爭困難に立至る事情があるのに因る、かくて右の希望は實現されざるものと觀られてゐるが市當局では研究する旨答ふるところがあつた

金利は騰るまい　就職難は深刻化

保善社入りは年明け　石橋正隆銀行總務部長語る

安田保善社と業務打合せのため上京中であつた正隆銀行總務部長石橋光治氏は高橋常務より一足先に二十六日二十時半の列車で歸連したが氏は語る

保善社としても正隆を如何に盛りたてるかに就いては非常に意を用ひてをり今回も業務刷新につき種々打合せをしたが詳細な點は高橋常務から土產話として聞いてもらひたい、私の保善社復歸は目下特產出廻期であり金解禁を目前に控へてゐることであるから、年も明け金融界が閑散になつてから、引き揚げようと思つてゐる、從つて職制改革も其後になるであらう、內地財界は朝野を擧げて金解禁を目標に緊縮節約の一點張りで進んでゐる、解禁後の影響については種々觀測が下されてゐるが結局日銀の通貨政策及び金利政策と國際貸借如何によつて今後の財界を支配するものと思ふ、金利政策に就ては井上藏相も極力低金利政策を採ることを漏してをり、解禁後といへど金利昂騰も起るまいと思ふ、殊に東西有力銀行が海外投資の防止、公債の處分防止策の申合せをしたことに對し政府は勿論一般財界に非常な好感を與へてゐる、しかし解禁による財界の變動をより少く減するには今後產業方面にしても操短又は新規事業の繰延べ、これに伴ふ經費の節約で就職の如きも新規採用は殆んどなく、次から次へ出て來る學校出の求職者も空しく徒食すると言ふ有樣で、消極的の失業問題はより以上深刻とならう、こういふ點から今後資本の集注、產業の合理化が一層喧ましくなる譯だ

無事納會

廿八日限錢鈔　受渡三百五十五萬圓

大連取引所錢鈔市場における十一月二十八日限受渡しは、一時取組高二千五百萬圓以上に達し相當に懸念されてゐたことは既報の如くであるが、二十七日前場を以て無事納會を告げた、受渡し總數三百五十五萬圓、之を十三日限に比較すると二百二十七萬圓の激增である、主なる手口を示せば左の如し（單位千圓）

△賣方　德泰一六七〇、儲蓄七八〇、山本一〇七〇

△買方　東順盛五〇、泰記八〇、雙聚福六〇、山左銀號七〇、福順一三〇、廣盛泰四〇、益發合四〇、義成信九〇、協源祀四〇、裕昌祥一九〇、三井七四〇、三菱一八七〇

滿鐵東鐵連絡　新換算率

南滿東支兩鐵道間貨物連絡運輸に適用する十二月中の新換算率左の如し

△滿鐵貨物に對する

イ、東支鐵道收得額を當社に於て收入する場合、換算率百金留＝百五圓三十錢

ロ、滿鐵收得額を東鐵に於て收得する場合、換算率百圓＝九十四留九十七哥

△東鐵貨物に對する

イ、東鐵收得額を當社に於て收入する場合、換算率百金留＝百五圓三十錢

ロ、滿鐵收得額を東鐵に於て收入する場合、換算率百圓＝九十四留九十七哥

經濟漫畫

滿身創痍といふ圖、どつちを向いても命が危ない、發達せる資本主義國家の犧牲者よ「僅かに殘された生命の糸をたぐりながら……」と活辯もどきで小賣商の將來を眺めよう。

經濟雜叢

滿洲大豆の進むべき道（四）

歐洲諸國に於ける家畜飼料の需給狀態

イ、家畜の槪數（單位萬頭）

國	牛	羊	豚
獨逸	一、八〇〇	四〇〇	二、三〇〇
佛國	一、五〇〇	一、〇〇〇	五〇〇
英國	八〇〇	二、三〇〇	三〇〇
白國	一〇〇	―	一〇〇
丁抹	二〇〇	―	四〇〇
和蘭	二〇〇	―	二〇〇
瑞典	二〇〇	―	―
ルーマニア	四〇〇	一、三〇〇	―
芬蘭	一〇〇	一五〇	―
ハンガリ	一〇〇	一五〇	―
セルビア	三〇〇	八〇〇	―
ノルウエ	一〇〇	一五〇	―
伊太利	六〇〇	―	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]
參考			
米國	三、五〇〇	四〇〇	六、〇〇〇
日本	一五〇	―	七〇
朝鮮	一五〇	―	―
臺灣	―	―	一五〇

ロ、商品としての飼料　歐洲に於て以上の家畜飼養に要する飼料にして實際的に取引せらるゝものは小麥屑、玉蜀黍、大麥、燕麥、穀類屑、米糠及油粕類にして其需要量一千六七百萬噸である、而して一九二八年輸入せられたる穀粒左の如し（單位千噸）

	英國	獨乙	丁抹	和蘭	瑞典
小麥	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
ライ麥	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大麥	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
玉蜀黍	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
燕麥	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

右の內小麥の大部分を除きたるものは殆ど全部飼料に需要せられ此外單に粕類及穀屑のみの消費狀態を見れば左表の如し（單位萬噸）

	京料輸入	輸入粕	穀屑	再輸出	國內消費
英國	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
獨逸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
和蘭	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
丁抹	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
瑞典	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

即ち油粕のみの消費約六二二萬噸にして飼料全消費額の三九％以上を占め、而して豆粕の需要は前述の如く一五〇萬英噸にして需要油粕中の二四％に相當する現狀である就中ドイツに於ける粕消費の狀況を觀れば

年	噸
一九一三年	一、六〇五、〇〇〇
一九二五年	九六二、〇〇〇
一九二六年	一、〇八八、〇〇〇
一九二七年	一、四七九、〇〇〇
一九二八年	一、六九〇、〇〇〇

にして戰前の消費を凌駕するに到り、其產業復興の如何に活潑なるかを窺知するに足る、而して一九二八年のドイツ消費粕の內別を示せば

種類	噸
大豆粕	五六〇、〇〇〇
落花生粕	三九八、〇〇〇
亞麻仁粕	二八二、〇〇〇
椰子粕	二六六、〇〇〇
棕梠粕	八三、〇〇〇
棉實粕	四〇、〇〇〇
日耳種粕	六一、〇〇〇
其他の粕	[illegible]
計	一、六九〇、〇〇〇

右の數字により大豆粕需要の旺盛を知るを得るであらう

黄塵

◇…官吏及滿鐵社員は減俸の憂目も免れ更にボーナスも變らず市中商事會社も前年と同率を支給すると言ふ、緊縮時代ながらサラリーマンだけは當り年だ。

◇…サテそのボーナスは何處へ行く、國債償還の献金へか、銀行預金乃至郵便貯金へか。

◇…亦は大賣出しの商店街や飾り立てたショウインドウに戸惑ひするか但しは赤い灯青い灯の渦卷の中に卷込まれるか。

◇…その行方こそ緊縮節約のバロメーター。

◇…出來ることならなるべくボーナスだけは解禁しないことに限る。

朝鮮の米と粟　輸移出入高　十一月中旬

【京城廿七日發電】朝鮮總督府發表＝十一月中旬に於ける米及粟の輸移出入高左の如し（玄米換算石）

		本年	前年
▲米移輸出高	中旬	三四、九四〇	[illegible]
	累計	五七二、一五九	[illegible]
▲米移輸入高	中旬	一六、九一六	[illegible]
	累計	三一、七九六	[illegible]
▲粟移輸入高	中旬	三一、一九八	[illegible]
	累計	三四、四〇三	[illegible]

手形交換高（廿八日）

	枚數	金額
金	一、〇九九枚	[illegible]
銀	三三三枚	[illegible]

市況

特產　材料薄で各品平調

差したる新材料もなく各品共に平調大引であつた

◇定期前場（銀建）　▲大豆（强調）單位厘　▲豆粕（强調）單位厘　▲豆油（保合）單位錢　▲高粱（軟調）單位厘　[illegible]

◇現物前場（銀建）　混保大豆（袋込）、普通大豆、豆粕、豆油、高粱、包米　[illegible]

定期喰合高（二十八日幌入）（前日對比較△印減）

品		
大豆	六四四一車	三四車
高粱	三三八二車	三二車
豆粕	四五〇八千枚	二〇千枚
豆油	二三六〇百箱	五五百箱

錢鈔　銀塊安乍ら鈔票保合

今朝の海外材料としての倫敦銀塊は廿二片十六分の九と（八分の一安）先物は廿二片四分の三と（十六分の一安）紐育は四十九仙八分の七と（四分の一安）[illegible] 大洋は百一圓四十錢、日米は四十八弗 [illegible] 海標金は四百三十二兩四と寄り三十一兩九と止め當市の銀價は保合で大引

◇定期取引（單位錢）　◇現物取引（單位錢）　[illegible]

商品　前場

一、麻袋（軟調）產地青十六分の十一、爲替四分の一高、爲替四分の三高と弱保合ひを入れ銀票又軟弱にて地場氣迷ひながら乘替物相當あり場面活況を呈した、引際氣配は現三十三錢、十一月三十二錢八厘、十二月三十二錢二厘、一月三十一錢、二月三十錢七厘、三月三十錢五厘見當

株

今朝內地主力株は東西兩市場共ボンヤリを入れたので當市も依然氣乘薄の場面を呈し諸株共二三十錢安を示した▲殊に定期は賣買双方共呼聲なく全部バイカイ商內で近來にない閑散振りである▲內地も金解禁の聲明はもとより覺悟してゐたことであるから相場も平靜を保つてゐたが政界が絕へず不快な空氣を漂はしてゐるので市場の人氣を曇らせてゐるやうである▲本來ならば歲末も近づくしソロソロ恒例の餅搗相場時代に入る譯であるが昨今の如くとの餅もつけないことになる▲相場に動きがなくては全くほんとに諸事沈靜の折柄株界だけはせめても元氣を出して人氣の作興をやつて欲しいものである

豆

頃日來差したる材料もなく各品共に平凡に推移せる所今朝銀市の保合商狀を眺め又依然差したる新材料も現はれず各品共に平調大引であつた▲聞く支那問題も險惡となり支那人等はハルビンも危險に落入りいつ占領されるやも知れずとの流言に奧地の特產商は現金に換へる爲に投げ賣りを行つてゐるさうだ▲從つて奧地の相場は低落の一路を辿るであらうから當地の各品も次第に軟弱商狀に推移するものと觀測されてゐる▲現物大豆は油房五十車、建成、廣源泰、廣發、裕發祥、興記で三十車▲豆粕は共益社、三菱、萬合公での手合はせ▲今日の油房の生產高は七萬五千枚で操業工場は二十八軒であつた

銀

海外材料としての銀塊は倫敦八分の一安、紐育四分の一安、孟買四分の一安と一齊に安値を入れ▲爲替は日米同事、米日十六分の一高と安材料を報じたが▲上海標金は四百三十二兩四と寄り三十兩九と低落したので地場鈔票は保合で大引▲上海よりの情報に依れば月末決濟接近し日米高と爲替は現物二千八百本より無く▲此の他は現物剛高の漲り建値により決濟することゝなる爲賣方狼狽猛烈に買戾す▲又銀塊は之等の策動に押模樣で大勢は目前標金倘高見込みであると觀されてゐた二十八日限受渡しも今日無事納會を告げた

株式　內地株冴へず　市況沈靜

今朝北濱諸株は三十錢安、新東短期の寄四十錢安と內地はボンヤリを報じて地場も氣乘らず定期は保合値は諸株共一二十錢安を示した現物の大新は九十錢安、新東二十錢安、鐘新八十錢安、出來高定期五十枚、現物三百二十枚

◇定期前場　◇後場（保合）　◇現物（甲部）　◇現物（乙部）　◇爲替及受渡日步　[illegible]

株式出來高（廿八日）　定期 三〇〇枚　現物 五〇〇枚　合計 八〇〇枚

上海爲替情報

【上海二十八日發】材料高に賣方の崩れありたる爲正金銀行、滙豐銀行等爲替よく賣り、三井は始め圓を買ひ、跡賣る、廣東筋生大爲替好く買ひ、標金恒興六千本買ひ引前大手利喰ひ賣る

上海標金　寄付 四三二兩八　高値 四三二兩四　安値 四三〇兩九　引値 四三一兩二

奥地市況（廿八日前場）

特產　▲大豆　▲高粱　▲小麥　（開原、長春、公主嶺、哈爾賓）[illegible]

錢鈔　[illegible]

爲替相場（廿八日正午）

正金（銀勘定）・正金（金勘定）・鮮銀（金勘定）[illegible]

市場電報（廿八日）

銀塊及爲替　倫敦銀塊、同先物、紐育銀塊、孟買銀塊、英米爲替、米日爲替、米支爲替 [illegible]

棉花　●米棉（換算三十錢安）現物、十二月、一月、三月、五月、六月　●印棉　ベンゴール、ヴローチ、オーラム [illegible]

綿糸布（氣迷）米棉二三十錢安に大阪三品各限小一圓方の低落を示し銀票冴へず氣乘薄閑散裡に散會した

大阪株式・東京株式・大阪期米・東京期米・大阪綿糸・大阪棉花・神戶豆粕・橫濱生糸・印度麻袋 [illegible]

平安異香 (183)

葉多默太郎作　中一彌畫

戀の行方(一〇)

「あゝ親方さん——」

邦貞は上半身を起して投出してゐた脚を抱きこんだ。

陣十郎は默つてその横に尻を下して胡座になる。チラと流し目に邦貞を見たやうだつたが物は云はなかつた。むつつりとして海を見てゐる。

「夕風ですね、ちつとも風がない」

「うむ——」

氣のない返辭である。

何か考へてゐるらしいので邦貞も默つてしまつた。が、口を利かずにゐると、重苦しい壓迫が感じられてたまらない。

この陣十郎といふ人は、深山の古池のやうな人だ——と邦貞は思つた。

音もなく淀んでゐながら、底の知れない不氣味が感ぜられる深山の古池——

邦貞は僅に後ろへにぢつて、背へ手をつきながら斜後ろから陣十郎を見た。

かうしてまぢ／＼陣十郎の顔を見るのは始めてだが、如何にも兇惡な相貌だ。青い顎が獰猛である。眉間に縱に深く刻まれた二本の皺が、ぞつとするやうな慘忍さを見せてゐる。海のある一點に止まつてゐる眼が兇暴だ。が、その眼に一抹の寂愁の色が湛へられてゐるのはどうしたわけか——

畢竟この人にも、人間の悲しみがあるのだらう。この兇暴な人も人間の寂愁から免れるわけにはゆかないのだらう——邦貞はさう思つた。思ふと、何か言葉をかけてやりたい氣がして、

「あの、親方さん——」

積顔を覗きこむと、同時に陣十郎が振返つて、

「おい、邦貞」

と云つた。

「は——」

邦貞は口に含んだ言葉を呑込んで陣十郎の言葉を待つた。

「お前は、何時から家を出てるんだ」

「さうですね、もう五十日ばかりになります」

「さうか、五十日——梅雨のかゝりの時分だつたらうな。それでなにか、お前の家では皆な達者か」

「えゝ、別に變りはなかつたです が、あなたは父を御存じですか」

「あゝ、二三年前に、一度お邸へ召されたことがある。お關の方はいつまでも美しいだらうな。若くて美しい——お前の母ならもう四十は越えてゐる筈だが、あのときにも三十足らずにしか見えなかつた」

「……………」

「兄弟はねエやうだな」

「ありません。私も今の母の子ではないのですから……」

「お前が幾つの時に、お關の方の輿入があつたのだい」お關の方が後添どすると」

「十年になります。十二の時でしたから」

「十年だね、さうだらうな——」

いろ／＼と訊くものゝ、何も彼も知つてゐて訊いてゐるやうな樣子なのが變に不氣味で、陣十郎といふ人には警戒してゐねばならぬといつたおつねの言葉がふと思ひ出されるのだつた。

「里方の六波羅へはよくゆくか——いやお前ではない、お關の方の話だが」

「滅多にゆかないやうです。氣儘な人ですから、行つても面白くないと云つて」

「しかし、なんだらうな、お前は可愛いがられたらう、母一人子一人だから——それにお前、お前の十歳ばかりの時からだといやあ可愛いさかりだ、抱いて寢たりなんかせられたらうな」

邦貞は赧くなつた。

「私は小さい時から妙に依怙地で母にはちつとも親まなかつたやうです」

「さうか、それでは——いや」

云ひ澁つて口を噤んだが、すぐ追駈るやうにいふのだつた。

「世間で、こんな噂をしてゐるものがある。お關の方の腋の下に、大きな奇妙な痣がある——何處かでそんな話を聞いたんだが……」

好評を博し 大盛況 常磐津演奏會

大連常磐津操會主催本社後援の常磐津演奏會は素晴らしい前景氣を以て迎へられ廿七日午後六時から歌舞伎座に於て開催されたが、果然各方面の愛好者を網羅し定刻既に滿員となり非常な盛況裡に十一時すぎ散會した

ラヂオ放送 講演と音樂の夕

一昨夜協和會館に於て「講演と音樂の夕」を開催し非常の盛況裡に滿場の聽取者を陶醉せしめたる音樂の三天才オペラの伊庭孝氏バリトンの内田榮一氏ピアノの篠田光吉氏は特に滿洲の同好者の爲に多忙の一夕を割き二十八日午後七時より大連放送局に於て講演と音樂の放送をなす由大連のファンは勿論沿線の同好者に多大の感興を與ふるであらう

梅村蓉子が 奉天に立寄るか

目下大連に滯在中の日活人氣女優梅村蓉子は歸國の途次奉天に立寄ることゝなつてゐるとの事で十二月上旬赴奉し二日間奉天館に於てファンに對し挨拶をなすとの噂が傳へられて居る

囀話

ゆふべの常磐津演奏會は斷然秋の和樂演奏會をヒットした▲最後の舞踊で細葉と壽々若の裾模樣を見て色違ひのお揃ひだネと苦勞人が妙なところに感心する▲大日活もいよ／＼今夜位から開館しさうであるが浪速館時代の新井孝童氏が更始一新して瀬木龍介と改名▲帝國館は「今年竹」の新時代の身になつて二階の綺麗どこがすゝり泣き▲所で來週の「砂繪呪縛」大會であるが今週初日に出したプロに曰く「次週は恨めしい阪妻の「砂繪呪縛」」▲初日の事とて未校正のまゝ出したプロで懷しいの誤りとの事ではあるが▲今まで斷然トツプを切つて居た帝國館にとつてはたしかに恨めしい「大會物」には違ひない

映畫と演藝

操、勝藏兩師の 常磐津二評

(評の一)◆何しろ家元松尾太夫の向ふを張つて一派を立てんとした操太夫と菊五郎門下の俊才勝藏の兩師が肩を並べし上、大連一流藝妓の出演といふので二十七日夜の歌舞伎座は、大連藝界の人々を以て埋められた感があつた。筆者も此等の聽衆同樣多大の期待を持つて拜聽したが、期待が大きかつた所爲か、勝藏の絃の外は——少し酷評かは知らぬが——やゝ常外れの感なきを得なかつた。

◆マヅ一番目の「乘合船」は小新の唄に一葉の絃ひかり、お里も惡くはないが清元にオチさうな危な氣あり「將門」は操夫人正榮サンに唄絃とも喰はれ「戀け曲物」からして感心せず、聽かせどころの「嵯峨や」も「ほの／＼と」が陰氣で遺憾ながら成功とは言へぬ。

◆處が「式三番叟」が操、勝藏兩師によつて演ぜらるゝに及んで流石は／＼はと嘆賞これを久ふした。操太夫の「千早振」のあたりをワキが目をぎよろつけさせ不格構なるに比し、三昧境に入つての語りぐち惡からう筈なく、勝藏が鮨而立に及ばずして神技に近きバチさばき全く恐れ入つた。文字兵衛が二の絃をハヂクと廣い歌舞伎の場外に聽えると稱せられるが、勝藏に於てもこれを實證し得た。たゞ「凡千年の鶴は」から「萬歳樂」に移る際ヨーと掛聲かけたはヤハリ文字兵衛通りウンの方が重々しくはないか。

◆小花、一葉の「お園六三」注文は多々あるが大連の藝妓として上の出來であらう。せん裙が操夫妻の肝煎藤田夫人に氣兼ねしながらワキでタテを彈いた感ありしも可愛い「松島」は立方が格認ちの舊めか、勝藏、正榮とも稍ナゲ氣分、唄また氣のりせず、遂に最後「面白や」が行方不明になつたなぞトンだ餘興だつた。

◆「生醉」はとし松の十八番だとかだが洞に比し唄はえず、殊にリヨの節あらず、小新上出來なるもかすめ過ぎるが玉に瑕。操、勝藏の「お染久松」は當夜の白眉全體の意氣合つて躍如たるものあり、操の喜兵衛、美太夫の善六手に入つたもの。カゲの南無阿彌陀佛も佳。たゞ美春太夫の久松が女に近く操太夫のお染頗る語り別けに苦心の樣樣であつた、最後の「三保の松」は聽かざりしが故に省略する(A記者)

(評の二) 昨夜歌舞伎座に常磐津を聽く

◆番組は豫定より一部順序が變更され「乘合船惠方萬歳」から始つたが、一光に代つて一葉が立を彈いたのが聽衆には案外だつたらう、立唄の小新は操太夫に就いてから俄然腕も立つて著しい進境を示して來た、いさゝか調子に乘り過ぎたのを巧みに一葉がとつてとぢらず良い處を見せた、この一葉は大檢の温習會で見出されて以來目覺しい進出振である。

◆「忍夜戀曲者」は正榮の三味線、「道行蝶吹雪」は小花と一葉の唄に節子、せんの三味線で前の二つよりは一般に受けたやうだつた。

◆「式三番叟」は勝藏の演し物として期待された當夜の呼び物の一つ。顔觸れから言つても操太夫美太夫に勝藏、正榮を揃へて申分のないところ。勝藏は立派な構へとおし出ですつかり聽衆は呑まれて終つた、そしてその掛け聲に引き締められて流石はとの賞讚に埋つた、長唄畑に育つた大檢の連中と違つてその撥捌きがハツキリと常磐津であることゝ聽衆に教へた。

◆「岸漣漪常磐松島」は師匠連の地で花柳の師匠細壽が淡月の喜久江を相手に踊りを見せたのではあるが、私には解らないが、そして最初から地が踊のおつき合ひであつたらうが、あんな風に踊つて終ふのだつたら強ひて師匠の手を煩はさなくてよかつたらう、喜久江は僅かな稽古でよく踊つた、興味本位から言へば喜久江の代りに一葉に相手をさせたらその結果は更に面白味があつたらう。

◆「積戀雪關扉」は前半正榮の三味線でとし松の獨吟、後半は正榮せんの三味線に小新、とし松の唄、調子を高めすぎて大分苦しかつたやうだが、矢張り定評のある顔觸れだけに大檢連中の演し物では聽きものだつた。

◆「初戀千草の濡事」は期待された操太夫の演し物だけに一般の聽衆から芝居を見るやうだと文句なしに陶醉せしめた、美太夫は操太夫のワキ語りとして既に定評のある人、美春太夫のしつかりした語口は流石に操太夫の仕込みだけ立派な出來榮え、なんまいだは始めが小しん、後がとし松。

◆「三保松富士晨明」は兩床かけ合ひで賑やかに花柳の名取り二人に踊つて華やかな演し物、千禮の一失で持物を忘れて舞臺の白い布は眼に障つた、細葉は役柄も手傳つて壽々若より歩がよかつた、振付はいさゝか上品すぎた嫌ひがあつた、そのためにいゝ振りがかたまつて舞臺が少さくなつたのは殘念——妄評多謝(B記者)

支那側の大讓歩により 露支交渉開始に決定

支那、東鐵の原狀回復を承認 會議地は哈府で商議

【モスクワ二十七日發電】露支問題は今や支那側の讓歩的態度に依り解決の途上にあり、奉露間の交渉に關する打ち合せは十一月十九日より開始されてゐたが、本日漸く最後の階段に到達した其內容は張學良氏は東鐵の原狀回復、正副管理局長の復職等勞農側提出の先決條件を承認した依つて兩當局は正式會議の日取及び會議地を決定するため先づハバロウスクで商議する筈で勞農代表はシモノフスキー氏の任命を見る事となつてゐる

聯盟の干渉を要求 支那代表事務總長訪問

【ジュネーヴ二十七日發電】國際聯盟支那事務局長呉學任代表は本日聯盟事務總長ドラモンド氏を訪問し最近滿洲にて勞農軍のため惹起された形勢につき聯盟に詳細報告した、呉氏の語る處に依ると支那は先づケロッグ不戰條約調印國に交渉を開始し而して三日中に公式に聯盟に露支葛藤につき干渉する事を要求する事となるであらうと、[illegible]ものであらう又聯盟はロシアも亦聯盟に參加してゐる爲め從米[illegible]と云はれてゐる

佛國にも干渉要求

【ジュネーヴ二十七日發電】[illegible]るにつき佛外務省が支那の抗議を正式承認し然るべき行動に出ん事を要求した尚高管氏は此際列國共同行動の必要を反覆強調した

支那は當初より交戰の意思無し 奉天支那側要人談

【奉天特電二十八日發】[illegible]支那は當初より不戰條約に基き和平交渉解決の方針であつて軍兵を國境に出すのは單に國境における警備に過ぎぬ、然るに露國は今回不戰條約を無視し西南問題の勃發に乘じて正式に開戰し砲火を擧げ支那領土に侵入し多數の兵卒を失つたことは實に遺憾に堪へぬ興安嶺以北は警備上不利なるため興安嶺一帶で持久戰をなし一方露國の今回の行動に關する處置に就ては不戰條約提出國に對し其責任を問ふ方針である

完成した旅順の新埠頭

東北各界團體 通電內容

【奉天特電二十八日發】東三省救國會、商工聯合會、教育聯合會、東三省全民代表者は米、獨兩大統領、日本、英國、佛國首相、國際聯盟事務總長、北平外交團にあて勞農露國は赤化宣傳をなし中國の治安を害する事四ヶ月に亘り更に國土を侵略して居るから國際調査委員會を組織して眞相の調査を賴む旨長文の電報を二十六日發した

軍縮兩全權 御暇乞言上 皇太后陛下に

【東京二十八日發電】若槻財部兩全權は廿八日午前十時半青山東御所に參內皇太后陛下に拜謁仰せつけられ御暇乞ひを言上した

三萬名の蒙古軍編成 邊防充實の爲

【奉天特電二十八日發】張學良氏は今回邊防軍增援のため三萬の蒙古軍を編成し國境に出動せしめる事になり目下準備中であるがその軍資、器等は司令長官公署より支出する事になつてゐると

東鐵赤系露人全部馘首

【ハルビン廿八日發電】東鐵從業員中赤系露人の馘首は七月末を以て兎も角一段落を告げ其後沈靜に歸して居たが今回勞農側が積極行動を開始するや去る廿六日全線に亘り右赤系露人從業員の馘首命令を發した而して南部線寛城子驛に於てはこの命令により十三名を馘首したゝめ目下輸送繁忙期に際し手不足を生じ困惑してゐると

支那軍の敗殘兵 雪崩を打ち後退 西部線住民陸續避難

【ハルビン廿七日發電】廿七日勞農軍は引續き東部國境より稜稜を、松花江よりハルビンを、黑河より齊々哈爾を脅かすと言ふので萬福麟氏其他要人の家族は既に齊々哈爾より避難し黑河の邦人十五名も廿六日齊々哈爾に避難して來た、尚支那敗殘兵は興安嶺方面より雪崩を打つて後退しつゝあるので東鐵西部線の住民は掠奪を恐れ引續きハルビンに避難しつゝあり其數は既に七千人を算し又ハルビンのロシア人の南下するもの引もきらぬ旅券下附願のためロシア人は吉林交渉局に殺到して居る一方此儘推移せば露支商人の倒産者續出するだらうと

支那商の倒産救濟 奉天四銀行融資

【奉天特電二十八日發】省城の商民は屢報の如く金融逼迫により商況不振に陷り倒産者續出の狀態であつたが愈々此等商民救濟の爲官銀號、交通、邊業、中國の四行より現洋百萬元を貸出す事になり商工總會が貸借仲介所を設立して手數料千分の一を徵收し保證仲介をなし二十六日より貸付を實行しつゝあるが、貸付方法は資本金二萬元以上の商民に對し最高現洋二百元、營業五千元を限度とし法人には資本金の二分の一を最高として借付期間は最長一ヶ月であると

文相のみを補充か 二三閣僚入替へか

內閣改造問題觀測

【東京廿七日發電】小橋文相の辭任による內閣改造問題は濱口首相が廿九日關西より歸京すると共に急轉直下的に進展するものと見られてゐるが、其際政府は如何なる態度に出るか即ち單なる後任文相の補充に止むるか或は之を機會に二、三閣僚の異動を行ふかは共に濱口首相の方針にある事で豫斷は許されないが閣內の意向を綜合するに結局首相としても單なる補充よりも一、二閣僚の入れ替へを行ひ陣容の立直しをするであらうと觀るもの多く

一、渡邊法相は司法部內の事情に疎く殊に今回の疑獄事件については反對黨に審理の內容筒拔けとなつて居るのは法相自身は知らぬ事多く從つて法相を文相に据え小山檢事總長を法相に据える

一、現內閣は僅か廿名足らずの本黨系のため二名の閣僚を出して居た事は優遇に過ぐ、よつて原修次郎、降旗元太郎兩氏の內一名を入れ單なる補充をなし改造についての內閣の危險を避けるを得策とす

一、本黨系とか憲政系とか區別するは不可である而して民政黨よりも後任を送らんとすれば田中隆三氏が最適任である同氏を商相に俵氏を文相にすべし

等の說が行はれて居る尚伊澤多喜男氏の入閣說あるも其實現は困難と觀られて居る

政局の動搖と樞府側の意見 定例會議における

【東京二十七日發電】樞府では二十七日午前宮中に定例參集し天皇陛下に拜謁後時局問題につき隔意なき意見の交換をなし更に倉富、平沼正副議長、二上書記官長等は散會後も居殘り種々意見を交換する處あつたが樞府側の時局に關する意嚮は大要左の如きものである

一、若槻全權の疑惑問題に關し法相の發したる聲明は豫審中の事件であり司法權獨立に對し多少干渉の憂ひあり其內容に至りては到底諸外國人をして納得せしめ得べきものと信ぜられず

二、小橋文相の辭意表明は表面道德的責任を感じたる結果と稱するも其實召喚の止むなきを見越しての事前の處置たる事瞭らかで內閣が事前の辭職によつて全般的の責任を回避せんとするは責任政治の本質でない

三、疑獄中勳章疑獄の如きは其影響も愼重考慮し政府は特殊の處置を採るべし

議會の解散は本年內に斷行か 政府與黨に意見擡頭

【東京特電二十八日發】政府は二十九日朝濱口首相の歸京を待ち電光石火的に文相の補充を決行し先づ當面の難關を切拔け陣容を完備した後愈々來るべき

議會作戰 を練る筈である即ち政府及び與黨幹部間の最高方針ともなつてゐた議會休會明後の解散斷行の方針は疑獄事件が豫想外に進展し疑獄關係者が政府筋にも及び政友會と共に此點に就ては國民の不信を買ふ結果となつたので自然右最高方針立直しの餘儀なきに至つたのであるが、與黨方面では左の如き急進論を唱へる者出で

その成行 注目されてゐる即ち小橋文相の辭職問題は政友會方面の瀆職事件と趣きを異にしてゐる、殊に文相が未だ召喚を見ざるに敢然文教の府長たる故を以て辭職する態度を採つた事は潔よしとせねばならぬ、此事情に就いては國民も充分諒解するの機會が來るであらうが、政府としては此際寧ろ積極的態度に出で進んで信を國民に問ふの意味において議會解散の機會を早め反對黨の

機先を制 すべしと云ふにあり、政府は一月二十日の議會休會明を待たず十二月末の議會開院式及び役員選擧直後解散を斷行すべしと唱へてゐる、此作戰は反對黨の最も怖れる處で此論は具體化し來るものと觀らる

小橋氏、後任に田中氏を推さん けふ辭表提出に際し

【東京二十八日發電】二十九日の定例閣議は午後一時より同日午前九時歸京の濱口首相出席の下に開會小橋文相より提出の辭表につき審議のはずなるが、閣議は直に文相の辭職を承認し後任決定の上即日首相參內執奏手續を終へ後任大臣親任式を奏請することゝなる模樣、而して小橋文相は當日の閣議には出席せず、濱口首相の歸京を待つて直に官邸に首相を訪ひ辭表を提出し、其際後任に田中隆三氏を推薦するはずである

司法省の責任を徹底的に糾彈す 政友代議士會申合せ

【東京廿七日發電】渡邊法相の聲明問題に關する政友會有志代議士會は廿七日午前十一時より本部に開會し島田、吉植、森、南鄕、內田、鳩山氏等其他各代議士百餘名出席し、若槻全權に關する法相の聲明書につき協議の結果左の聲明書を滿場一致可決し司法省の責任を徹底的に糾彈する事を申合せ午後三時散會した

聲明書

越後鐵道買收疑獄事件に關し法案提出當時の首相若槻禮次郎氏が買收案の事實上の提議者にして且つ疑獄の中心人物たる事は同氏自身の辯明的聲明により極めて明白なり然るに之に關し渡邊法相のなしたる聲明は事件の調査審理に關する檢事總長の報告の秘密制を裏切り且政府に都合良き部分のみを斷片的に採用したるものにして何等證明の價値なし、しかのみならず若槻氏が問題の書面關係以外に久須美氏との間に存する金圓授受の重大なる疑惑に對する調査の現狀等につき何等言及する處なきは世間の疑惑を一層深からしむるものにして渡邊法相は司法權獨立の本旨を濫り其非違を敢行せるの責任を免かれざるものと認む

不起訴 濱口江木兩相 廿七日決定す

【東京廿七日發電】伊勢電鐵社長熊澤一衞氏より收賄したと政友會三代議士の濱口首相、江木鐵相告發事件は東京地方裁判所檢事局で三回の取調と三重縣下にて捜査の結果兩大臣とも不起訴とする事に二十七日朝決定した

熊澤氏保釋

【東京廿七日發電】伊勢電鐵社長熊澤一衞氏は午後五時保釋出獄した

伊大使參內 歸國御挨拶言上

【東京二十八日發電】駐日イタリー大使アロイジ男は今月中旬歸國する事となつたので二十八日午前十一時半宮中に參內千種の間に於て天皇陛下に謁見御挨拶を言上し零時半より豐明殿に於て送別午餐

市政上の暗礁【二】

市長の口約 助役問題解決の際 中立議員が妥協斡旋

前回述ぶるが如く石本市長は助役收入役推薦の會を招集することが出來ず三派も監督官廳の警告を受くるに至つた(之に就ては相當異論の餘地があつた)かくて擁護派では三議員が立ち最後の解決策として中立、滿鐵兩派に對し暗中飛躍を試みた結果、中立三議員は助役問題解決を機會に市政を收拾し得る事を認め滿鐵擁護派を據介仲介斡旋したところ兩派とも進退に窮し且つ孰も革新派の策動を恐れてゐたので極めて穩便の間に妥協せしむることが出來た、即ち滿鐵派が市長推薦の助役、收入役を承認し且つ擁護派の恩田議員を議長に推することを條件として市長は十一月中に有給市長案を市會に提出することを內容とする紳士協約を以て兩派を握手せしめたもので所謂有給市長案とは之を指すのである、但し中立議員が市長の決意を直接どの程度迄に確めたかは頗るデリケートの問題で多少不用意の感がなかつたかと謂はれて居り、又某々議員等が市長に對し有給案提出による辭職の決意を確めたのに對し市長は有給案提出の相談を受けたことありとのみ答へ多く語ることを避けたのも事實らしい

◇

かくて口約により七月末の市會に於て恩田議長、瀨谷助役、近藤收入役の就任が可決されたが其時河內山議員は前記の如き口約內容を提げて市長に迫り其決意を訊したのに對し市長は自分は十一月といふやうに明かな期限を決定した覺えはない、然し全體どうするつもりかと質問でもあればそれは自分の意見を以て進退し、すべきだけの事をしたならば現職に戀々とする要はないと答へ引續き二三押問答あり、恩田議長が「要するに安協案なぞは知らぬといふ事ですね」との間に對し市長は「さうです」と答辯してゐる、遂に河內山議員は市會の現狀に慊らずとし議員を辭した、爾來石本市長は口約をよそに職權を改め鋭意市場や衞生作業等の改善につき調査研究を進めたが既に略成案を得たので明春四月の新年度を期し其政策を遂行せんと意氣込んでゐる

◇

此間反市長議員は參事會や委員會に於て殆ど感情的と思はれる迄に市政の監視を續けてきたが、遂に圓滿な市政運用の前提條件たる市長有給案解決に對する口火は切られた、即ち本月二十六日市長は口約當事者と會見し有給案を提出したいが後任市長の詮衡や市會の收拾方の具體案を明示せざれば市民のため遷延と責意に副ひ難しと一理ある戰術を以て先手を打ち反對派の虛を衝いた、之に對し反對派は口約の履行あるのみ、後事については成算あるも別個の問題であると突つ離して共に讓らず、有給案問題は如實に暗礁に乘上げ市會の紛糾はどの程度迄擴大せらるゝや豫想し難き情勢に立至つた

◇

最後に各派の現勢は如何、先づ擁護派に於ては足並揃はざること甚だしく內部的に危機を孕み、滿鐵派は中立派と協力し擁護派の一部と結ぶものと觀られ、一方革新派は以上兩派とも齊しく相容れ難い立場にあるので不即不離の態度を持續し兩派の抗爭を助長して自派を有利に導くことに努むるものと思はれる

官吏軍人の俸給 漸く十月分支給 奉天派の財政窮乏

【奉天二十八日發電】遼寧省に於ては對露抗爭問題以來財政極度に窮乏を告げ官吏軍人等の俸給は九月迄を拂つたのみであるため各方面に不平の聲起りつゝあり就中軍隊方面にては之がため脫走して匪賊の群に投ずるもの多く戰線にあるものは全く戰意を缺くといふ有樣になつたので當局は銳意金策の結果廿七日軍隊に對し漸く十月分の俸給全部を支拂つた、然し文官方面には去る二十日僅かに十月分のうち三割を支拂つたに過ぎず、殘餘に就ては何時支拂はれるか見當もつかぬが傳ふるところによれば民國十四年の豫算を基準として減俸を行ひ支給するといふので一般官吏は大恐慌を來してゐる

何應欽氏廣東へ出動

【上海廿八日發電】何應欽氏は今朝軍艦靖安に搭乘海軍總指揮陳紹寬氏の率ゆる第二艦隊を引具して廣東へ向つた

爲替小堅し

【大阪廿八日發電】外國爲替市場は米日高に正金は引續き買向ひしため小堅く人氣は落着き氣味なるも相變らず買氣は弗々あり商內は香港買正金賣で對英二志十六分の一にて近物に五萬磅の出合ひあつた

市長問題で 市會またも紛糾 今の處協調見込無し

大連市會の紛糾は愈々火蓋を切られ目下協調の見込み全然立たず即ち中立及び滿鐵兩派に於ては白紙狀態にあるものと見られて居り

後任市長 問題に就ては市長の申出の如き要求を容れるものとは思はれぬので市長は最後迄有給案を提出せざるべしと觀られる、之に對し中立派では來月早々聲明書を發表すると共に市會を開會して市長不信任案を突つけると言つてゐる、然し市長頑張れば

決議文も 有耶無耶に葬られると共に目下擁護派に於ても結束亂れて居り革新派に於ても兩派の抗爭を利用して自派を有利に導かんとしつゝあるも之も亦統一がとれてゐないので市會の前途は蓋し豫測すべからざるものがある

關釜聯絡船 新造計畫 實現見込薄し

【東京二十八日發電】鐵道省では關釜間旅客輸送は臨時輻輳し目下の六隻では不足を告げ定期便に續船便を併用してゐるが本省運輸局の調査では昭和七年度には右聯絡輪送は全く行き詰りを生ずる狀勢にあるが之が緩和のため五年度以降三ヶ年間の新規事業として豫算約四百萬圓を見積り建造さるる五千五百噸の聯絡船二隻は既に議會の協贊を得船舶課にて設計も終つてゐた處江木鐵相の緊縮方針として既定計畫も一時見合せ方針のため之が實現は困難とさるゝに至り之が爲目下船舶課では極力之れが必要を力說し其實現に努力してゐる

三市場の期米 當限受渡

【東京二十八日發電】東京、大阪、神戶の三期米市場當限受渡の內容は左の如し

	受渡高	同値段
▲東京期米	一六、二〇〇石	二九、三〇錢
▲大阪期米	三二、六〇〇石	二九、四〇錢
▲神戶期米	三、二〇〇石	二九、五〇錢

關東廳の既定經費 二割乃至三割五分程度の削減 法院新築また繰延か

關東廳の明年度豫算は目下拓務省を經由大藏省當局と折衝中で大藏省では事務費の一割五分天引を初め補助費、獎勵費等に

大削減を 加へ更に繼續事業は繰延或ひは節減を命じた、而して其の結果關東廳では約百六十七萬圓の豫算を節減せねばならぬことゝなつたのであるが一方關東廳では內地府縣とは異り對外的關係其他も考慮せねばならぬし又殖產工業方面とてもやはり相當の保護援助を要する所から內地同樣の豫算節約は全然不可能なる旨を主張して極力

既定豫算 を要求しつゝあるも目下滯京直接其衝に當つてゐる西山財務部長よりの通信に依れば今回の政府の緊縮方針は頗る徹底したるもので到底或程度迄の節減は免れぬ由で同氏は今回更に本廳に對し出來得る限りの削減方を照會したが中央に於て最も問題となつてゐるのは大連の上水道工事、地方法院の新築、長春電話施設の變更、教育費、醫業試驗場、輸出補償關係等の諸問題で有既定豫算の

二割乃至 三割五分程度の大削減を加へらる模樣である、殊に法院の新築問題はまたも繰延になりはしないかと心配されてゐる

州內男子中等學校聯合會

第三回州內男子中等學校聯合會は十二月二日午前十時から市內紅葉町大連商業學校で開催すると

滿研幹部が仙石總裁と會見

廿八日午前九時滿蒙研究會理事福田、相川、實性、岩井、高塚の諸氏は星ヶ浦仙石總裁邸を訪ひ二時間餘に亘り滿蒙問題その他につき仙石總裁と會見意見を交換した

避難民殺到 長春城內景氣

【長春特電二十七日發】時局のためハルビン其他東鐵沿線各地から南滿及び中部支那方面に避難する者益々增加し列車每に多數の避難民を滿載して來る、廿五日から三日間に長春通過南下したる者二百十二名に上り內三十名は支那大官の家族である、長春城內方面は避難民の增加と現金の輸送とで却つて時ならぬ好景氣を呈し各旅館は滿員である、日本側でも萬一を慮り警備を一層嚴にする事となり十二月初めから警官を增員し特別警戒する筈、尚避難民の大部分は支那人で少數のロシア人を交へてゐるが日本人の避難者は今の處一人も無い

鐵道懇話會日割

明五年度における滿鐵鐵道懇話會は左記の通り各地において開催の筈

▲一月十三日公主嶺▲一月十四日奉天▲一月十六日安東▲一月十八日大石橋▲一月二十日大連

辭令【東京二十七日發電】

兼任關東廳技師(六等) 中村富士太郎

任關東廳高女教諭兼同中學教諭(六等) 島田英雄

任關東廳遞信技師兼關東廳技師 日下部錠次郎

免兼官 同遞信書記兼同理事官 吉本覺

依願免兼官 關東廳遞信副事務官 眞山明

依願免本官 關東廳遞信副事務官 眞山明

關東廳辭令(廿五日附)

高知縣高岡郡佐川尋常小學校訓導兼佐川公認學校助教諭 任關東州小學校訓導 竹內二郎

(二十六日附)

正七位勳六等 關東廳遞信書記 眞山明 任關東廳遞信局副事務官、敍高等官六等七級俸下賜、沙河口郵便局臨時在勤ヲ命ス

關東廳遞信書記 吉本覺 兼任關東廳理事官、敍高等官七等 敍從七位、內務局地方課勤務ヲ命ス

人事

▲中西敏憲氏(滿鐵地方課長) 奉天、撫順方面出張中の所廿七日夜歸任

安興箱子

何處で飮んだか鼻歌まじりの千鳥足といふ景氣で、廿八日夜歌舞伎座は常磐津演奏會に乘込んだ市會の猛者恩田、若月、相川、仙波の市長擁護派のお歷々▲お茶子に案內されてワンボ座に納まつたまでは無事だつたが一行の若月君、虫の居所が惡かつたと見え血ツ相變へて木戶へ來るなり「大枚二圓五十錢も拂つて聞きに來たのに三階へ座らせるとは怪しからぬ」と豐聲張り上げてのきつい抗議——▲なんぼ市會議員さんでも九時頃に來て良い席に坐らせろとは餘りのゴ無理、面喰らつた木戶番負けてはをらず「芝居の席は早いもの勝ち、いくら偉い御方でも先着のお客樣を立たせる譯にゆきません」▲流石の若月猛者も筋の通つた申開きに上げた拳のやり場がなく「ウニャムニャ〱」

錢鈔

定期後場(單位錢)

期	寄付	高値	安値	大引
近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 期近 百七十萬圓

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高【銀對金 六萬圓 銀對洋 一萬二千圓】

商品

麻袋(保合)

銘柄	約定期	約定値	數量
鐵筋	十一月末	三三、六	二〇〇
同	十二月末	三二、二	一〇〇
同	三月末	三〇、四	五〇

出來高 八萬枚

麥粉(出來不申)

綿絲布(出來不申)

特産

定期後場(銀建)

▲大豆(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 百七十車

▲普通大豆(出來不申)

▲豆粕(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 四萬八千枚

▲豆油(保合)(單位錢)

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲高粱(軟調)(單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 四千五百石

現物後場(銀建)

▲包米(出來不申)

限月	寄付	高値	安値	大引
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 百二十九車

現物後場(銀建)

銘柄	寄付	大引
混保大豆(後込六四一〇)	六四一〇	六四〇〇
普通大豆(後物六三五〇)	六三五〇	六三五〇
豆粕	二一六五	二一六五
豆油	一八三五	一八三五
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

神戶特産(廿八日)

銘柄	値
大豆現物	[illegible]
大豆先物	[illegible]
豆油現物	[illegible]
豆油先物	[illegible]
滿洲小麥	[illegible]
豆油現物	[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
中先	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]

東京株式(短期)

銘柄	五品	東新
寄値	[illegible]	[illegible]
引値	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]

東京期米

限月	後場寄	後場引
十一月	當限落	
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]

滿洲日報

支那の現實暴露　海拉爾潰走兵の掠奪暴狀

西部戰線、大に異狀あり、勞農[illegible]に恐怖せる支那軍隊は、[illegible]なく、ただ潰走するのみ[illegible]一時、元氣のよかつた馮[illegible]の義勇軍など、今いづく[illegible]いひたくなる。[illegible]防なるもの、威張るほど[illegible]く、支那側としても今さ[illegible]現實暴露の悲哀を感ぜざ[illegible]であらう。

支那の軍隊は、對外對內の區別が出來ず、對外の場合にありても軍閥の勢力關係、地盤爭奪といふやうな觀念が拔けず、勞農に對する北境國防軍にありても、滿洲里における黑龍江軍が、危急に瀕しつゝあるにも拘らず、海拉爾の奉天軍は、これを救援することを敢てせず。いや危急に暴露せられつゝある黑龍江軍は、却つて奉天軍の救援を喜ばぬものがあつたのである。これ地盤關係よりして對外と對內とを混淆してゐる結果に外ならぬのであつた。

かくの如き有樣であるから、國防軍などといふものゝ、その國防の意味さへ徹底せず、何のために勞農に對峙するやさへ明白でないても、未だ宣戰した譯でもなく、從つて勞農の威嚇は十二分に功を奏したのである。勿論、勞農側とても、對支交涉を有利に導かんとするところからの威嚇政策であるから、目的は充分に達せられたものといふべく、それにしても、支那兵の意氣地なさは、平素の大言壯語に照し、言語道斷の狀態と申すべきである。

ただ問題は、今後いかに展開するやといふことになるが、勞農側とても、この攻勢を持續するだけの實力ありや否やは疑はしく、それに威嚇の目的は充分に達し得たのであるから、これ以上の戰事行動は中止され、あるひは高壓的の外交政策に出づるのではあるまいか。しかも勞農側の狙ふところは南京側との交涉といふよりも寧ろ奉天側に對して、その目的とする東支鐵道の原狀回復といふことを强張するものとも察せられる。

それは兎もかくとして、海拉爾潰走當時の支那兵の暴狀は、實に言語に絕したるものであり、人道上の由々しき問題ともいふべきであつた。その結果として、野獸の如き支那兵の動きには、ロシア人などばかりでなく支那人自身が、自國兵を恐怖すること、全く虎よりも甚だしいものがあり、現にハルビンにおいてさへ、早くも避難騒ぎで騒然たる狀態である。

[illegible]における避難民を救出す[illegible]ハルビンより配給されたる[illegible]は、避難民を救出するどこ[illegible]はずして潰走する支那兵に占領され、待ちに待つた避難民は、茫然自失せざる[illegible]かつたのである。

[illegible]彼ら支那兵の潰走せんと[illegible]先づロシア人の住宅に闖[illegible]あらゆる家財を掠奪し、[illegible]に於いて、老若男女を問[illegible]防寒具さへ剝ぎ取られるの[illegible]したのである。時計、指[illegible]中に忍ばせし小使錢など[illegible]ころなく掠奪されたのであ[illegible]支那の負傷兵の如きは、[illegible]に掠奪せる手ミシンを離[illegible]また指環を掠奪する場合な[illegible]が[illegible]く拔きとれぬに業をに[illegible]指を切り放すなど脅かされ[illegible]

全くの[illegible]を演出したといふ。されば[illegible]ビンにおける在外人よりも、支那人の方が却つて、潰走支那兵の掠奪を恐れ、早くも避難の準備をなし、日本人のところに家財を委託するやう、日本人の借家を豫約するなど、さすがの支那兵も、今度といふ今度は、支那民衆からも、全く愛憎を盡かされたのである。

かくの如き支那兵を擁する支那が、一方にありては治外法權の撤廢とか、何とか騒ぐのであるから何とも申しやうのない次第であるが、自國民は勿論、在外人の生命財産の保護も出來ぬ現實の支那が、議論は議論として實は何よりも雄辯、海拉爾潰走當時の支那國防軍の現實暴露、掠奪の暴狀を見せつけられた吾人は、南京政府の人々がどんなことをいふとも、支那の現狀といふことについて、少しく考へて見ねばならぬと思ふ。」

丸出しにされた支那兵の野獸性
露機襲擊の日海拉爾に渦卷いた
掠奪や暴行や放火

【ハルビン發】戶外は零下十五度餘である、石も木も砂も土も固く鐵筋コンクリートのやうに結氷してゐる、ジャライノールの赤軍攻擊にハイラル住民は多少不安に襲はれてゐた廿三日、突然露機が姿を現はし爆彈を投下した、物凄い光景は其れから間も無く市內の各所に起きたのである、廿六日午後三時二晝夜を要しハルビンに漸く避難して來た

四百有餘名 のロシヤ人の一家は古い木箱、メリケン粉袋、蒲團、バケツ、茶器などの家財道具を山のやうに積んであちらに五六名、こちらに三、四名、道具の上に腰を下ろして「これから何處へ行く」目標を失つて呆然と考へ込んでゐる、中には乳呑兒を抱へてゐる女もゐれば、足腰の不自由な病人、老人もゐる、妻をヂャライノールに殘して來た男もをれば父親と別れた妻子もゐる、慘虐な爭鬪の火中を脫して漸く安全地帶に辿りつきホット一息つく間もなく次に迫つて來てゐるのは明日をも待たぬこよいの宿と飮食の問題が頭にふりかゝつて來てゐるのである

元氣さうな 男等は圓陣を造つて色々と話あつてゐるが行く先のない彼等に結局解決の思案はつかない「まるで孤島に放り上げられたやうな、知人のない處だから」と不安と焦燥に驅られてゐる

廿三日の午後ハイラル全市に亘り行はれた支那潰走兵の掠奪は目も當てられぬ慘狀を呈した、この言葉につくせぬ暴虐は由々しい人道上の問題であると憤慨してゐるものもゐる、支那軍は全く馬賊と異らないことを現實に直視した彼等は慄いてゐる、恰度其の日は勞農機が嵯崗驛に爆彈を投下した際流彈のために重傷を受け遂に死亡した嵯崗驛長の葬儀が盛大に擧行されてゐた時

怖ろしい唸 りを立てたストーム—掠奪、强姦、放火、爆破が渦を卷いて洪水のやうに市內に起きた、葬儀に參列してゐた群集は葬式どころの騒ぎで無く不安と恐怖に襲はれながら各自歸宅すると支那兵の集團が殺到し始めた、ハイラル驛長宅では鐵道收入の約三百圓の金を取纏めイザとなれば避難しやうと準備してゐると雪崩れ込んだ支那兵が金は勿論のこと驛長の外套、着物から鉛筆の端キレまで掻つ拂ひ、其れで足りぬため姙娠中の夫人を押へつけ嵌めてゐる指輪を拔くため格鬪し遂に小刀で指輪を切開し負傷を與へ、孃の着物をも剝いで目星いものは片つ端から

手當り次第 に掠奪し、あらん限りの暴行と慘虐を加へ悠々と引揚げた、斯うした掻拂ひと掠奪は到る處に公然と敢行され支那商人も亦掠奪を受け、途中で外套を剝ぎ奪つた支那兵は身を隱すため今までの軍服を脫いで普通民に變裝して逃げる者あり、夜十二時頃に至つて稍鎭靜になつたが不安の空氣は一層濃厚となり、ハルビンに着いた避難者五十を過ぎたロシヤ女が恐怖のために精神に異狀を來し掠奪當時の慘狀を手マネ身マネで說明してゐるなど其の混亂狀態は想像以上であつた「ソウエート軍の襲來より支那軍の暴行が恐ろしい」と彼等は語つてゐる程支那兵は野獸性を遺憾なく發揮して

先を爭つて 後退したのである、胡毓坤第二軍長は既にこの時博克圖に司令部を移し「露軍はハイラルまでは攻略しない、來れば興安嶺の天嶮により防守し一戰するばかりである」と豪語してゐた、然し部下の統制は全く四分五裂で、東北軍の精銳を誇る支那軍は掠奪以外に用を成さぬ烏合の衆で全く訓練のない軍隊であることを暴露した、飛行機の音で算を亂して潰走した今回の醜態は胡軍長の責任問題で必ず引責辭職せねば納まるまい—と同時に黑龍江省萬福麟主席も當然職を退かねばならぬだらう

ハルビン驛に避難者殺到
支那資産家の不安

【ハルビン發】ハルビン驛は東支西部線ハイラル免渡河、牙克石一帶から避難し來るものと東部線牡丹江、海林方面からの露支人が殺到し文字通りの人の黑山で氣の早いものは長春へ向ふものもあり混雜を極めてゐる、ハルビン、ブヘト間の旅客列車は定時に發車するが、途中ハイラル方面よりの列車がハルビンに來るので常に延着勝ちである、又ハイラルから避難するものは既に同地を出發した後列車の運行ないため杜絕しブヘトから途中乘車する者は大驛以外では停車せぬため乘車することができず一時混亂した、當時ハイラル、ハルビン間の一等切符が三百元で賣買された、斯うした不安の情報が頻々として傳へられるので早くもハルビンの支那人中に資産を有するものは安全地帶に避難準備し日本の家屋に移る者もある、商民等は支那の潰走兵を怖れてゐる

第三軍の軍長

【奉天發】國境における戰況支那側に不利のため防露第三軍を編成し近く出動する事になつたが、右は各隊より選拔せる白衞團を以て二ケ旅と騎兵一團を編成し軍長には王瑞華、榮臻の兩氏中より選定すると

ハラハ地方に赤色軍出沒

【ハルビン發】內蒙古索倫縣管下ハラハ地方に蒙古赤色軍約五百名出沒し露軍との連絡あると云ふので、貴福、呼倫貝爾都統は三百の蒙軍を同地方の守備のため派遣した、鄒作華屯墾軍第一團はハラハ地方の危險にアルシャン溫泉地帶保護のため騎兵を出動せしめたが、東支西部線の露支對峙が長くなればなる程地方に馬賊跳梁し且つ蒙軍や其の蜂起をみるであらうと云はれ今や其の機會を窺ひつゝありと

國民はみな蔣をにくむ
國民政府は私設だ
◇—章炳麟氏語る

【上海特信】章氏は學界の耆宿にして時局緊急の際には常に卓越せる識見と忌憚なき批評とをもつて上下の耳目を衝動せしめてきたもので、今次の時局談も注目を惹くに足るものである

蔣介石は當然倒れなくてはならぬ蔣は一般國民が全部これを惡んでゐるのだ、蔣の倒れた後の

善後問題は 自ら解決する、今日の所謂國民政府は實に蔣介石個人のもので蔣は國民の名を藉つて彼の私設政府を國民政府と呼んでゐる、故に國民政府は取消さねばならぬ、蔣介石の倒れた後は閻錫山がこれに代るであらうが閻には大した期待は出來ぬ、閻は表面上蔣に對し和平的態度をみせてゐるが實際はひどく蔣を惡んでゐる故に閻と馮玉祥とはうまく關係を結んでゐるに相違ない、閻が時局收拾に當るとすれば國民政府は當然北平に移すべく閻は南京には出て來ないであらう、また國民政府を北平に移せばその內容は當然變つて來る、汪精衞と閻錫山とは

決して兩立 することも許さないし、また協同して事を爲すことも出來ない、若し汪が蔣介石の倒れると同時に積極的に立つにいたつたならば閻は敢て立たないであらう、汪は目下香港に在りて時局を觀望しつゝ出馬の機會を狙つてゐる、現在國民黨の右派、蔣派、左派のうち蔣派と左派とは國民の爲めに決して幸福な政治をもたらさなかつたことは過去の事實がこれを證明してゐる、たゞ

右派のみは 未知數であるから、われ〳〵國民が若し國民黨を認めるとしたら望みの繫がるところはたゞこの右派のみである

牡丹江方面の人心恟々

【ハルビン發】東支東部線牡丹江穆稜の露軍襲來は—露支交涉の開展しない場合—必然的に行はれるであらうとみられてゐるが、八道河子、牛載河が露軍のため蹂躙された報に牡丹江駐屯の第十二旅三十一團の吉林軍は高射砲を發射し氣を添へてゐるも刻々に不安の空氣がみなぎり人心は動搖し戰々兢々として商民は一時海林か、ハルビンに避難しつゝある

駐日英國大使

【奉天發】駐日英國大使サー、チレー氏は廿七日安奉線急行にて令孃を同伴來奉ヤマトホテルに入つたが同日は奉天に一泊の上廿八日城內を見物し同日十三時四十分發急行にて赴連した

ソウエート軍穆稜炭礦を狙ふ
支那側では樂觀す

【ハルビン發】ソウエート軍が狙つてゐる穆稜炭礦は民國十二年一月スキデルスキー氏の斡旋で吉林省政府が三百萬元、ロシヤ商人が三百萬元都合六百萬元を出資し露支合辦事業として炭礦の採掘と炭礦鐵道を經營することになり、現在では出炭の大部分は東支鐵道に賣約し小部分を市場に出してゐるが、穆稜鐵道を密山から虎林を經て三姓に延長する計畫は屢々スキデルスキー氏がロシヤ側を代表して吉林省政府に交涉し奔走したるも遂に成功せず、省政府としては延長鐵道敷設の意思はもつてゐるが穆稜公司の手によることは欲してをらぬので實現の時期は近い將來にはないものとみられてゐる、最近の出炭量は一日平均一千米噸內外でハルビン市場には二十噸平均消費され其他は全部東支の機關車其他の燃料に供給してゐる、炭礦には合計約一千名の從業員と勞働者が從事し採炭坑夫は七百名內外であると公司では稱してゐるが實際は五百名前後の見當である、炭坑から密山までは約二百支里で自動車が連絡してゐる、支那軍は酈澤生部の一箇旅と騎兵が沿道を守備してゐる、穆稜公司では露軍は炭坑を襲擊しないと語つてゐる

南征雜錄（45）
難波勝治

邦人の工業

農商業の外メキシコで邦人に適した事業は、一般的に需要される日用品若くは食料品の製造販賣であらう、尤も都市を始め各地には賣藥、園藝方面の成功者も少なくないが、私が見た工場で感心したのは首府に於ける

製菓工場 と、グワダラハラ市の南方石鹼工場とであつた、前者は沖繩縣人安里龜喜、中曾根勝吉君等が、千九百二十二年(大正十一年)資本金二萬千ペソ(一ペソは約我一圓)で創立した合資組織で、年々利益の大部分を繰入れて基礎の堅實を期した結果、現在では七萬五千ペソ位になつて居る、製造高一ケ年十四五萬乃至十七、八萬ペソに過ぎぬが、利率は頗る良好らしく、使用職工は男女計二十一名、男子の日給は一ペソ二ペソ最高五ペソ半まで、女子は一ペソ半乃至三ペソ廿五仙に及ぶといふ、藥品は

獨逸から 飴と牛酪とは米國から取寄せて居るが、製品の仕向地はヴェラ、クルス、ポエルバ兩州を中心として、オハカ、ゲレロ、クリプラ、オワウチナンゴ等の南部各地に亘り、內外人の行商隊に依つて賣捌められる、製造元は一割二分引の卸直で品物を渡すのだが、それ以上の儲けは本人の腕次第、小資本で隨分好成績を擧げて居る者が少くない、メキシコ市には比較的沖繩縣人が多いが、右の人々のほか新門龜君などが長老株で、何れも二十年以上の履歷を有してゐる、グワダラハラに於ける南方石鹼工場は、一ケ年の生産額七萬箱乃至八萬箱、重に洗濯用の低級品らしいが風土の關係上需要は無限にある、之は賣子でなく

通信取引 が主だが、賣上額の一割に相當する一萬圓位は拂[illegible]倒れにたるそうだ、場主南分勇三郎君は和歌山縣人、十六歲の時渡米してロサンゼルスに在住すること四ケ年、一千九百二年(明治卅五年)グワダラハラに來てから二十七年を經過した、その間君が續けた奮鬪振りは隨分目覺ましいものだつたが、最も活動したのは革命當時軍隊への食糧賣込みで、玉蜀黍の買占めで苦勞したが大儲けもした、夫人は名門出のメキシコ人で、夫婦の間に

男女九人 の子寶を有する、工場地の面積一萬七千七百五十立方米突、二十四名の職工中、十八年勤續の日本人一名と、二十四年勤續のメキシコ人一名とが居て、君は毎日その間に立交つて作業に從事して居る、この工場のほか市の中心に店舖を有し、製品と各種の雜貨品とを取扱つて居る、主任は芦田恒三郎君、書生時代を北米に送つた商人肌の紳士である、之と職業は異ふがグワダラハラには都布久聚醫師が居る、曾て五ケ年許り在住した後四ケ年餘をメキシコ市に送つたが、最近の革命騒ぎで餘り利益がなく、一昨年の初にグワダラハラに舞戾つたのである、その談によれば該地方は別に風土病の多い所でない

マラリヤ 猩紅熱、天然痘など相當あるも、最も烈しいのは黃熱で野口博士の注射液も萬全を期し難い、既に述べたやうにグワダラハラの人口十四、五萬中、土着人の醫師は約百二十名居る、彼等は槪ね外科に秀でて居るが內科は駄目だとのこと、その理由が頗る振つて居る、メキシコ人は多情多感で理性に乏しいが、革命以後殊に爭鬪酒亂の行動が多く、それが爲めに手術材料は幾許でもある、其處には生徒五、六十名の醫學校が一ケ所あるが

解剖材料 の豐富な結果、三年生時代から實驗を積んで其上達も却々早いそうである、醫者といへばメキシコほど日本醫師の多く入込んだ所はない、否入込んだのでなく化けたのだとの冷評をきくくらい、原因は一時條約で無試驗開業が許されたからで、最近愈々この特典がなくなつた爲めに無資格者は恐慌を來して居る。

投書歡迎

中傷を目的とするものは採らず　新聞行數五十行以內のこと

市長の辭職を望む　山縣通　M　生

愈十一月も餘すところ數日石本市長の潔く去る日は來た、有給市長案を出して去るべきだと思ふ、あと適任者はいくらでもある、自己の借金さへ整理出來ぬ樣な方はどうして市の政治が紛糾なしにやつて行けようか

半ぱの話はいかん　長春　藤田一榮

十一月二十四日の夕刊に矢吹博士の談として近代人は何處より如何にして最良な宗教を求むるか？と云ふ問題に就いて、健全なる常識で眞と思ふその中に善を求める心の外はないと思ふ。と云はれて積が結んであるがこれ丈ではまづい、話すならその「健全なる常識」に就て說明していたゞきたい、多少思想問題を云々する者は多く自己の常識を健全なるものとウヌボレてゐるにちがひないと思ふ、共產黨員が積極行動をとるのも彼等の健全なる常識がするのであらう、健全なる常識とは何を標準にした熟語であるか博士の御說明を乞ふでないと世の中が益々いけなくなる、自己免許の健全なる常識がはたして健全なる眞の常識であるか否か

皇道會と大本教　大連　一市民

大連に於ける思想團體の代表とも目されたる皇道會は此頃活動を休止してる樣であるが、聞く所に依ると皇道會長川上賢三氏は先日大本教の出口王仁三郎氏と奉天に於て會見し大本教本部に入所されたとの事、皇道會の幹部は此事實を何と見らるゝや、皇道會の目的が大本教崇拜に變更の下準備に川上會長が大本教入をなされるわけなるや、皇道會には津田彥六、脇屋次郎、高塚源一等の幹部ありしと思ふ、皇道會員の爲め思想社會の爲め川上會長大本教入の眞相を新聞紙上にて發表されたい

滿日地方版

旅順

教化總動員
聯合會を作り 繼續的に活動
二十七日民政署で開かれた 協議會できまる

旅順に於ける教化總動員に關する協議會は廿七日午後一時から民政署に開催 藤原民政署長、藤田學務課長、永山市長その他小學校長、宗教家、興文會、青年聯盟、青年團修養團等の代表者三十餘名出席 藤原署長司會の下にまづ藤田學務課長から文部省の教化總動員の要旨並に神出內務局長の涌牒の趣旨を說明した後各出席者より教化問題に關し既に實行した事及將來の計畫として
△青年聯盟では精神的方面の事業として本年四回に亘り戰跡見學會を催したが近く戰跡座談會を催す計畫がある
△金光教では本部より教化運動に協力すべき旨の命を受け、經濟の建て直しと題するリフレットを配付したると
△西本願寺では其日曜學校に於て戰跡廻りを實行せる事等をそれぞれ陳述し藤田課長より
(一)精神作興の爲め戰跡見學を推獎すべきは勿論で教育家に戰跡講習會を開く計畫あること
(二)地歴同攻會に於て戰跡に關する資料を蒐集しつゝあること
(三)體育方面に於ても戰跡リレー、戰跡廻り會を催したる事等何れも其趣旨に基くものである
と述べ蘆山助役の發議で

戰跡廻り推獎の實行細目を決定する爲め學務課、民政署市役所、宗教家、青年聯盟、在郷軍人會の各代表者一名宛を以て委員會を作り、協議することに決定した、次ぎに當日の各出席者を以て旅順教化團體聯合會を組織し繼續的に活動を續くるに決し會の組織を定むる爲め民政署、市、神道、佛教、青年聯盟、修養團より各一名の代表者を出し委員會を作る事に一致し、終つて興文會より議題として
本運動の目的を如何にして徹底すべきや
一、講演會を開催すること
二、祝祭日の意義の徹底を計る事
イ、祝祭日の趣旨を印刷配布すること(國旗掲揚の徹底)
ロ、各宗教團體に於て行事を計畫すること
三、御眞影奉拜を奬勵すること
イ、學校に於ける四大節の式に參列するか、四大節に學校の式とは別に奉拜式擧行するか
ロ、右の集會に於ては國歌の合唱、勅語、詔書の捧讀をなすこと
四、旅順神社建設を促進すること
を提出したが主題を外れた諸說紛々で

議論に花が咲いた爲め聯合會の組織が出來た上で改めて協議する事とし四時半散會した

活氣付いた 滿鐵新埠頭
二十七日に貨車の初入り 廿八日から船が着く

竣工した旅順の滿鐵新埠頭は二十七日早朝三十三噸積の貨車四輛が初入りを爲し直ちに貨車卸しを爲したので何んとなく景氣が好い光景を示してゐる、これから毎日四五車宛の石炭が運ばれるそうで逐日新埠頭の面目が現はれる事であらう、又二十八日には愈々「新屯丸」と云ふ貨物船が新埠頭へ横付されるが來月十日頃迄には完全に二隻が横付される事と成り石炭、雜貨を合し三隻の船舶に依つて各方面へ輸出する事となる譯で、隨つて貯炭場附近は活氣が横溢するであらう

奉天

列車內で格闘し 匪賊四名を逮捕
奉天驛發車間際に

廿六日午後十一時奉天驛發下り四平街行第廿五號列車が發車間際に擧動不審なる四名の支那人が同列車に乘車してゐるのを同驛警戒中の登巡査が發見し直に福田巡査、王巡捕長、于永年巡捕の應援を得て逮捕せんとした處彼等は頑強に抵抗するのみか隱匿した拳銃を取出さんとしたので隙を與へず組みつき車內に於て空前の大格闘始まつた結局四名とも逮捕し取調べた處彼等は何れもブローニング拳銃とローヤル拳銃を所持し居り法庫縣、康平縣下を横行した匪賊の頭目占北の部下であることが判明し中二名は左手に一名は左足に貫通銃創を受けてゐると彼等は彰武縣生れ住所不定無職傷子事張好三(三)法庫縣生れ泉宇事畢興泉(三)同臣皮事張臘(三)及び林皮事劉林(三)であるが餘罪嚴重取調中である因に登巡査はこの程奉天驛に於て兇賊と交戰大格闘の上逮捕し勇名を馳せた人である

支那審判廳の取調べ杜撰

十間房坂本喜三次氏經營に係る北陵の御花園煉瓦工場使用支那人が去る十八日盜難に掛つたが取調の結果犯人は同工場使用人中の張德(四)なる事が判明し逮捕の上支那側公安局に引渡した支那側では張を高等審判廳に押送し取調べの結果證據不充分とあつて保證人附で廿四日釋放した然る處張はその意趣晴らしに同工場の帳場黄昇長方に廿五日午前四時頃押掛け暴行の上工場で使用する道具を持ち去つたので總領事館警察では瀋陽縣公安局に木村刑事赴き支那側の取調怠慢を詰問すると共に犯人搜査の上逮捕方を要求した

廿六日の献金

廿六日奉天署は左の如き献金申出があつた
▲四圓四錢教專附屬小學校六年生荒井學級一同▲四圓十五錢春日小學校高等科一年生栗田春代、栗田久子、新居春子、五通久江

町の便り

奉天居留民會長守田福松氏は令息の香典返しとして廿六日奉天署に三百圓を寄附した
◇
大石橋神社神職山內茂義氏は今回奉天神社次席神職として着任することになつた
◇
當地俳壇聯盟では十一月旬會を三十日午後六時から藤浪町三〇岡豐三氏宅に於て開催するが題は枯野十句であると
◇
國民外交協會は二十七日午後五時から總商會に於て太平洋會議に出席した蘇上達氏の報告演說を兼ねて講演大會を開いた
◇
市內錢鈔業者は奉票の釘付け相場と支那側の金融逼迫によつて取引行はれぬため倒產者續出の現狀であるが今後の成行につき當業者は金解禁が實施された場合は銀相場も安定するので全然取引行はれざるものと見られ何等かの對策講ずべく寄々協議中で中には商賣變へをせんとするものもあると
◇
廿六日午後八時十五分奉天驛第三ホームに於て擧動不審なる三名の支那人を取調べたが彼等は西豐縣生れ無職李國忠(二九)武振文(二二)錦縣生れ無職と稱し北寧線列車乘降客の混雜に乘じて武は大洋十元李は現大洋二元奉票十元を窃取せる事を自白したので餘罪引續き取調中

人事

▲林總領事 廿七日安奉線急行にて東上
▲保々滿鐵地方部長 廿六日歸連
▲中西滿鐵地方課長 廿七日歸連
▲山崎大連取引所長 廿六日湯崗子へ
▲サー、チレー氏(駐日英國大使) 廿七日來奉一泊廿八日赴連

撫順

淨土宗婦人會員
三百八十餘圓を献金

現下の經濟的國難に直面して婦人としても默視するに忍びず婦人自らの自制克己に依り產み出したる節約金を纏め償還資金の一助にもと左記金三百八十一圓を二十七日午前大林署長を通じて撫順淨土宗婦人會員が献金した
總額三百八十一圓
△八十六圓 永安臺方面、內譯十五圓大垣あい子、十圓山口すみ子、十圓關山ツヤ、七圓松江小ふじ、七圓松本みつ子、外二十二名
△百七十二圓八十錢 市中、三十圓成富れん、二十圓松尾ふじ、外二十五名
△二十一圓七十錢 東郷長澤きち外十七名
△十圓 大山坑小畠きくの外八名
△十六圓 富士見町桑野きくの、外十名
△八圓五十錢 彌生町十三名
△十四圓東岡(十圓志岐千重子外四名)
△九圓五十錢 老虎臺、蘆瀨外六名
△二十七圓五十錢 萬達屋(十圓山內イワ外六名)

高女の學藝會

撫順高女第七回學藝會は菊香ほる二十七日同校講堂に於て多數父兄參觀裡に開催「校歌」の合唱に始まりて
國友彌生孃の「島の一日」「鯨船」の童謠二題の朗讀、三年生の「秋の夜」「憶兒時」の華語唄齊唱、專修科生の家事實習「汗點拔き」四年辻綾子孃のオルガン獨奏、油谷つね子外數名のダンス「荒城の月」三年國松康子孃のピアノ獨奏「春の歌」四年村瀨彌生外五名の興味ある支那語劇「讓產」專修科生夏刈シゲノ外五名の「襠なし男袴」の裁縫實習、四年竹中俊子外數名のダンス「芥子の花」補習科今水正子孃の「つまみ細工」の手藝、同八木淑子孃の談話「消費者としての婦人」等拍手喝采裡に行はれ午後四時終了した

電線泥棒逮捕

撫順に於ける特殊犯罪石炭泥につぐものは電線泥棒であるが、二十七日午後八時千金寨鐵道南に於て逮捕された張有文(三七)徐振江(三三)及び同日午後五時頃大山坑華工宿舍に於て逮捕したる李民山(三〇)等は未逮捕李義亭、楊德漢その他と共謀製油工場附近その他で電燈線三千二百六十米突時價四百六十圓を窃取した、尚新楊柏一圓を荒した楊德漢は二十七日午後七時千金支那町北市場附近で逮捕された

加藤氏講演會

加藤咄堂氏は三十日來撫同午後六時より新公會堂に於て一場の講演をなすと、因に社會主催入場無料一般の聽講を歡迎すと

鞍山

小賣商店協會の協議

鞍山小賣商店々主協會が發表せる消費組合支部に對する要望決議に關しては各方面より可成りの同情を惹いて居るが、同會では二十六日午後七時より實業會堂に於て臨時總會を開き今日までの經過報告及今後の方針等に就て愼重協議する處あつたが、同會今回の運動に就いては何處までも紳士的態度で初期の目的に向つて精進する由

咄堂氏講演會

既報=加藤咄堂氏は二十七日來鞍午後七時から實業會堂に於て講演會が開催されたが、久方振りの知名士の講演とて頗る盛會だつた

草葉氏の講演

目下來鞍中の生氣自强法滿洲普及會長草葉強太郎氏は二十七日正午より鞍鐵所應接室に於て生氣自强法に就ての講演及實驗をなして多大の感動を與へた

哈爾賓

支那監獄に收容中の
露人待遇は改善
獨逸總領事語る

松浦鎭に監禁されてゐるソウエート人民及時局問題に就きストッペドイツ總領事は
現在收容されてゐるものは一千二百餘名で數は變らない、別に重體な病人も無く、多期の設備も充分で以前よりはズット改善され

煖房も設けられ防寒は完全である、手紙其他の檢閱は何等變りがない、食事の如きも餘程良くなつた、女が一名ゐるが釋放されるかどうか判らぬ、十月革命日を期して陰謀を計畫したテロリストは政治犯と違ふので一部は傅家甸の監獄と一部は司令部に監禁されてゐる、總數約三百三十名であると聞いた、尚ほ共產黨事件に連坐し拘禁された三十六名は長い間の牢獄生活で病氣に罹り中には重體の者もゐる、露軍の海拉爾攻擊で外人はどうなつてゐるだらうか—避難者の話によると英米人約廿名は何れも銀行內に避難したらしく、キネマ經營の獨逸人も一名ゐるが安全である、外人の生命財產は例令露軍が來ても安全であらう、ハイラル以東に

露軍が進擊して來るか—サア判らぬ—が自分は來ないと思ふ、露支正式會議は開催される機運はある、然しどの程度に進行してゐるか總ては今後の問題である
と語つた

日本人の 通行許可 時間外でも

戒嚴令のため夜間十二時以後は通行證を必要とするが、モストワヤ街一帶日本人の多數居住してゐる所は支那側官憲と交涉の結果日本人と判れば通行を許可すること、時によつては警戒の巡警が居所まで護送することになつた、然し總領事館では邦人の身分證明書を發給することになり希望者は一寸寫眞二枚を添へ領事館警察へ願ひ出れば下附すると

小學生の献金

ハルビン小學校四年生岩永豐重君はお父さんが支那人に靴磨きをさせるのを自分で引受け、其の報酬として金一圓を貰つたので受持先生の手を經て献金した

松江餘滴

忘年會も今年は緊縮で幾分遠慮氣味だらう▲毎夜一面街を往診せねば濟らぬ河合醫師、今年は一つ戲そばで醫師の忘年會をしやうとの話、醫師と戲とは緣があるからネとこれで年を忘れること▲第一線聯盟が生れた金解禁と緊縮に騷いでゐる世間—ハルピン人士の氣が知れないと大見榮を切つたパンフレット▲空虚の生活を充實するためには理想をもたねばならぬ、其の理想のために第一線聯盟會を產んだのである▲會に參加を希望するものは金五十錢也と、まさかたらちねの長々しきかものではなからう

鐵嶺

社員會の 献金決定
總額千餘圓

滿鐵社員會では經濟國難に對する献金に就き各地支部に通知し各地でも既に協議の結果それぞれ醵出送金した地方もあるが、鐵嶺支部では二十六日協議會を開き社員の献金率を左の如く定め來月末醵金する事に決定せるが献金率は
職員 月給の百分の五
傭員 日給の三分の二
右率によると鐵嶺では約一千五百圓位ひを集め得る豫定であると

茶話會 創設相談會

鐵嶺に緊縮委員會の席上話題となつた鐵嶺社交機關の一として茶話會を組織する事に對し多數の贊同もあつたので、右に關し今二十九日午後五時半より滿鐵クラブに於て委員の相談會を開くと

昌圖から献金

昌圖城內在留邦人は經濟國難の秋に方り奉公の赤誠を盡すべく協議の結果金五十圓を得たので代表者から其趣旨を述べ同地派出所に提出したので二十七日本署に送附した

募兵を開始

遼寧省政府は二十六日鐵嶺縣長に對し露支前線の軍事急を告げ多數の兵員を要するにつき速かに壯丁を徴發して本月中に全部省城に送るべしとの命令に接したので、支那の戰爭に附きものゝ壯丁徴發を近く開始するやうである、鐵嶺縣の徴發員數は三百名の豫定

小池氏に記念品

奉天支店に榮轉し近く離鐵する國際運輸の小池鍵平氏に對し送別會を廢して記念品を贈呈する由、金額日別に定めず贊成者は商工會議所に申込まれたしと

定期健康診斷

鐵嶺在住接客業者の定期健康診斷は來る三四の二日間に亘り滿鐵醫院で施行されると

看護官着任

鐵嶺衛戍病院に始めて配屬された看護官は分遣鐵嶺一等看護官(中尉相當官)が任命せられ二十六日着任した

書記補に昇任

遞信局職制改正大增員の結果鐵嶺郵便局では黒崎鍵十郎、柳本晴夫、菅兼吉三氏が書記補に昇任した

鐵俱食堂開き

新築早々で準備整はず未だ開店の運びに至らなかつた滿鐵クラブの食堂は、卓子其他器具一切が揃つたので愈々本日から開業する由、電氣すき燒を始め珈琲お菓子お茶簡單な食事等は需めに應じ得られるにつき精々利用されたいと

邊業銀行支店

奉天邊業銀行では奥地に於ける金融を圓滑ならしむるため今回西安大疙疸に支店を開設一般民間に對する貸出を開始すると

公主嶺

青年團の 勤勞奉仕
氷滑場の作業

當地に於けるスケート場は毎年小學校の運動場に設置全住民の體育方面並に之れに親和を期すべく土地として有意義なものであるが、豫算上經營難なので青年團は二十三、四の休日を利用し土運搬築堤等各自辨當持參作業に努力した

除隊兵 新入營兵

公主嶺守備隊滿期除隊兵は三十日十二時二分當驛發の兩行列車にて出發、入營兵は十二月二日九時三十五分着の列車にて來公の筈

戰跡撮影隊

戰跡紀念撮影のため陸軍省教育總監部森村少佐一行四名は二十六日來公丸福旅館に一泊新開河及農事試驗場等を撮影した

披露宴

公主嶺精穀公司は諸般の施設完了作業を開始することになつたので、二十九日午後四時多數の日支官民を公會堂に招待盛大なる披露宴を開催、同日午後二時より工場の全機械を運轉縱覽に供すと▲國際運輸株式會社長春支店公主嶺出張所設置開業の披露宴を釘宮支店長來公二十三日の祭日をトし午後五時當地主なる官民を京の家に招じ盛宴を張つた

下津氏來公

奉天鐵道事務所庶務長下津氏は業務視察のため二十六日十七時三十七分着の列車にて來公丸福旅館に投宿した

月賦販賣

公主嶺電燈會社晝間送電の成績が良好なので電熱利用宣傳のため電氣アイロン其他の月賦販賣を開始した

開原

八名から强奪
昌圖の强盜

二十六日午後零時十分昌圖驛着第十九列車にて同驛に下車せる八名の支那人は、轎車にて昌圖城內に赴く途中昌圖附屬地を距る西方約一邦里の兵陵に差蒐るや、突如二名の賊現はれ乘車せる八名を脅迫の上金品を强奪し南方に向け逃走せりと云ふ

特別警戒實施

開原警察署にては地方狀況に鑑み常に特別警戒を實施されつゝありたるが、馬車出廻り增加と共に年末警戒として先般來一定の期間方法を定めず隨時隨所に諸多の方法を實施し一層嚴重に警戒しつゝある

記念品を贈る

開原神社前神職龜田政太郎氏離任歸國に際し多年の功勞に酬ひんと氏子總代發起にて記念品を贈呈すべく氏子有志より募集中であつたが、此程締切りた金額二百六圓に上つたので寄附者芳名を添へ氏の郷里三重縣宇治山田市の現住所に宛二十六日發送された

開原局の四氏任官

關東廳遞信局の官制改正に伴ひ當開原郵便局員中左の四氏二十六日付任官されたと
遞信書記 山中熊市氏
同 松山盛吉氏
遞信書記補 芳井曜平氏
同 佐古八三氏

營口

展覽會とバザーの盛況

營口小學校兒童の成績展覽會及バザーは二十六日午後一時から同校內に於て行はれたるが、父兄及一般市民の來場者甚だ多く盛會を極めた、バザーには兒童及家政女學校生徒の手藝品高等實習生の委託販賣品、撫順小學校生徒の製作せる石炭細工等約一千餘點ありて六百餘圓の賣上げがあつたと

現金賣好成績

輸入組合の主催に係る平本洋行田口商店、乃美、辻、須崎の三呉服店、重田屋、池內商店、熊谷商店山佐洋行、大願洋行の各商店の二十五、六の二日間に於ける多物賣現金賣出しは二日間に於て一千八百圓の賣揚高にて、僅かに二日間の成績としては良好の方にて漸次現金買の習慣を促生するに効果あるべしと

空巣ねらひ

新市街南本街遼東タイムス支局淡路政太郎氏方に廿七日午前十時半から同十一時の間に賊忍び入り家人の留守を窺ひ合鍵を以て入口を開き簞笥に格納せる衣類數十點其他價格約六百圓餘を盜み逃走した妻女が出先から歸宅し此狀況を知り直に警察に屆出で極力搜査中であるが、近來空巣ねらひの被害續出し未だ檢擧に至らざるが犯人は過日來のものと同一なるが如く今尚附近に出沒し居る形跡がある

安東

まだ危險い氷滑
鮮人の子供が溺死

當地下六道溝第二區居住鮮人晉[illegible]の二男喜[illegible](九)は廿五日午後四時頃兄と友人と三人連にて同地鴨綠江製紙會社横の貯水池で氷滑を初めたところ、突然中央部邊の氷が割れて水中に墜落した、之を目擊せし兄と友人は急を六道溝派出所に告げたので當直の飯山巡査は直に現場に赴き官服を脫ぎ捨救助し應急手當を施したるも絕命した

空巣狙ひ逮捕

去る二十一日午後五時頃中塚、[illegible]原の三刑事が支那街小蒸兒市場で擧動不審の支那人を發見本署に同行取調中のところ此者は住所不定無職鄭壽川(三七)にて邦人宅專門の空巣狙ひと判明九月以降十二軒約四百圓の金品を盜んでゐた

密輸監視嚴重

本月二日關東廳議より歸安せし安東宇佐美領事、尾崎署長の兩氏は各關係個所と密々協議の上去る二十日密輸の頭株と認めらるゝ鮮人十數名を安東領事の命に依つて安東署に召喚し嚴重なる戒告を爲し爾來密輸箇所と目される地點に巡査を二時間交替に見張をなさしめ嚴重なる監視續行中であるが、其の後の密輸は今日迄一個も見ざるに至り正當輸入業者は始めて愁眉を開くに至つた

汽動車發着時
來月より變更

安東驛=新義州荷扱所間の汽動車發着時間は十二月一日より當分の中左の如く改正さるゝ事になつた時間は全部滿洲時間、新義州發着は荷扱所の事

▲安東發新義州行

安東發	新義州着
六時三十分	六時四十八分
七時二十分	七時三十八分
十二時七分	十二時二十五分
十五時四十五分	十六時三分

▲新義州發安東行

新義州發	安東着
七時五十分	八時十二分
十一時十三分	十一時三十分
十四時	十四時十七分
十六時十三分	十六時三十分

圍碁大會盛況

國境圍碁大會は二十三日の新嘗祭に山下町安東倶樂部に於て開催され、同好者の參加數四十八名に達し午後一時より開始午後九時終了したが三等以上の入賞者左の如し
一等沖津氏、二等竹內氏、三等江原氏

馬賊らしい

二十五日午後十時頃安東署志賀巡査、春雨刑事は下川端町金玉書館で擧動不審の一支那人を認め、身體檢査をせしに懷中に奉票百圓券五十枚、現大洋百七、八十圓を所持せるが此者は原籍遼寧省盤山縣牛莊陳德祥當二十六歲にて馬賊らしく目下嚴重取調中

婦人自殺未遂

二十六日午前零時三十分頃新義州稅關附近を一人の鮮婦人がうろうろして居るので江岸派出所の警官が取調べたるに女は府內榮町七ノ二三貿易商白榮信假名の妻韓氏(三七)で妾との仲が惡く夫も妾の肩許り持つので悲觀のあまり自殺すべく同夜家人の寢靜まれるを待つて家を拔けだした事判明したので朝迄保護を加へ親族の者を呼びだして引渡した

賭博が流行る

段々と寒さに向つて來たゝめに最近上流家庭に於て八八、六百竿、麻雀等が盛に流行してゐるが、娛樂として遊ぶならまだしも金錢をかけて職業とする者が大分多いと云ふ事で、當局に於ては現行たると非現行たるを問はず檢束するさうである

金州

購買會開始

當地內外綿工場では經濟緊縮實現を圖り先づより安い日用品からとあつて購買會開設準備中であつたが、店開きの用意も完了したので來る十二月一日から愈々發賣することになつた

澤幡巡査部長 弔慰金

(十一月十二日正午迄の分)▲拾圓石川萬次郎▲九圓七十五錢海城小學校兒童自治會▲壹圓黒田保道▲拾圓遼陽驛長神出磯吉外驛員▲拾圓遼陽地方事務所一同▲參圓宛遼陽醫院交友會、白島文雄、長山猪[illegible]三郎▲壹圓五拾錢宛柴田欣一郎、泉喜廣、廣田一▲五拾錢宛横田愛之助、中村智全、渡邊均、山田榮一、阿部清志、小板定吉、高橋八郎、小野寺常藏、南卯吉、坂本新助、諏訪主計、間部一六、辻中義正、岩田格人、小松仲一、黒坂武光、西山將雄、森田一、山田四郎、內藤彌、松野徹、平野新介、佐々木勝彌、鈴木松五郎、山田幸之、上山素直、阿部義英、齋藤薫、上野吉田仁吉、佐竹欽一、畑留雄、中島高志、田中純隆、菅沼清、蒲原猛夫、中坂徹、大坪源吾▲參拾錢宛揚仁驥、玉魁三、陳殿金、趙德安、閻振甲、張連緒、鄭瑞寬、王玉堂、李公由、崔在均、卒茂發、藤萬江、王安本、揚春貴、紀鴻修、周長崔、張洪盛、鄭永福▲十圓遼陽木曜婦人會
日計金九十一圓十五錢
累計金二千八百十二圓二十五錢
(十一月十三日正午迄の分)▲五十錢宛金子福三郎、笠原民次郎▲三十錢宛松井寶一、荒木健治▲五十錢宛池田三次郎、木幡保、池田寅藏、山中權、三浦梅吉▲三十錢宛坪子喜之吉、竹島外吉▲二十錢宛池田宗吉、弓田俊二▲五十錢山根清七▲三十錢宛[illegible]三▲五十錢宛松永常三、倉丸伊和吉、[illegible]▲一圓宛吉田庸人、有田俊[illegible]秀治▲一圓宛[illegible]岩太郎、阪森隆一郎▲二圓西村[illegible]十錢宛松[illegible]▲十圓宛瓦房店醫院一同、瓦房店驛[illegible]會▲十圓瓦房店保友會▲一圓宛小路國作、[illegible]店列車分區交友會▲五圓瓦房店[illegible]線區保友會▲五十錢吉村繁藏▲五圓[illegible]山吉太郎▲三十錢宛野田金一、[illegible]宮田信▲三十錢三角景[illegible]
日計金五十二圓十錢
累計金二千八百六十四圓三十五錢

滿蒙植物の採集雜話 (8)
旅順 佐藤潤平

第二編(三) 安奉線の植物景觀

安奉線は山あり川ありで大いに內地氣分のする風景の處だ。汽車は谷間を縫ふて走り、鳳凰山は連峰中最も奇拔にして雄壯であり、釣魚臺附近一帶は南滿洲の耶馬溪とでも云ふべき所であらう。

安奉線は風景に富むばかりでなく花木花草にとみ早春クフジュサウ、イトマキサウなどが谷間を飾り、山峰の北面した斜面は一面に紅のゲンカイツツジこれを彩ひ又陽向の斜面には所々にマンシウアンズを見る。マンシウアンズはアンズに酷似してゐるが一センチばかりの花梗があり、樹皮の木栓層が特別發達してゐるなどで區別される。花色は普通のアンズよりも遠方から眺めると少しく濃く且全形としてやはらかみがあり、滿洲での庭園木としてソメキヨシノよりもまさつた點を見られる。未だ庭園木としてその栽植を見ないがソメキヨシノと共にその森を作る必要があると思ふ。

此の頃からの安奉線の自然界は實に多端なものでつぎからつぎへと美花が咲き狂ふのである。岩上にはイハヤツデが笑み、谷間にはスズランが多數群生してゐる。序にその芳香谷間を充たしとでも云ひたいが安奉線産のスズランは日本や北滿に產するスズランに比してその芳香はるかに弱いのが如何にも物淋しい。濕地には溪流に沿ふてエンカウサウ又はサクラサウなどが咲く。鷄冠山のサクラサウの群生の如きは世界にまれなるものであらう。

五月頃陽向の山地には滿鮮特有のオ[illegible]そがその紅をほしいまゝ[illegible]しこれにつゞいて咲くのはヒロハハシドヒ、これも滿鮮特有の花木、次は白花のテウセンゴテマリ、テウセンウツギ、トウツギ、マンシウバイクワウツギ、ズミ、オホヤマレンゲなどが咲き晩春から初夏にかけてはテウセンハシドヒ、カンボクなどが山相を飾り、草花には岩上にゼンテイカが黄金色の顏を見せ、山野にはシヤクヤク、白鮮、テウセンオダマキ、ホテイアツモリサウ、ハナシノブなどが咲き揃ひ實に生花材料に豐富である。

いよいよ夏に入れば滿鮮特有の有名なマツバユリや其他コマユリ、コオニユリ、テウセンクルマユリなどがその笑顏を見せチシマシモツケ、ホザキナナカマドなどの白花の群生が人目を惹き又濕地にはカラヂタケサシ、エゾミソハギなどの淡紫色又は紫紅色の群生が現れる。向陽の草野又は砂原などにはヒアフギ等の觀賞用として今日栽培されてゐる種類の野生を見られる。いよいよ夏が深くなれば小菊のやうな黄色の花をつけるコウリンギクが晩夏の安奉線を飾る。又これにつゞいて初秋にかけ今日觀賞用として栽培せられてゐるシオンやエゾギクなどの原種の群生を見させ、菊の原種の一種とみなされてゐるシマカンギクと共に初秋の安奉線の山野を飾り、旅する人々をしてさながら自然の花園を旅行するやうな氣分に導くのである。

又安奉線の紅茶も讃美するに價するものである。

以上の如く安奉線の植物景觀を述べたが、これだけでは自分ながら物足りないやうな氣がされるが後日また改めてその期節々々に分けて詳說したいと思ふからこの位にとめたのである(寫眞は上よりエンカソウ、サクラソウ、イハヤツデ、エゾギク、コウリンギク)

敗退將棋 (其一)
滿日名家

【志澤氏一回勝二回目】

香平交左香落 四段 △鈴木 一韻
三段 ▲志澤 春吉

持駒 志澤氏 ナシ

【圖は六七銀迄の局面】

持駒 鈴木氏 ナシ

【盤面以下指方】△七六歩▲三四歩△六六歩▲三五歩△五六歩▲三二飛△六八銀▲五二金左△六七銀▲六四歩△七七角▲六三金△五八飛▲五四歩△四八玉▲六二玉

【對局者の感想】志澤三段曰く八四歩と突くが定跡でありますが力指しの方法も經驗になると思つて三五歩と突いてみた。鈴木四段曰く敵の三五歩は意外でした。牛香落の香番で不利な駒割ではあつたが變化の廣い駒組を選んで與れたので幾らか面白くなりました。志澤三段曰く六四歩は早いかも知れないが形が定るだけに不利ではない心算です。

【大崎八段講評】下手敵が六六歩と受くるを三五歩と指せしは力指しを以って壓迫を加へんとする元氣なる戰法なれど香落の德を無視して損なり。矢張八四歩と穩かに指す方自然に位勝となりて指しよし。

佛教は印度で支那で何故滅んだか

歐米識者の佛教研究

伊藤彦造畫

佛教は印度に起り支那、朝鮮を經て我國に渡來したことは誰も知る所である。然るに、發祥地の印度では殆ど全滅の有樣で、人口三億九千萬人中僅かに卅萬の信者といふ悲慘な狀態に陷つて居る。

支那から奈良朝前後に傳來した佛教は、俱舍、成實、律、三論、法相、華嚴の六宗であつた。それから平安朝に傳來したのが天台と眞言の二宗で、鎌倉時代に傳來したのが禪宗である。これで都合九つの宗旨であるが、この九宗旨は皆完全に我國に保存せられて居る。

然るに、發祥地の印度では殆ど滅亡し又佛教文明で威張つた支那でも八宗は全滅して、僅かに禪宗の一派が殘つてゐるだけである。

平安朝の末期から鎌倉時代にかけて、我國において新興佛教として起つたのが、融通念佛宗、淨土宗、一向宗、時宗、法華宗の五宗である。奈良及び平安朝の佛教は皇室との關係が深くなつて、自然と貴族佛教になつて了ひ、民衆といふものは殆ど接近することが出來なかつた。そこで平民的佛教として前述の五宗が現はれ、非常なる發展をなしたものである。今や歐米識者間では東洋哲學たる佛教を盛んに研究中である、之は何を意味するか。

附言　何事にも一利一害は免れず、佛教にも弊害はあつたが、我國の家族制度の祖先崇拜と結びついて、教育の普及せざりし當時、平易な物語や地獄極樂の繪說等に依つて俗耳に入り易く勸善懲惡を敎へ永い間國家に貢獻したことは誠に多大である。然るに現代は教育機關も備つて來たので保守的佛教では時代に應じた布教法を講ぜざれば佛教の衰退、沒落を免れぬ。現代日本佛教家の態度は寒心に堪へぬ、佛教の革新は焦眉の問題である。開祖や祖師の艱難苦行を追想して護法のため奮起せざるに於いては、印度や支那の二の舞を踏むことになりはしないか。佛教のため實に憂慮に堪へぬ次第である。

第二篇　教育美談　右其七十五　左其七十六　有田音松

寺院の維持と農村の救濟、五萬町步の利用地を生む

伊藤彦造畫

維新前までは寺子屋といつて寺院を學校として修學したものである。寺子屋の起りは鎌倉時代である。それは武士が禪宗を尊ぶことになり、鎌倉時代から南北朝、室町時代に亙つて、全國の大名が競爭的に禪寺を建てゝ學問僧を招聘したのが始まりで、佛教の信仰ばかりでなく、大名や家臣の學問所としたものである。その當時の僧侶は儒學を兼ねて居つたのである。

彼の北條時賴や時宗が、鎌倉に建長寺や圓覺寺を建立したのは、關東大學ともいふべきもので、京都の南禪寺や天龍寺などは京都大學といふやうなもの、筑前の聖福寺や豐後の萬壽寺などは九州大學といふ地位に在つたのである。その他全國一村一落に大抵禪寺のない所はない。

武士は此の禪寺で學問したものである。それを見習つて各宗の寺院でも寺子屋を創め、今日の學校の仕事を寺院で行つたものである。この寺子屋では文學を教授し、一面には善因善果、惡因惡果所謂因果應報の道理を教へ、それに依つて國民道德が培はれて居つたのであるが、明治になつて全國各地に學校が出來たので、寺子屋は自然消滅となつたのである。

全國の寺院の數は、七萬一千餘ケ寺、僧侶が八萬餘人、番僧、小僧が六萬一千餘人で、それに概して[illegible]なつて居るから、一ケ寺六人としても四十餘萬人の寺人が如何にして暮して居るか。それは村落民の給養に俟たねばならぬのである。

附言　寺院の維持費と四十餘萬人の給養費とは實に莫大な額である。農村振興上からも捨て置き難い問題である。各村落に於て經費節約で神社を併合したる如く、一村一寺とし五萬の寺院を整理すれば一寺平均一町步として五萬町步の利用地が出來る譯である。佛教興隆、寺院維持と農村救濟のため寺院の整合は研究すべき問題ではあるまいか。

都會に憧れ肺病に苦しむ

親の許しも得ず遺書し無斷家出して

有田藥の靈効に依つて全快

赤い夕陽の滿洲で平和な牧場に三男坊と生れ、何不自由なく農學校の畜產科を卒業した私は溫かき兩親の許で家業に勵んで居りました。曉を告げる鷄鳴と共に牧舍に出でミルク搾取に懸命となり、太陽が果なき西の平原に沒し魔法のヴェールが將に降りんとする頃豚を追ひ込み平凡な、而して單調な月日を送つて居た。四月といへば廣漠たる滿洲の平野にも麗らかな陽春が訪れて、小鳥のオーケストラに伴れ花笑ひ蝶舞ふ長閑さは私を都會への憧憬に極度に誘惑した。私は遂に意を決し、人間至る處靑山あり、業成らずんば死すとも歸らずの意氣揚々と遺書を遺して住みなれた思出多い、懷しい故鄉を後に成功を都に求め知人を賴りに金澤へ來ました。

生れて初めてくゞる職業紹介所を訪れましたが、然し當然私に與へらる可き椅子は無かつたのです。その中に「待てば海路の日和」とか、知人の紹介により金澤電氣軌道株式會社に入社しました。入社の喜びと感謝の念で一杯だつた私の社會生活への第一步は電車係員としてスタートを切つたのです。

二ケ月間は夢と過ぎ鬼瓦も苦笑を洩らす灼熱の夏が訪れました。七月の中旬友人に誘はるゝ儘に金石へ海水浴に行き、歸りに急に寒氣を催し遂に病床に呻吟するに至りました。二三日經過しても依然體溫は低下せず、心配のあまりに大學病院にて診斷の結果、意外にも肺尖との事で絕對安靜を必要とすると申された刹那、一場の夢であれかしと神に祈つたのです。何故なれば肺尖は立派な肺病なのだと連想した時、死の恐怖がハイスピードで私の頭腦をかすめたからです。希望の一端も實現する事なく世を去らねばならぬ悲哀、異鄉に病む心細さ、生れて知る最初の病氣、是等が私をして極度に悲觀失望せしめた事です。昨年晴れの奉天大グラウンドで野球投手として出場した私が今は死線を彷徨はねばならぬ運命を想ふと、僅か一年間に神の支配のあまりにも皮肉なのを歎いたのであります。死線を突破しようとあせればあせる程益々病勢は進み、希望も決心も現實の悲哀と變り、遠い海の彼方の生家が戀しく溫かき兩親の恩愛を想ひ悔の淚は頰を傳はる許りでした。一日徒然の儘に愛讀する大阪朝日新聞で有田藥にての全快談を見た時、直感的に光りは東天より全快は有田藥よりと痛感し、早速妻は急げと金澤の盛り場香林坊有田ドラッグ專賣所に行き別製治肺劑及有田血液素を買求め、其の節主任樣より懇切なる養生法を敎示され勇氣百倍直に服藥實行した處、二三日にして熱は下り始め氣分は勝れ食慾は進み、二週間にして不思議にも夢よりさめた如く流石頑固な急激に來た肺尖も漸次快方に向ひ、三週間連服の結果以前に增す健康體となり好きな野球に日も足らぬ有樣です。念の爲醫師に就て健康診斷を受けし處、病氣なしとて先生は驚かれました。先生の驚きは私に取つては病氣に打勝つた誇りとして永久に忘れ難い更生の喜びでした。會社に出勤しては紅塵萬丈の巷を縱橫に疾走する電車係員として、希望と感謝に日を送つて居ります。これも偏に有田藥の賜と感謝し香林坊有田ドラッグの前を通る度毎に、又新聞に有田の廣告を見る毎に自然と頭が下ります。

同病に惱める者よ、全快の鍵は有田藥にあり、速に有田藥を求めよと私は絕叫を惜まないのです。筆舌には形容し難き全快の喜びを拙文もはゞかりなく發表した次第で、いさゝかなりとも同病諸兄姉の參考に資する事を得ば私は滿足です。

市村喜市樣

石川縣金澤市上胡桃町五一　小松將一方　全快者　市村喜市

ろくまく炎は肺病の前驅か

油斷すると大變

赤木虎之助樣

風邪を引きそれがどうしても脫けきれず、其の中左の胸が痛くなり何んだか氣になつて仕方ないので醫師に診斷を受けました處、肋膜だとの事で大に驚きましたが若しや診斷違ひではないかと思つて二三の醫師にも診斷して戴きましたが矢張同樣でした。ろくまく炎と云へば肺病も同樣、若しもの事があつては一家はどうなる事やらと病氣の苦痛以上に心配し、どうしても治さねばならぬと專心醫藥を服用養生をして居りましたが、一向經過が捗々しからず困つてゐる際に知人から有田ドラッグの藥がよく效く事を聞きましたので、早速日向富高新町有田ドラッグ專賣所に行き容態を申上げました處主任樣は御親切に次の樣なお話を聞かして下され、肋膜は肺を包み保護するところの袋であるが、肺病と同樣結核性のものが多くさうしてこの肋膜には乾性といつて、水がたまらないで胸が痛み咳が烈しくて呼吸苦しくなるのと濕性といつて水がたまつて、肺や心臟を壓迫して呼吸苦しく動悸が烈しくなるのとがあるが何れも何となく胸に痛みを感じ深く呼吸したり大きな聲で話をしたり、咳嗽運動等の時は殊に痛みを感じかなり高い熱が出るものである。肋膜炎から肺病になるものが多いので、肋膜炎だと診斷されてから不治の病と思ふのも、無理からぬことだが、肋膜炎なら充分に全快する見込があるから、心配する必要はないが、往々にして肋膜炎から肺病になつてゐるのを知らないで、肋膜炎だ、肋膜炎だと安心してゐる間に、治療の時機を失つたりする場合があるから、肋膜だと診斷されたからには、肺病と同樣に心得て養生せられゝば間違ないとて懇切に養生法を敎へられたので、有田音松樣鑑製の有田特製治肺劑、有田血液素を買求めて歸り敎はつた養生法を一心不亂に守り服藥を始めましたら、不思議な程二日目位から何となく氣持よく、精神爽快となり、熱も下り、食慾も進み、便通もよくなつて快方に向ふ樣子がハッキリと見え出しましたので、これに力を得て連服三週間にして、全く元の健康體となりました。一時は非常に重病で、とても駄目だ、助かるまいとまでいはれてゐたのが、急に回復して全快したものだから、近鄉でも評判になりどうしてそんなに全快したのかと、同病者の方々がお尋ね下さるので有田藥で全快した事を申上げて居ります。只今では再發することなく益々健康體となり、家人一同共に樂しく家業に奮鬪することの出來るのは、偏に有田音松樣鑑製藥の御恩典に外ならないのです。

宮崎縣東臼杵郡富高町字財光寺三一六八番地　全快者　赤木虎之助

醫者並に病院と商會の藥

商會が是れまで取扱つた全快者中には、病院に入院又は醫者にかゝり服藥中、商會の藥を服んで全快した人も澤山あり、又病院や醫者をやめて商會の藥のみにて全快した人もあるのであるが、いづれかといふと、病院や醫者にかゝりつゝ商會の藥を服用せられた方が安全である。それは、素人目では病狀が良いやうに見えても、病症の惡化しつゝあることもあるから、醫者や病院の診療を受けつゝ商會の藥を服用せられることが、最も安全なる全快への近道である。

有田ドラッグ商會主　有田音松

大河內侯の吉田城　明治に至つて吉田を豐橋と改む

豐橋吉田城

肺病菌に打勝った私の全快記

松本靜子樣

私は日頃健康を以て誇りとして居りましたが、ふとした事から風邪に罹り發熱甚だしく食慾も減じましたのでいつもの風邪とのみ思つて藥を服んで居りましたが、一向熱が下らず附近の病院に行き院長さんの診斷を受けました處、右肺尖加答兒と診定され非常に驚き悲觀致しました、勸められる儘に服藥は申すに及ばず種々療養致しましたが、捗々しくないので困つて居りました處新聞廣告に有田藥を服用して續々全快致しましたと出て居るのを見て、物は試しと早速鹿兒島市東千石町天神通り有田ドラッグ專賣所を訪れ私の今迄の容態を詳しくお話しましたら主任樣は大變同情して下さいまして御親切にこの病氣に就て病理の說明及び種々養生法を詳しく敎へられ、有田音松樣鑑製の有田特製治肺劑と有田血液素を買求め敎へられた養生法を守りつゝ服用致しました處、四五日すると食慾も進み氣分もよくなり熱も下り是に力付き引續き十週間連服で全快致し健康となりましたが、念の爲某院長の診斷を受けました處何の異狀もなく全快して居るとの事で、私の喜びは申すまでもなく家內一同樂しく暮して居ります。これも偏に有田音松樣鑑製藥の賜と深く感謝して居りますと共に、この喜びを同病者にお知らせして一人でも多く全快して頂きたいと存じます。

鹿兒島市上荒田町六四〇番地　全快者　松本靜子

肺病やろくまく炎は必ず治る

橫井つるゑ樣

風邪が原因にて咳が止らず右の胸部に疼痛を覺え、盜汗は澤山出るやら食事は不進となりたえず頭痛がして、午後になると體溫が三十八度以上に昇り少しの步行にも息苦しく、變な事だと思ひ醫師の診察を受けたら肋膜炎だとの事に大いに驚き、その後約一年間も醫藥は勿論の事、あれこれと療養に盡したが却つて惡化するばかり、實に困つて居りました折柄、親類に肺尖加答兒にて永らく床について喀血も二三回あり隨分衰弱も甚だしく重態であつたのが名古屋古井坂の有田ドラッグ專賣所で養生法を敎へられ、有田音松樣の鑑製藥を服用して全快したものがあるので、是非共私にも有田藥を服用しては如何と勸められ私も有田のお藥にて全快致さんものと、早速名古屋市千種町古井坂有田ドラッグ專賣所に行き今迄の經過をお話して主任樣より病理攝生について御熱心に御話を聞かされ、有田特製治肺劑と有田血液素とを買求め、敎へられた通り服用せし處四日目頃より熱も下り咳も減じたので一層信賴高まり、引續き約四十日餘の連服にてすつかりよくなり念の爲醫師の健康診斷を受けた處、全快してゐると申され私の喜びは一通りではありませんでした。其後はこんな可愛い男子まで儲けて居ります。これも皆有田音松樣鑑製藥の賜と感謝に堪へない次第です。同病の方々は迷はず一日も早く有田藥で全快遊ばす樣祈ります。

名古屋市中區御器所町岡上十六　中村善三郎方　全快者　橫井つるゑ

ろくまく炎が全快して大喜

恩人有田氏に感謝

堀越松六樣

ふとした事から胸に痛みを感じたがいつまで經つてもよくなる見込もたゝぬので醫師の診察を受けると、肋膜炎だから充分養生せよとの事でありましたから、云はれるまゝに醫師の投藥に親しみましたが少しも効果がありませんでした。私も妻も悲觀して居りました處、朋友が有田ドラッグの藥で全快した實例を聞かせて呉れたものですから、物は試しと早速群馬縣太田町有田ドラッグ專賣所を訪ねまして主任樣に面接致し、色々と親切に病理や養生法を敎へられ有田治肺劑と有田血液素を一週間分買求め服用しました處、咳も止り氣分もよくなつたので大いに力を得て引續き十週間服藥しましたら立派に全快致しました。然し友達や叔父叔母が念の爲めに醫師の診察を乞へと申しますので、醫師の健康診斷を受けますと全快してゐるとの診定にその時の私の嬉しさは天にも昇つた樣な心持でした。其の後は益々健康で農業に從事しつゝ感謝して居ります。世の惱まれざる同病者の皆樣に効果ある有田藥をお勸め致します。

群馬縣新田郡鳥之鄉村大字長手貳百八拾六番地　全快者　堀越松六

塩原及那須温泉

コドモページ

學校劇 正しき道（上）

濱野健三郎

景

第一幕……支那人雜貨店の店先
第二幕……少年の家の應接室

人

雜貨店の主人
店員（李少年、十四五歳）
日本人の少年（十二三歳）
少年の父

第一幕

雜貨店の内部の作り、いろ〳〵の商品が店先にならべてある。でつぷり肥つた主人が算盤をはじきながらしきりに帳面をつけて居り、その横側に小ハイの李が書物に讀み耽つてゐる。

李。あゝ、わからないなあ、やつぱり學校に行かなきや駄目だ。

主人。（算盤から目を離して李の方をジロリとにらみながら）えーツ、やかましいな、お前が妙な聲を出すのですつかり勘定を間違へちやつた。

李。（だまつて本に目を落す）

……間……

入口の戸をガラリとあけて少年が入つて來る。

李。いらつしやい（讀んでゐた書物を勘定臺の上に置いて立ち上る）

少年。あのね、えーと、なんだつけな、あ、さう〳〵、花王石鹼と味の素一つ

李。はい〳〵（棚から石鹼と味の素を取つて）これだけでよろしうございますか。

少年。みなでいくら？

李。一圓二十錢です。

少年。ではね、五圓で取つてちようだい。

李。有難う御座います（少年から五圓札を受取つて主人に渡しながら）一圓二十錢――三圓八十錢おつり、

主人は默つて勘定して釣錢を出す

李。おつりです。有難うございました。

少年。（李から受け取つたおつりを勘定して財布に入れ、無雜作にポケツトに入れながら）さよなら、

出てゆくその拍子に財布を入口に落す、誰も氣付かず、

李。（戸をしめて元の場所にもどらうとして下に落ちてゐる財布に氣がつき急いで拾ひあげる）あつ！これは今の坊つちやんの財布だ、

（財布を持つたまゝあわてゝ外に出やうとする）

主人。李！何だい？

李。今の坊つちやんが財布を落して行つたんです（財布を主人に示す）

主人。一寸持つて來い。

李。でも行つてしまふといけませんから走つて行つて返して來ます。

主人。何でもいゝからもつて來い

李。（不承々々財布を主人に渡す）

主人。（財布をあけて見て）持つて行かなくてもいゝ、若氣かついて取りに來てもおまへは默つてゐるんだぞ、

李。でもあの人が……

主人。いゝから默つてゐるんだ。（恐ろしい眼をしてジロリと李をにらむ）

ニドメノ大チヤンノタンケン（150）

ハルミチ作　ジラウ畫

「オヤツ！　アンナトコロニ　オヨイデキル、ヨーシ　コンドコソハ　ニガサナイゾ」大チヤンハ　オヂサント　チカラヲ　アハセテ　マモノノ　オヨイデキル　ハウニ　センスキテイヲ　ハシラセマシタ。

センスイテイガ　モウスコシデ　マモノニ　チカヅキサウニ　ナツタトキ　マモノハ　マタ　ミヅノ　ナカニ　モグツテ　シマヒマシタ。ソシテ　ソノスガタハ　ウミノソコフカク　ミエナクナツテシマヒマシタ。

「マタ　カクレチヤツタ」大チヤント　オヂサンハ　ガツカリシタヤウニ　ウミノ　ウヘヲ　ナガメテキルト　コンドハ　ハンタイガハノ　ウミノウヘニ　ヒヨツコリ　オホキナアタマヲ　アラハシマシタ。

學校と家庭

教育座談　選定を謬れる學校の位置

……ある父兄の談話……

A。眞金町に小學校が出來るさうですね

B。もう建築にかゝつてゐるでせう。來年の四月に開校の筈ですから……

A。しかし妙なところに學校を建たものですね、位置からいふと殆ど大正小學校と隣接してゐることになりますが、同種の學校を並べて建てるといふことはまことに拙いやり方ぢやありませんか

B。校舍敷地選定の拙いことは敢て今度出來る小學校ばかりではありますまい、聖德小學校だつて隨分變なところに建つてるぢやありませんか

A。聖德街の北の方の野つ原に建つてゐる赤煉瓦建の大きな建物がさうですね、あの學校はどの區域の子供を收容するために建た學校なんでせう

B。聖德小學校といふ校名から言つても聖德街の附近に校舍が建られてゐるところから見ても當然聖德街に住んでゐる子供を收容するつもりなんでせうね

A。しかし、それにしては校舍の位置が聖德街から餘りに離れ過ぎては居ませんか

B。何でも現在の校舍の位置は聖德街が次第に大連の方に延長して將來あの學校が市街の中心になるといふことを豫想して選んだものらしいのですが聖德街方面に住む兒童が校舍に溢れるやうになつた今日でも校舍は依然として通學兒童の住む市街から遙かにかけ離れた野つ原に意地惡く頑張つてゐて北風の吹き晒す寒い日でも「こゝまでおいで」と言はぬばかりに通學の全兒童を寒い目に遭はしてゐる始末です

A。學校附近には中々家が出來ませんね

B。何でもあの學校の周圍は主に支那人の市街になるさうですよ

A。さうすると、いよ〳〵妙なことになりますね

B。將來は屹度公學堂にでもするつもりでせうよ、ハヽヽ、、

A。どうも校舍敷地の選定が出鱈目のやうですね

B。出鱈目でもないでせうが要するに豫想がはづれるのですね

A。譚家屯方面は近年非常に膨脹したやうですが、あの附近の子供はどこの小學校に通學してゐるのでせう

B。たいてい伏見臺小學校へ通つてゐるやうですが通學の距離から見ると少し遠過ぎるやうです

A。譚家屯附近にはもう小學校がとつくに建つていゝ時ですね

B。近年星ヶ浦及譚家屯方面に著るしく住宅が殖えましたが、此の二ケ所には是非學校が必要でせう

A。やはり校舍の位置は通學兒童の便不便を十分考慮して選定してもらひたいものですね

B。學校の位置は通學區域の中心にあるのが理想です。聖德小學校の如きは最も惡い例の代表的のものでせう

コノゴロノデンキユウヱン

デンキユウヱン　ニモ　サビシイフユ　ガ　オトヅレテ　キマシタ。アカシヤ　ヤ　サクラノキ　ナドハ　スツカリ　ハ　ガ　オチテ　コズヱ　ノ　ホソイ　エダ　ハ　キタカゼ　ノ　フク　ナガニサムソウニ　フルエテ　キマス。ミナサン　ノ　ダイスキナ　メリーゴーラウンド　モ　イマハ　ノルヒトサヘ　ナク　ハネアガツタカタチノママ　ミウゴキモ　シマセン。タダ　ゲンキモノ　ノ　オサルサン　ダケハ　サムサニモ　メゲズ　キヤツキヤ　イヒナガラ　セマイ　カナアミ　ノ　ナカヲ　オニゴツコ　ヲ　シナガラ　カケマハツテ　キマス。

新舞踊研究會が舞踊公開

十二月一日協和會館で

大連新舞踊研究會では十二月一日午後一時より及午後七時よりの二回滿鐵協和會館に於てレコードによる新舞踊を公開する由であるが會費は大人小人共一名四十錢で右會費の内一名につき十錢宛を天長節國債償還基金に獻金すると、して

プログラムは次の通り

◇童謠舞踊（大連高等音樂院舞踊科生徒賛助出演）

一、かくれんぼ、二、エスキモー、三、露路の細道、四、叱られて、五、あがり目さがり目、六、證城寺の狸囃子、七、雨ふりお月さん、八、濱千鳥、九、あの町この町、一〇、兎のダンス、一一、桃太郎音頭

◇舊舞踊

一、長唄鶴龜、二、京の四季、三、長唄浦島

◇新民謠舞踊（大連新舞踊研究會員出演）

一、緊縮小唄、二、浮波の港、三、須坂小唄、四、出船、五、青い芒、六港おどり、七、旅人の唄、八、鎭西小唄、九、紅屋の娘、一〇、河原柳、一一、出船の港、一二、舞鶴小唄

まづお臺所から 生活合理化運動へ
時代の趨勢に目覺めて乗り出す 健氣な在滿の女性

奉天に於ける青年議會に出席し社會撫順支部婦人部の家庭消費經濟合理化大會に臨み閑任せる中西滿鐵地方課長は、撫順に於ける素晴らしい婦人連の緊縮節約運動を紹介一端として奉天、大連等に於ても續々時代に目覺めた

主婦連 を中心として「社會の細胞としての家庭より先づ合理化へ」のモットーの下に果然全滿的に家庭經濟の合理化運動が起らんとしてゐることに就き次の如く語つた

撫順に於ける婦人達の熱心な生活合理化運動には全く感心した新公會堂には約七百名からの聽衆が集まつてゐたがその八割は婦人で全く滿洲では稀らしい會合であつた、堅實な意味に於ける滿洲の婦人運動のトップを切るものは

撫順の 婦人連であらうと思つた、從來から各種の家庭副業とか社會事業的方面にも隨分活躍して來てゐるが、今回も具體的な實行方法を定めて先づお臺所から生活合理化を實踐することになり、一方宣言文を起草して濱口首相等に打電し大に海外に於ける大和撫子のため氣を吐いた、これに刺戟されたのか奉天でも家庭婦人が近く猛運動を起す模樣で目下準備中であると聞いた、大連でも民政署勤務官吏の

奥樣連 を中心に近く具體的運動に移るべく寄々協議中ださうで大變喜ばしい傾向だと思つてゐる、兎に角公私經濟の緊縮節約運動等と云つても家庭婦人の協力を得なければ眞に徹底し成果を收むることが難しいのだからその意味に於て在滿婦人の覺醒は時代的にも社會的にも甚だ有意義なものといはねばならぬ

越鐵疑獄事件
貴族院方面にも波及か

【東京二十八日發電】越後鐵道事件は佐竹勅選、久須美氏の陳述に依り更に貴族院の某伯は關係者として近く檢事局に召喚さるゝ事となり、その他貴族院方面に關係者尠からず各一萬圓程度を久須美氏より佐竹氏の手を經て受け取つてゐる者があるといはれてゐる

賣勳事件
檢擧打切り

【東京二十八日發電】勳章疑獄事件は藤田謙一氏の檢擧を以て一段落とし豫て噂されてゐた某々勅選への波及はなく今後同事件に對する新人物の檢擧はあるまいと

大連に二ケ所の兒童遊園地
愈よ近く工事に着手

豫て懸案であつた旅大兩市に新設すべき兒童遊園地は過般來種々研究中の處愈々實現の運びに至り取敢ず大連では鏡ケ池、伏見公園の二ケ所又旅順の施設地に就ては更に市役所と折衝、市民の賛意を聽取の上直ちに起工に着手する事と決定したが、大連の二ケ所は近日着手の豫定にて右三ケ所の新設費としては各二千五百圓宛計上され更に指導員看守及び諸經常費として各二千圓宛を計上されてゐる由

初お目見得のロシヤ美人女給

廿七日から滿鐵列車食堂でサーヴイスを始たロシア美人は日本語も判り愛嬌がよく評判がいゝ（寫眞は一昨夜急行で大連驛に着いた所）

醉拂つて亂暴

大連港碇泊の貨物船大龍丸乘組火夫和田富雄（三一）は二十六日午後九時三十分ごろ泥醉の上逢坂町一二三貸座敷代加樓に到り下駄穿きのまゝ酌婦ミサエを蹴上げ亂暴を働くので樓主が之を制止した處却つて反抗し肌抜ぎとなり下駄を振り上げて毆打せんとし土足のまゝ奴闕により上り込み今度は酒二升を飲ませろと暴言を吐き價格百圓に相當する衝立を下駄で蹴破つた所へ駈付けた緒方巡査に器物毀損暴行者として大連署に引致された

目方をゴマ化す 不正商人を征伐
大連署が眼を光らす

在滿商人の不正取引に關しては從來とも各警察署に於て嚴重取締つてゐるが、最近米穀取引などに際し檢査證票を僞造して等級を騙り或ひは穀物に包裝替などして量目を誤魔化し其の間不正の利益を得た商人等もあり大連署では今回特に關東廳からの注意もあり且つ結氷期に向つて石炭の需要期に入り小崗子で發見した如く賣捌店より各戸に配達する石炭が注文の量斤に充たざる實例もあるので二十七日管内各派出所に此旨移牒し一々檢査を嚴重に施行し苟くも石炭の配達に際し注文外の不純物を混合したり、斤量不足のものを配達して暴利を貪らんとする如き不正商人に對しては度量衡取締規則違反若しくは刑法の詐欺罪により徹底的に膺懲すると

農民團が武裝して 警官隊と睨み合ひ
遂に知事から軍隊出動を求む
秋田の小作爭議惡化

【秋田廿七日發電】前田村の小作爭議は廿七日夕に至り秋田警察署及び縣下各警察署の應援警官二百餘名到着爭議團本部を遠卷きにして物々しい警戒に當つて居るが警戒が嚴重となるにつれ爭議團は愈々殺氣立ちダイナマイト十數個を用意せる外各自武裝して警官隊と睨み合つて居り夜に入ると共に凄慘の氣漂ふて居る、而して地主庄司家の人々は雇人に至る迄ピストル、日本刀をもつて萬一に備へ村長も日本刀を腰にして往來して居る稻垣警察部長は午後五時秋田驛着現場より歸廳菊地知事に報告すると共に軍隊出動を要請した

武裝農民 警官と衝突
双方重輕傷す

【秋田廿七日發電】北秋田郡前田村小作爭議は警官隊と爭議團員との小競合に十數名の重輕傷者を出したが廿七日午前九時半頃米内澤警察署長は警官三十餘名と自警團と稱する日本刀竹槍に武裝した土工三十餘名を率ゐ爭議團本部を襲ひ爭議團は俄然殺氣立ち砂礫を飛ばして警官隊に對抗し一大修羅場化し警官隊は八名の重輕傷者を出したが農民組合側は一名竹槍で刺され生命危篤となつた外十數名の重輕傷者を出し尚ほ對峙中であるが事態惡化に連れ軍隊の出動を見るやも知れぬ形勢に在る

女中お糸に絡る 窃盜恐喝の公判
きのふ證人しらべ

大連浪速町一五〇料亭「ほてい」の女中お糸こと石橋スイを中心として同料亭板場支那人王德田および伊勢町一〇六蓄音機商田中新八にかゝる情痴三ッ巴の生んだ悲劇——その犧牲となつた王德田にかゝる窃盜、恐喝の第三回公判は二十八日午後二時から大連地方法院第一號法廷に於て小田判官かゝり春木檢察官事務取扱ひ干與の許に開かれた、最初證人として事件發生當時石橋スイと王德田との

仲裁に 入つた播磨町一七料理人吉田勘太郎に對し喚問あり吉田は「ほてい」の女將に仲裁を依頼され王德田と石橋スイとの仲に入り、王がスイより窃取した金は手切れ金として王に渡しスイとの關係を全然手を切らせた事實を述べ、同樣證人田中新八は流石に羞恥を感じてか、傍聽者に聞かれまいと小さな聲で石橋スイとの關係を頭から否認し、七月三十一日王德田から五十圓恐喝された事實に就き

お前は 自己の婦をおもちやにした、ソレがため俺はこの六尺の身體の置き場所がないから始末をして呉れ、始末が出來なかつたら二百圓寄越せ、俺の友人には澤山のゴロつきが居るから出さねば迫害するよと脅迫されたが恐いので正隆銀行の小切手五十圓を手渡したと答へ、岡野辯護士から「恐いから渡したでなく實際は自分に後ろ暗い處があるから出したのでないか」と突つ込まれ「いゝえ恐いから出しました」と否認してゐた、午後三時閉廷、次回は三十日の豫定である

足掛け十年 缺さず神詣で
輕佻浮薄の世に珍らしい 國政さんの敬神振り

▽…**滔々** たる時勢、世人は唯刹那を追ふ求利享樂の巷に己を忘れ徒らに末梢神經の尖端にのみ囁く今日に於いて、これはまた珍しい毎朝春夏秋冬雨雪を厭はず今日まで九年四ケ月、大連神社に參詣し續けた人がある、この人は現在彌生町十六番地に住む國政與三郎氏といひ山縣通りの區長代理をつとめ、伊勢町洋酒煙草商和盛洋行の支配人として同店を監督してゐる、今日まで夫人の喪のため一週間と內地旅行三十五日間のほか厳寒、酷暑一日も休まず毎朝八時頃お詣りする

▽…**熱心** な敬神家であるが本年五十六歳とは見えぬ矍鑠たる老人である、氏を伊勢町の店に訪へば語る

參詣し始めたのは大正九年七月二十日で來年の七月で滿十年となります、私は最初大正七年頃から神經衰弱でその療法に種々惱んだ末、毎朝中央公園や老虎灘方面に散歩に出掛けて居ましたが何時の間にか大連神社の方に足が向き、三年間續けてみやうと思つたのがこの動機となつたのです、その後三年目になれば五年繼續を思ひ立ち、四年前に五年祭も濟して十年繼續を期して居りますが其後何年續けるか考へて居りません

▽…**最初** は單に健康のために參詣を續けて居たのですが續けてみると毎朝山麓の清い空氣の中に神前に額く心地は全く良いもので無論神經衰弱も直ぐ治りましたが、一日でも缺かすと終日氣持が不愉快で仕事の都合で止む無く朝行けない時も暇をみてお詣りに行かなければ氣が濟みませんお蔭樣で五十六歳の今日まで大した病氣もしません三年目に記念のため「健康增進法」と題したパンフレットを出して知人に頒布致しました

人生悲話
三歳の折に別れた父親
廿四年目に再會 息子が迎へに來連

明治卅九年以來大連に居住し廿年も郷里との音信も不通であつた原籍愛媛縣溫泉郡河野村大字高山石綿勇藏（五七）が去る四日智光院に宿泊した際小崗子署にて原籍地に身元照會した所三歳の折別れた當人の長男寅雄（三一）が現在奈良市において相當資産を有し商業を營む傍ら父親を尋ねて居つたことが判明し寅雄はこの知らせに落膽した父親を引取るべく近く來連し廿四年振りにて親子が對面することになつた

勇藏は日露戰爭當時軍屬として來滿、戰役終了後一先づ歸國したが同三十九年心臟病にて病床にある妻と當時二歳であつた長男寅雄および十歳の長女を郷里に殘して再び單身來連、西通りにて料理店を經營し郷里に送金してゐたが其後西通りの遊廓が逢坂町に移轉すると共に料理店を廢業し植木屋木炭商錦揖屋等に轉業する內遂に失敗し郷里への送金も絶え音信不通となり知人をたよつて居つたが遂に去る四日窮乏のあまり前記智光院に止宿したものであると

滿鐵全社員に排球獎勵
廿七日新設コート開き

滿鐵體育獎勵委員會での決議通り滿鐵では社員の健康增進を目的として排球を全社員に奬勵する事となり其後各所に同コート新設計畫中であつたが今回本社裏自動車々庫横のコートが竣工したのでコート開きを兼ね廿七日正午の休みを利用して女性を交へた賑やかな應援の裡に社會課と地方部地方課の試合を行ひ三回戰の結果二對一にて社會課勝ち目出度閉會したが今後は成る可く毎日晝休み等を利用して練習試合を行ふと、尚ほ近く滿鐵婦人協會コート及び能率係橫の二つのコートも竣工する筈

人妻を廻る告訴ごつこ

大連近江町一三七無職張焦氏（四五）は隣家徐方有（三五）が妻を誘拐して賣り飛ばしたと難癖をつけられ、徐方有および同じく隣家の羅芳則から頼まれたといふ氏名不詳の支那人から徐の妻を返せ然らざれば小洋二百圓を出せと脅迫され徐方有および羅芳則を相手取つて大連署へ恐喝の告訴を出したが、之れに憤慨した徐方有は却つて張焦氏の態度を恨み反對に張焦氏を相手取つて妻を誘拐したとて誘拐の

告訴を 出した處が張焦氏は誘拐せぬのに誘拐したとは怪しからぬと徐方有を自宅に呼び入れ長男李賢忠（三五）の加勢を得て徐方有を毆打し傷害を與へたので更に徐方有は張焦氏およびその長男李賢忠を相手取つて傷害の告訴を出した、大連署で取調べた結果は徐と羅が共謀し徐の妻を小洋二百圓で普蘭店へ賣り飛ばしたが、子供を殘されて糊口に窮する處から金持ちの張焦氏を脅かし金を無心してやらうとかゝつた詭計である事判明、近く檢察局へ送られるが羅芳則は早くも逃走したので目下捜査中である

浪速商店街の歲暮賣出

浪速町商店街では來る十二月一日より卅日迄景品附大賣出を行ふことに決定したが本年は連鎖商店に對抗し一層勉強する由

靑雲臺の火事

二十七日午後八時二十分頃市内靑雲臺五十番地土屋牧場內牛小屋より發火、各消防隊かけつけ午後九時頃鎮火したが牛小屋一棟を全燒し牛九頭燒死した原因目下取調中

モヒ大密輸

六萬圓のモルヒネ密輸事件は大連署に於て嚴重取調中であつたが、漸く一段落を告げたので岡島壽雄ほか六名の一味は二十七日午後三時一件書類と共に身柄を檢察局に送られた

けふのラヂオ

昭和四年十一月廿九日（金曜日）

自午前十一時 相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）
自午後零時三十分 相場（特産、錢鈔、各地相場）ニュース
自午後三時三十分 相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）ニュース

一、ニュース
二、兒童科學講座「雁」大連第二中學校 泊尚義
三、民謠獨唱（一）河原柳（藤井清水曲）（二）波浮の港（中山晋平曲）（三）搗踊（同）櫛木龜二郎（伴奏）山本フジエ
四、義太夫「合邦」（太夫）石井美石（三味線）標竹東馬鶴
五、俗謠「數種」（唄、三味線）上田ハル
六、支那劇「武家披」通東俱樂部部員
七、料理獻立
八、天氣豫報
九、ラヂオ體操

愛慾の窓（172）

戸川貞雄作　浅枝次朗畫

犠牲（11）

龍吉の努力にもかゝはらず、秘書の遺書は英輔が何處に隠してゐるか、探りあてることはむづかしい様子であつた。倭文子は倭文子でぢりぢりしながら、時には英輔の留守の隙に彼の居間へはいつて手文庫や抽斗などのなかまで人知れず調べてみたりしたが、つひにそれらしいものを發見することは出來ないのだつた。矢張り言葉どほり灰にしてしまつたのかも知れない。倭文子はさう疑けずにはゐられなかつた。彼女は苛々した。次第にゐても立つてもゐられないやうな焦燥と不安に驅り立てられた。

久藏の公判日も、明後日に迫つてゐた。辯護士の告げるところによれば、これが最後の公判で、判決が下されることにならうといふ。然し判決の後でも、審理の根據を覆へすに足る證據が見出されるならば、再審理を仰ぐことも出來るし、もとより控訴の途も開けてゐるから、さう失望することはないと辯護士は倭文子を慰めてくれた。

いよいよとなつたら、自分も法廷へ立つ覺悟の上で、實はこれこれしかじかの事情で、眞犯人は男ですと、辯護士にまで告白しようと、倭文子は決心した。しかしそれにしたところで、證據の品が無ければ、假りにも男であり、一代の實業家小森英太氏を殺人犯人だと訴へるのであるから、容易ならぬ罪であるし、久藏とは戀愛關係があつたと見られてゐる身の、愛人を救ひたい一心から、女ごゝろの浅墓な狂言だとして、一笑に附されてしまはんとも限らない。

――あゝ、これはやはり正面からあの人にぶつかつて、遺書の始末をきくより他はない。ほんとうに焼き棄てしまつたものならば仕方がない。若し隠して持つてゐるならば、何んな犠牲を拂つてもいゝ、亡き男の遺志どほり警視廳へ提出させなければならない。

倭文子は思ひ詰めた。煩悶した。そしてとうとう正面から英輔にぶつかつていつた。

「……何？お父さんの遺書だつて？はゝゝ、まだお前はそんなことにこだはつてゐるのかい？」

と、英輔は倭文子の問を嘲笑ではね返してしまつた。

「成程、お前には戀人の浮沈の瀬戸際だから、あの遺書が入用だらうね。しかし僕はもうあんなものゝことは忘れてゐたよ！はゝゝだつて御承知のとほり、僕は大變忙しいのだよ！これから杉崎と一緒にステーション、ホテルへ出掛けなけりやならない。邸では新聞記者だの警察の奴等だのが監視の眼を見張つてゐてうるさいから、あすこで今夜小森銅山の事務所長と坑夫の代表者や爭議の尻押をしてゐる無産黨の連中なんかと、會見することになつてゐるんだ。かう見えたつて、僕もさう下らないことにいつまでもこだはつてゐる暇はないんだからね」

「……お忙しいのはわかつてゐますわ、ですからたゞあの遺書は何處に隠してあるか、それを打明けて下さればいゝんです！」

倭文子は押し返した。

「隠して……？とうとうそれに氣が付いたのは感心だね、はゝ」

英輔は狡さうな眼付で、ぢろりと倭文子の美しい顔を見た。こゝ數日いよいよ無性しく、家を外に飛び廻つて、しみじみ倭文子の顔を見る暇もなかつた。今夜はとりわけ美しいなと、彼は舌なめずりをした。だが、指一本觸れさせようとはしない冷たい妻だ。妻とは名ばかりの女だ。しかしおれはぢつと機會を待つてゐるんだ……。

「……兎も角、はつきり云はう、あの遺書は確にある！焼き棄たといつたのは嘘さ！はゝ、何だ、その顔は！」

「……では、何卒、わたくしにお渡し下さいまし！」

倭文子は息をはづませて詰め寄つた。

「……然し、今夜は忙しい。そろそろ僕はステーション、ホテルへ出掛けなければならないんだ」

英輔はさう云ひ捨すと、折柄迎へに來た秘書杉崎と一緒に、さつさと外出してしまつた。

倭文子は、しかし大きく安堵の吐息を洩らした。

――あゝ、やつぱりあつたんだわ！あつたんだわ！

涙が、ぢはぢはと彼女の眼に湧いてきた。

新刊紹介

▲名作落語全集（第七巻）　戀愛人情篇で斯界の大家揃ひがお目見えし珍らしいものばかり揃へて讀者を捧腹させずにはおかない、多數愛讀者の家の掛書は更に本書を價値づける（豫約定價五十銭、東京市神田區材木町二番地騒人社發行）

▲東京パック（十二月號）　定價金二十銭、東京市巣鴨町宮下一六六三東京パック社發行

▲カナノヒカリ（十一月號）　定價金四十銭、大阪市東區北濱五丁

▲日本銀行内カナモジ會發行

▲金解禁と緊縮政策の批判（三土忠造氏著）　前大藏大臣の意見で虚心坦懐に述べたと云つてゐる（定價金三十銭、東京市日本橋區本銀町三ノ一四寶文館發行）

▲會寧案内（吾音會文庫第九編）　定價金十銭、咸鏡北道會寧邑會寧印刷所出版部發行

▲經濟月報（第三十五號）　定價銀五十仙、上海日本商工會議所

▲海紅（第二號）　定價金三十銭、兵庫縣西宮市字満地谷三四七二海紅發行所發行

▲日支條約交渉に關する支那側の論調（上海排日貨實情第二十四號）非賣品、上海黄浦灘路二四上海日本商工會議所内金曜會

▲理化年表（昭和五年）　東京天文臺編纂で來年の暦、天文氣象等を知るに便なるのみならず物理、化學、地學に關する一切の事項は略ぼ本書に收められてゐるから一般の座右に備ふべき良參考書である（定價金一圓五十銭、東京市本郷區東京帝國大學發行）

▲商業世界（十一月號）　定價金三十五銭、東京市日本橋區小傳馬町一ノ三、商業世界社發行

▲奉天經濟旬報（第六卷第十四號）　定價金二十銭、奉天加茂町三奉天商工會議所發行

▲雄辯（十二月號）　政友會總裁犬養毅、文豪坪内逍遙先生、早慶決勝戰の日、雄辯の流轉、ベルリン會議必死の一騎打、基督教界の十大雄辯家其他多數の讀物あり（定價金五十銭、東京市本郷區駒込坂下町四八大日本雄辯會講談社發行）